平成30年3月5日（月曜日）

○出席議員（14名）

1番	尾田良一	議員	8番	諏訪良一	議員
2番	土本稔	議員	9番	宮下為幸	議員
3番	林真弥	議員	10番	甲部昭夫	議員
4番	中川秀平	議員	11番	古玉栄治	議員
5番	山本孝司	議員	12番	若狭明彦	議員
6番	笹川広美	議員	13番	坂井幸雄	議員
7番	南昭榮	議員	14番	作間七郎	議員

○説明のため出席した者

町長	杉本栄蔵	土木建設課長	北野均
副町長	廣瀬康雄	上下水道課長	田中智
教育長	袋井貞司	会計課長	百海和夫
参事兼総務課長	植田一成	長寿介護課長	道善まり子
参事兼農林課長	田中栄一	保健環境課長	平岡重信
参事兼住民福祉課長	加賀忠夫	教育文化課長	上坂恵一
企画課長	高名雅弘	生涯学習課長	正谷智
情報推進課長	町田穂高	生涯学習課担当課長	甘田悟司
税務課長	古川利宣		

○職務のため出席した事務局職員

議会事務局長 土屋 哲 雄 書 記 水 田 祥 代
議会事務局長補佐 山 本 博 司

○議事日程（第1号）

平成30年3月5日 午前10時00分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第61号 工事請負契約の変更について
(平成28年度農村総合整備事業(中山間対策型)営農環境整備支援瀬戸地区植物工場用地造成・外構工事)

日程第3 議案第62号 中能登町中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定について

議案第63号 中能登町放課後児童クラブ条例の制定について

議案第64号 中能登町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第65号 中能登町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の制定について

議案第66号 中能登町個人情報保護条例の全部改正について

議案第67号 中能登町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第68号 中能登町体育施設条例の一部を改正する条例について

議案第69号 中能登町国民健康保険条例及び中能登町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第70号 中能登町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

議案第71号 中能登町介護保険条例の一部を改正する条例について

議案第72号 中能登町コーポとりや条例の一部を改正する条例について

議案第73号 中能登町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

議案第74号 中能登町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及

び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について

- 議案第75号 中能登町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例について
- 議案第76号 中能登町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 議案第77号 中能登町下水道等供用開始区域内し尿等処分手数料徴収条例を廃止する条例について
- 報告第5号 専決処分の報告について
(平成29年度中能登町一般会計補正予算)
- 報告第6号 専決処分の報告について
(平成29年度中能登町一般会計補正予算)
- 議案第78号 平成29年度中能登町一般会計補正予算
- 議案第79号 平成29年度中能登町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 議案第80号 平成29年度中能登町介護保険特別会計補正予算
- 議案第81号 平成29年度中能登町国民健康保険特別会計補正予算
- 議案第82号 平成29年度中能登町下水道事業特別会計補正予算
- 議案第83号 平成29年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計補正予算
- 議案第84号 平成29年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算
- 議案第85号 平成30年度中能登町一般会計予算
- 議案第86号 平成30年度中能登町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第87号 平成30年度中能登町介護保険特別会計予算
- 議案第88号 平成30年度中能登町国民健康保険特別会計予算
- 議案第89号 平成30年度中能登町下水道事業特別会計予算
- 議案第90号 平成30年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 議案第91号 平成30年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計予算

議案第92号 平成30年度中能登町水道事業会計予算

議案第93号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

議案第94号 七尾市及び中能登町の広域行政の推進に関する規約の一部改正に関する協議について

(町長提出、質疑)

請願第3号 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める請願書

(議会提出)

日程第4 常任委員会付託

日程第5 予算審査特別委員会設置及び委員の選任、委員会付託

日程第6 休会決定の件

午前10時00分 開議

◎開 議

○議長（古玉栄治議員） おはようございます。

ただいまの出席議員数は14名です。定足数に達しております。

ただいまから平成29年度3月定例会議を開きます。

なお、本定例会議の会議期間は、会議日程のとおり本日から3月20日までとします。

また、本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

諸般の報告をします。

初めに、当町議会より提出しました平成29年度国、県に対する要望事項については、昨年10月12日に開催されました石川県町村議会議長会臨時総会において採択され、これが実現方を県当局に要望しておりました回答書は、さきの全員協議会で配付済みであります。

次に、12月定例会議及び1月随時会議において決議をしました議員派遣については、笹川議員は1月18日と19日、林議員は1月29日から2月2日まで、土本議員は2月10日に議員研修を終えられましたので、報告します。

次に、地方自治法第121条の規定による本会議に出席する者を別紙の説明員職氏名一覧表としてお手元に配付しましたので、ご了承願います。

これで諸般の報告を終わります。

これより本日の会議を開きます。

◎会議録署名議員の指名

○議長（古玉栄治議員） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

3月定例会議の会議録署名議員は、会議規則第121条の規定により、10番 甲部昭夫議員、12番 若狭明彦議員を指名します。

◎議案第61号

○議長（古玉栄治議員） 日程第2、議案第61号 工事請負契約の変更について（平成28年度農村総合整備事業（中山間対策型）営農環境整備支援瀬戸地区植物工場用地造成・外構工事）を議題とします。

議案書は、その2、1ページとなります。

◎提案理由説明

○議長（古玉栄治議員） 町長から提案理由の説明を求めます。

杉本町長

〔杉本栄蔵町長登壇〕

○杉本栄蔵町長 皆さん、おはようございます。

提案理由の説明を行います。

本日ここに、平成29年度中能登町議会3月定例会議の開会に当たり、町の近況について申し述べるとともに、提案いたしました各議案についてご説明をいたします。

まず初めに、1月末に発生しました鹿島地区の断水につきましては、町民の皆様にご迷惑をおかけしたことと不安な思いをさせたことに対し、心よりおわびを申し上げます。

断水につきましては、1月28日の夕方に鹿島地区全域を賄う越路配水池の貯水量が突然低下したことにより、一部地域で断水が発生しました。当初、水道本管の漏水が原因ではないかと考えておりましたが、調査の結果、1月23日からの強い寒波により宅内の水道管の凍結による漏水が多発したことが大きな原因だと判明をいたしました。

なお、能登地域の他市町でも同様の断水被害が発生し、復旧するまでに1週間以上を要した市町もありましたが、当町では2日間での早期復旧となりました。

また、2月5日からの大雪につきましても、例年どおり除雪体制をとっておりましたが、近年まれに見る大雪により一部の町民の皆さんにご迷惑をおかけしたことを重ねてお

わびを申し上げます。

除雪作業につきましても、加賀地区や金沢市、近隣市町に比べれば、いち早く交通路線の確保ができたのではないかと考えております。

今後も災害などの不測の事態に備え、有事の際には迅速に対応できる体制を整えてまいりたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

次に、先月、韓国の平昌で開催されておりました冬季オリンピックでの日本人選手のメダルラッシュは記憶に新しいところであり、白熱した競技をごらんになり、感動し勇気づけられた方もたくさんいらっしゃったのではないかと思います。

こうしたことを踏まえ、当町では今年度、中能登町特別表彰制度を設けました。この制度は、スポーツ、文化、芸能その他の分野において、国際的または全国的に輝かしい成績を残された方を対象として表彰するものであります。

今年度は、昨年4月にスペインで開催されたヨット競技の第48回プリンセス・ソフィア杯セーリング470級部門で見事優勝されました久江出身の高柳 彬さんと、10月に群馬県前橋市で開催された第72回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会女子ダブルスの部で高校生ペアとしては67年ぶりとなる優勝をなし遂げた良川出身の宮下こころさんを表彰することといたしました。

高柳さんには、今後もご活躍を続けられ、2020年の東京オリンピックへの初出場を期待しております。また、宮下さんには、今後も全日本大会での連覇やアジア大会での活躍を期待しております。

町といたしましては、各分野でご活躍される方を今後も応援してまいりたいと考えておりますので、町民の皆様にもこの表彰を受賞されますよう頑張ってくださいと思います。

それでは、本定例会議の冒頭に議決を賜ります議案につきましてご説明をいたします。

議案第61号 工事請負契約の変更につきましては、平成28年度農村総合整備事業（中山間対策型）営農環境整備支援瀬戸地区植物工場用地造成・外構工事について、主要地方道からの乗り入れ部分の拡幅改良に伴う工事等がふえたことから、事業費394万2,000円を増額し、契約金額を6,755万4,000円とするものであります。

以上、本定例会議冒頭に議決を賜ります議案につきご説明申し上げましたが、議員各位におかれましては、慎重なるご審議をいただき、適切なる議決を賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（古玉栄治議員） 町長の提案理由の説明が終わりました。

◎議案説明及び質疑

○議長（古玉栄治議員） これより、議案第61号について、議案の説明及び質疑を求めます。

まず、議案の説明を求めます。

田中参事兼農林課長

〔田中栄一参事兼農林課長登壇〕

○田中栄一参事兼農林課長 それでは、議案第61号 工事請負契約の変更についてであります。

平成29年9月5日に議決されました議案第18号 工事請負契約の締結についての一部を変更するため、中能登町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めますのでございます。

契約の目的、平成28年度農村総合整備事業（中山間対策型）営農環境整備支援瀬戸地区植物工場用地造成・外構工事であります。

契約の金額、変更前6,361万2,000円、変更後6,755万4,000円。変更による増額394万2,000円でございます。

契約の相手方、石川県鹿島郡中能登町羽坂る部16番地1、日本海建設株式会社中能登営業所、所長、町駒弥之。

以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑のある方へはご発言願ひます。ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第61号については、会議規則第35条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） 異議なしと認めます。

よって、委員会付託を省略することに決定いたしました。

◎討論・採決

○議長（古玉栄治議員） 続いて、議案第61号について討論を行います。

まず、反対討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

以上で討論を終結します。

続いて、採決を行います。

議案第61号を採決します。

お諮りいたします。

本件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（古玉栄治議員） 起立全員であります。

よって、議案第61号は、原案のとおり可決されました。

◎議案の一括上程

○議長（古玉栄治議員） 日程第3

議案第62号 中能登町中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定について

議案第63号 中能登町放課後児童クラブ条例の制定について

議案第64号 中能登町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第65号 中能登町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の制定について

議案第66号 中能登町個人情報保護条例の全部改正について

議案第67号 中能登町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第68号 中能登町体育施設条例の一部を改正する条例について

議案第69号 中能登町国民健康保険条例及び中能登町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第70号 中能登町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

議案第71号 中能登町介護保険条例の一部を改正する条例について

議案第72号 中能登町コーポとりや条例の一部を改正する条例について

議案第73号 中能登町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

議案第74号 中能登町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について

議案第75号 中能登町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例について

議案第76号 中能登町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第77号 中能登町下水道等供用開始区域内し尿等処分手数料徴収条例を廃止する条例について

報告第5号 専決処分の報告について（平成29年度中能登町一般会計補正予算）

報告第6号 専決処分の報告について（平成29年度中能登町一般会計補正予算）

議案第78号 平成29年度中能登町一般会計補正予算

議案第79号 平成29年度中能登町後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第80号 平成29年度中能登町介護保険特別会計補正予算

議案第81号 平成29年度中能登町国民健康保険特別会計補正予算

議案第82号 平成29年度中能登町下水道事業特別会計補正予算

議案第83号 平成29年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計補正予算

議案第84号 平成29年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算

議案第85号 平成30年度中能登町一般会計予算

議案第86号 平成30年度中能登町後期高齢者医療特別会計予算

議案第87号 平成30年度中能登町介護保険特別会計予算

議案第88号 平成30年度中能登町国民健康保険特別会計予算

議案第89号 平成30年度中能登町下水道事業特別会計予算

議案第90号 平成30年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計予算

議案第91号 平成30年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計予算

議案第92号 平成30年度中能登町水道事業会計予算

議案第93号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

議案第94号 七尾市及び中能登町の広域行政の推進に関する規約の一部改正に関する協議について

請願第3号 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める請願書

以上の議案33件及び報告2件並びに請願1件を一括して議題とします。

◎提案理由説明

○議長（古玉栄治議員） 町長から提案理由の説明を求めます。

杉本町長

〔杉本栄蔵町長登壇〕

○杉本栄蔵町長 冒頭の議案につきまして、議決を賜りましてありがとうございます。

引き続き、本定例会議に提案いたしました議案の主な内容について順次ご説明いたします。

最初に、議案第62号 中能登町中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定についてであります。

この条例は、中小企業等が中能登町における経済の発展に果たす重要性に鑑み、その振興に関しての基本理念を定め、町の責務、事業者及び商工会の役割等を明らかにすることなどを目的に制定するものであります。

次に、議案第63号 中能登町放課後児童クラブ条例の制定についてであります。

この条例は、かしま放課後児童クラブを移転するに当たり、その名称及び位置を定めるため制定するものであります。

次に、議案第64号 中能登町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を

定める条例の制定についてであります。

この条例は、介護保険法の改正により、都道府県が行っている指定居宅介護支援事業者の指定等の事務が平成30年4月1日から市町村が行うこととなるため、制定するものであります。

次に、議案第65号 中能登町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の制定についてであります。

この条例は、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定に伴い、申請者の資格要件を定めるため制定するものであります。

次に、議案第66号 中能登町個人情報保護条例の全部改正についてであります。

この条例は、行政機関個人情報保護法等改正法の成立により個人情報の定義が明確化、要配慮個人情報の定義が新設されたことを踏まえ、個人情報の適切な取り扱いを確保するため改正を行うものであります。

次に、議案第67号 中能登町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、非常勤職員が一定の要件のもと育児休業に係る子が2歳に達する日まで育児休業を取得することができるよう改正を行うものであります。

次に、議案第68号 中能登町体育施設条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、かしま放課後児童クラブの移転に伴い、スパーク鹿島を当条例から削除するとともに、新たに2つの施設を追加する改正を行うものであります。

次に、議案第69号 中能登町国民健康保険条例及び中能登町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、平成30年度の国保制度改革に伴い、国民健康保険運営協議会等の標記を改

めるなどの改正を行うものであります。

次に、議案第70号 中能登町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、平成30年度の国保制度改革により、今後は都道府県が財政運営の責任主体となり、市町ごとの国民健康保険事業費納付金を決定することに伴い、県が示す標準保険料率を参考に保険税率の改正を行うものであります。

次に、議案第71号 中能登町介護保険条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、第7期介護保険事業計画の策定に伴い、平成30年度から32年度までの介護保険料の見直しを行うため改正を行うものであります。

次に、議案第72号 中能登町コーポとりや条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、定住促進と人口増加を図るため入居資格等を見直す改正を行うものであります。

次に、議案第73号 中能登町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、平成30年度から後期高齢者医療における被保険者の住所地特例制度が見直しとなるため、改正を行うものであります。

次に、議案第74号 中能登町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、改正を行うものであります。

次に、議案第75号 中能登町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する

条例についてであります。

この条例は、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、改正を行うものであります。

次に、議案第76号 中能登町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてであります。

この条例は、介護保険法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、改正を行うものであります。

次に、議案第77号 中能登町下水道等供用開始区域内し尿等処分手数料徴収条例を廃止する条例についてであります。

この条例は、バイオマスメタン発酵施設の稼働により、し尿等の処分手数料は中能登町廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例に基づく手数料の徴収となることから、廃止するものであります。

次に、報告第5号 専決処分の報告につきましては、平成30年1月末に発生しました鹿島地区の断水復旧業務に係る職員を動員したことによる時間外勤務手当を補正し、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ170万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ107億9,052万円とし、1月28日付で専決処分を行ったものであります。

次に、報告第6号 専決処分の報告につきましては、本年の大雪により除雪費が不足することに伴い委託料を補正し、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,000万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ108億4,052万円とし、1月29日付で専決処分を行ったものであります。

次に、議案第78号から議案第84号までの平成29年度中能登町各会計補正予算に関する議案についてご説明をいたします。

まず、議案第78号 平成29年度中能登町一般会計補正予算につきましては、歳入歳出予

算の総額から歳入歳出それぞれ6,810万8,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ107億7,241万2,000円とするものであります。

また、第2表の地方債補正につきましては、一般単独施設改修事業、児童福祉施設整備事業及び農業農村整備事業などの事業費の確定に係る必要額を計上するものであります。

補正の主なものとしましては、歳入では、各種事業費の確定に伴う起債額の決定により町債で1億4,800万円を増額し、基金繰入金では財源調整のための財政調整基金繰入金等を2億3,890万6,000円減額するものであります。

歳出では、農業費、県営土地改良事業費、負担金として4,393万8,000円、団体営土地改良事業費、委託料及び工事請負費として5,227万2,000円を増額するものであります。

次に、議案第79号 平成29年度中能登町後期高齢者医療特別会計補正予算につきましては、後期高齢者医療還付加算金を補正するもので、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億3,765万5,000円とするものであります。

次に、議案第80号 平成29年度中能登町介護保険特別会計補正予算につきましては、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億2,869万1,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ22億1,890万7,000円とするものであります。

補正予算の主なものとしましては、介護サービス及び支援サービス等諸費として2億9,800万4,000円を減額し、介護給付費準備基金積立金として8,033万1,000円を増額するものであります。

次に、議案第81号 平成29年度中能登町国民健康保険特別会計補正予算につきましては、事業の決算見込みにより、歳入歳出予算

の総額から歳入歳出それぞれ2,523万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ23億5,018万円とするものであります。

次に、議案第82号 平成29年度中能登町下水道事業特別会計補正予算につきましては、事業の決算見込みにより、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3,952万4,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ18億5,784万6,000円とするものであります。

また、第2表の地方債補正につきましては、特定環境保全公共下水道事業債で事業費の確定に係る必要額を計上するものであります。

次に、議案第83号 平成29年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計補正予算につきましては、事業の決算見込みにより、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ217万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億2,097万円とするものであります。

次に、議案第84号 平成29年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算につきましては、事業の決算見込みにより、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ326万8,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億2,592万1,000円とするものであります。

続いて、議案第85号から第92号までの平成30年度当初予算についてご説明をいたします。

まず、議案第85号 平成30年度中能登町一般会計予算につきましては、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ100億6,293万円とするものであります。

第2表地方債では、各事業費の地方債限度額を総額で5億3,365万円とするものであります。

平成30年度の主な事業としましては、継続事業では、土木費で、社会資本整備総合交付金事業、地方創生道整備推進交付金事業で、

町道路網整備計画に基づき、安全で安心な利便性の高い道路整備を行います。

また、農業費では、県営及び団体営土地改良事業等の実施により担い手への農地集積、集約、農業の高付加価値化を図るため、引き続き圃場整備等を推進してまいります。

新規事業では、行財政改革の一環として、総務費では、旧滝尾小学校解体工事費を計上し、今後、公有財産の有効な利活用を検討していくこととしております。

また、民生費では、児童館運営費で、9館ありました児童館を新年度から3館での運営とし、児童厚生員を1名から2名へと増員することで子供たちへのきめ細やかなサービスの提供を図ることとしております。

次に、子育て支援策、人口減少対策としましては、地域少子化対策重点推進交付金事業として、結婚新生活支援事業補助金を創設し、若年層への結婚生活への支援をすることといたしました。また、乳幼児のおたふく風邪、ロタウイルスの任意予防接種費用の助成に係る予算を計上いたしました。

次に、観光事業では、ななお・なかのとDMO地域連携事業として、着地型観光の誘客を目指し、七尾市と連携する経費を計上いたしました。また、不動滝への誘客や観光客の利便性の向上を図るため、公衆無線LAN環境整備事業費を計上いたしました。

次に、学校教育では、教職員の働き方改革の一環として、教員を補助する校務支援員を各小中学校に配置することといたしました。これは、教員が少しでも子供たちとかわり合える環境づくりを推進するものであります。また、学校における児童の安全、安心な環境整備のため、鳥屋小学校と鹿西小学校の防犯カメラ設置費及び職員玄関自動錠工事費を計上いたしました。

次に、議案第86号 平成30年度中能登町後期高齢者医療特別会計予算につきましては、後期高齢者医療広域連合納付金等の予算を計

上し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億4,249万円とするものであります。

次に、議案第87号 平成30年度中能登町介護保険特別会計予算につきましては、高齢者の在宅生活を支える多様な生活支援サービスの提供体制の充実を図るための経費等を計上し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ21億8,800万円とするものであります。

次に、議案第88号 平成30年度中能登町国民健康保険特別会計予算につきましては、平成30年度から県が財政運営の責任主体となることから、県への納付金、保険給付に係る交付金等を計上し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ20億900万円とするものであります。

次に、議案第89号 平成30年度中能登町下水道事業特別会計予算につきましては、これまでの公共下水道施設の維持管理経費に加え、バイオメタン発酵施設の性能評価や下水道処理区の統廃合事業に係る経費等を計上し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ17億7,987万円とするものであります。

次に、議案第90号 平成30年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計予算につきましては、春木地区、徳前地区、能登部上地区の分譲宅地販売に関する経費を計上し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,783万円とするものであります。

次に、議案第91号 平成30年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計予算につきましては、ケーブルテレビへの加入促進を図り、番組供給及び告知端末の運営に係る予算等を計上し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億2,617万円とするものであります。

次に、議案第92号 平成30年度中能登町水道事業会計予算につきましては、収益的収入を4億3,609万8,000円、収益的支出を4億5,119万9,000円とし、資本的収入を2億302万2,000円とし、資本的支出を3億3,490万円とするものであります。

主な事業としましては、塩ビ管や铸铁管の老朽管更新事業を行うものであります。

次に、議案第93号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更についてであります。

平成28年度に中能登町瀬戸地区を対象とした辺地の総合整備計画を策定いたしましたが、今回、下水道事業の内容の一部見直しに伴い総合整備計画を変更することについて、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第94号 七尾市及び中能登町の広域行政の推進に関する規約の一部改正に関する協議についてであります。

この規約の改正内容につきましては、し尿処理について、中能登町がバイオメタン発酵施設で処理することとなり、事務委託の対象外となったこと等により、規約の一部改正を行うに当たり議会の議決を求めるものであります。

以上、本日提出いたしました議案各件につき、その大要をご説明申し上げましたが、議員各位におかれましては、慎重なるご審議をいただき適切な議決を賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明を終わります。

○議長（古玉栄治議員） 町長の提案理由の説明が終わりました。

◎議案説明及び質疑

○議長（古玉栄治議員） これより、3月定例会議に上程されました議案について一括して議案の説明及び質疑を行います。執行部におかれましては、説明は簡潔、明瞭で、答弁は的確なものとするを求めておきます。

なお、議案第85号から議案第92号までは、予算審査特別委員会を設置し、付託の予定であります。また、請願第3号についても常任委員会へ付託の予定であります。よって、ここでの説明及び質疑は省略したいと思いますので、ご了承願います。

それでは、これより議案第62号から議案第84号まで及び議案第93号から議案第94号について説明及び質疑を行います。

なお、質疑については、同一の質疑は3回までとなっていますので、議員各位にはよろしくをお願いします。

最初に、議案第62号 中能登町中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定について説明を求めます。

議案書は、その3、1ページから5ページとなります。

高名企画課長

〔高名雅弘企画課長登壇〕

○高名雅弘企画課長 それでは、議案第62号 中能登町中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定について、上記の議案を別紙のとおり提出するものです。

提出議案書は3ページからで、提出案件資料は1ページをお開きください。提出案件資料に基づいて説明をいたします。

最初に制定理由ですが、1番目といたしまして、中小企業等が本町における経済の発展に果たす重要性を鑑み、振興に関して基本理念を定め、町の責務、事業者及び商工会の役割などを明らかにするものです。

2番目といたしまして、中小企業等の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進をするものです。

3番目といたしまして、中小企業等の成長発展及びその事業の持続的発展並びに地域経済の発展を図り、もって町民の生活の向上に寄与するものです。

次に制定概要ですが、1番目といたしまして基本的施策、2番目として町の責務、事業者の役割、商工会の役割、町民の理解と協力、3番目といたしまして財政上の措置、施策の実施状況の検証など、全11条の条文から成り、本条例の施行期日を平成30年4月1日とするものです。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第62号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第63号 中能登町放課後児童クラブ条例の制定について説明を求めます。

議案書は、7ページから9ページとなります。

加賀参事兼住民福祉課長

〔加賀忠夫参事兼住民福祉課長登壇〕

○加賀忠夫参事兼住民福祉課長 7ページをお願いいたします。

議案第63号 中能登町放課後児童クラブ条例の制定についてを議案として提出するものでございます。

別冊の条例等提出案件資料の3ページで説明をさせていただきます。

本条例の制定理由でございますが、現在のかしま放課後児童クラブが中能登町生涯学習センター「ラピア鹿島」内から現在建築工事を進めております鹿島小学校のお隣のすぱーく鹿島へ移転するに当たりまして、新たな公共施設となりますことから、地方自治法第244条の2の規定によりまして新規に条例を定めるもので、かしま放課後児童クラブを含めました各放課後児童クラブ3施設の名称と位置を条例化するものでございます。

平成30年4月1日からの施行とするもので、放課後児童対策の充実と児童の安全、安心した活動が営まれる居場所の確保に努めるものでございます。

説明は以上であります。よろしく願いいたします。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第63号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

す。

次に、議案第64号 中能登町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について説明を求めます。

議案書は、11ページから25ページとなります。

道善長寿介護課長

〔道善まり子長寿介護課長登壇〕

○道善まり子長寿介護課長 それでは、議案書11ページをお願いいたします。

議案第64号 中能登町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について説明をさせていただきます。

議案書は13ページ、提出案件資料につきましては5ページをお願いいたします。

制定の理由でございますが、介護保険法の改正により、現在は指定居宅介護支援事業者の指定などの事務は都道府県で行っておりますが、権限移譲により平成30年4月1日より市町村が指定などの事務を行うことになるため、条例の制定を行うものでございます。

条例の内容につきましては、石川県で定めていた条例を中能登町の条例で定めます。この条例の中において、虐待防止のため従業員に対し研修を実施するよう努めることと、記録の保管期間を5年とした県が独自基準で定めてあるものも採用しております。

この条例は平成30年4月1日から施行するものでございます。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第64号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第65号 中能登町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の制定について説明を求めま

す。

議案書は、27ページから29ページとなります。

道善長寿介護課長

○道善まり子長寿介護課長 それでは、議案書27ページをお願いいたします。

議案第65号 中能登町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の制定について説明をさせていただきます。

議案書は29ページ、提出案件資料につきましては7ページをお願いいたします。

制定の理由でございますが、町で指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定に伴い、指定居宅介護支援事業者の指定の申請者の資格についてのみ、上程いたしましたこの条例の中において法人と定めるものでございます。

この条例は、平成30年4月1日から施行するものでございます。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第65号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第66号 中能登町個人情報保護条例の全部改正について説明を求めます。

議案書は、31ページから51ページとなります。

植田参事兼総務課長

〔植田一成参事兼総務課長登壇〕

○植田一成参事兼総務課長 議案書31ページをごらんください。

議案第66号 中能登町個人情報保護条例の全部改正についてでございます。

上記の議案を別紙のとおり提出するものでございます。

条例等提出案件資料の9ページをごらん願

います。

改正の理由でございます。行政機関個人情報保護法等改正法の成立により、個人情報の定義が明確化、要配慮個人情報の定義が新設されたことを踏まえ、個人情報の適切な取り扱いを確保するため改正を行うものでございます。

改正の概要といたしましては、1つ目に、個人情報の定義の明確化、条例では第2条第2号関係でございます。個人情報の定義について、個人識別符号は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「行個法」という。）と同じ定義とします。個人識別符号、その情報単体でも個人情報に該当するものということで、具体的には①、②でございます。

もう1点は、要配慮個人情報の取り扱いの規定、条例関係は第2条第3号でございますけれども、要配慮個人情報の定義を設け、行個法の改正により要配慮個人情報と規定された情報を含むということで、要配慮個人情報には、人種、信条、病歴、犯罪の経歴等に該当する情報ということで、以下①、②が具体的なものでございます。

議案書に戻っていただきまして、33ページをごらん願います。

まず目的でございます。第1条。この条例は、実施機関において個人情報の利用が拡大していることに鑑み、実施機関における個人情報の取り扱いに関する基本的な事項を定めることにより、町政の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護することを目的といたします。

定義といたしまして、第2条では、実施機関とは、町長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会及び議会等をいいます。

続きまして、34ページをごらん願います。

第2章では、実施機関における個人情報の取り扱いということで、個人情報の保有の制

限等を設けております。

第3条では、実施機関は、個人情報を保有するに当たっては、その所掌事務を遂行するため必要な場合に限り、かつ、その利用の目的をできる限り特定しなければならないと定めております。

続きまして、第3章のほうで37ページをお願いいたします。

個人情報ファイルの保有等に関する事前通知ということで、第13条では、実施機関が個人情報ファイルを保有しようとするときは、当該実施機関は、あらかじめ、町長に対し、次に掲げる事項を通知しなければならないとしております。このファイルというのは、一定の事務の目的を達成するために、特定の保有個人情報を容易に検索することができるように体系的に構成した個人情報を含む情報の集積的個人情報をデータベース化したものをいいます。

続きまして、39ページでは、第4章といたしまして、開示、訂正、利用の停止等をうたっております。

それから最後ですけれども、50ページです。

条例等提出案件資料の10ページにもありますけれども、罰則の規定を今回設けております。条例等提出案件資料の10ページのほうでは、罰則ということで、対象者に関しては、実施機関の職員、元職員、受託業務従事者、元従事者で、対象の行為といたしましては、個人の秘密に属する事項が記録された個人情報ファイルを提供したときには、量刑ということで2年以下の懲役または100万円以下の罰金とするものでございます。

施行の期日につきましては平成30年4月1日でございます。

説明は以上になります。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第66号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

ここで、11時15分まで休憩します。

午前11時04分 休憩

午前11時15分 再開

○議長（古玉栄治議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第67号 中能登町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について説明を求めます。

議案書は、53ページから55ページとなります。

植田参事兼総務課長

○植田一成参事兼総務課長 議案書53ページをごらん願います。

議案第67号 中能登町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。

条例等提案案件資料の11ページをごらん願います。ここで説明をいたします。

改正の理由といたしましては、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、非常勤職員が一定の要件のもと育児休業に係る子が2歳に達する日まで育児休業を取得することができるよう所要の整備を行うものでございます。

改正の概要といたしましては、1つ目に、育児休業を取得できる期間の見直しでございます。育児休業をしている非常勤職員が原則1歳までである育児休業を6カ月延長しても保育所等に入れない場合等に限り、最長2歳に達する日まで育児休業を取得できるようにするものでございます。

また、附則第3項から第6項の廃止ということで、55歳を超える6級以上の職員の1.5%の減額支給制度の廃止に伴い、給与の月額計算に係る引用部分を廃止するものでございます。

施行の期日は平成30年4月1日でございます。

説明は以上になります。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第67号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第68号 中能登町体育施設条例の一部を改正する条例について説明を求めます。

議案書は、57ページから61ページとなります。

甘田生涯学習課担当課長

〔甘田悟司生涯学習課担当課長登壇〕

○甘田悟司生涯学習課担当課長 議案書57ページをお願いいたします。

議案第68号 中能登町体育施設条例の一部を改正する条例についてであります。

議案書は59ページから、提出案件資料では17ページからとなります。提出案件資料で説明申し上げます。

改正の理由及び概要といたしまして、平成30年4月から、すば一く鹿島をかしま放課後児童クラブ施設として運用することから、所管課を生涯学習課から住民福祉課へ移管するとともに、中能登町体育施設条例から削除を行うものであります。

2つ目といたしまして、旧鳥屋中学校体育館と旧鳥屋中学校グラウンドは、現在、旧学校施設として教育文化課で管理を行っており、使用の際は学校施設利用許可申請書を教育文化課に提出しております。現在の使用状況を踏まえ、今後、体育施設として活用するため生涯学習課へ移管し、旧鳥屋中学校体育館を「鳥屋体育館」に、旧鳥屋中学校グラウンドを「鳥屋グラウンド」にそれぞれ名称を変更し、新たに町体育施設条例に追加を行うものであります。このことにより使用申請書

の様式や提出場所が他の体育施設の申請と同様となり、施設利用の調整もスムーズに行えるなど、利用者の利便性の向上を図ることができます。

3つ目は、鳥屋体育館と鳥屋グラウンドの追加により、それぞれの使用料を新たに設けるものがございます。この改正で町体育施設は現在の12施設から13施設となります。

この条例の施行期日は平成30年4月1日でございます。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第68号について質疑の方はご発言願います。

9番 宮下為幸議員

〔9番（宮下為幸議員）登壇〕

○9番（宮下為幸議員） 提出案件資料の21ページです。

鳥屋中学校のグラウンドということで、備考の中で「グラウンドは全面利用の必要がない場合、2分割でも利用できるものとし、分割利用面積によって、上記金額より相当する金額を徴収する」となっておりますが、使用料の欄を見ていくと町民の使用料は免除となっているんですけれども、これは書いてないんですよ。鳥屋グラウンドは。町民は免除なのかということ。

それと、鹿島運動場、これは無料となっているんですね。免除でなくて無料。そして、中能登町運動場の芝生広場についても無料となっているんですが、無料というのは町外から来ても無料で使用していいですよという、町民は免除ですが町外から来ても無料なのかどうかということ。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 甘田生涯学習課担当課長

○甘田悟司生涯学習課担当課長 宮下議員の質疑にお答えをいたします。

まず、鳥屋グラウンドの使用料について、

町民は無料というふうに書いていないというふうなことで、まず町民は無料なのかということですが、今現在、あのグラウンドにつきましては個人の使用というものは想定しておりません。あくまで団体での使用というふうなことを考えております。ですから各団体による使用であれば、ジュニアのスポーツ教室であるとか各協会の使用に伴って町内の団体であれば無料ということになるかと思えます。

もう1点、鹿島運動場の無料という料金設定でございますけれども、町内の方はもちろん無料でございますけれども、町外の方も無料かというふうなご質疑だったかと思えます。鹿島運動場につきましては、町内外いずれも無料ということでございます。

以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 宮下議員

○9番（宮下為幸議員） 町内外は無料というのはそれでわかりました。

ただ、野球場の芝生広場についても無料ということやね、町外の方も。それは答えられなかったもので。

それと、例えば鳥屋グラウンドを使うとする。あそこはソフトボールとかいろいろ使っておいでますが。例えば全能登のソフトボール大会はそこにする。中能登のチームが出ている。そういう場合は、もし全能登じゃなくても羽咋郡市とか七尾市の大会がそこで開かれる場合は、結局、中能登のチームが出ているらば免除されるんですか。

○議長（古玉栄治議員） 甘田生涯学習課担当課長

○甘田悟司生涯学習課担当課長 まず、運動公園の芝生、先ほど答弁抜けておりましたけれども、芝生広場については料金の徴収条例にはございませんので、町外の方が来られても無料ということになっております。

そして、町外の方で、例えば全能登の大会とかそういうものがあつたときに、町内のチ

ームが参加しているから無料になるのかということになりますと、これはまた違っておりました、主催がどこであるのかということによって料金の有無が発生するかと思います。ですから、例えば県の大会であればそれは有料になりますし、他の施設でも同様でございます。

よろしいでしょうか。

○議長（古玉栄治議員） 宮下議員

○9番（宮下為幸議員） わかりました。終わります。

○議長（古玉栄治議員） ほかに質疑の方はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第69号 中能登町国民健康保険条例及び中能登町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について説明を求めます。

議案書は、63ページから65ページとなります。

平岡保健環境課長

〔平岡重信保健環境課長登壇〕

○平岡重信保健環境課長 それでは、63ページをお願いいたします。

議案第69号 中能登町国民健康保険条例及び中能登町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。

議案書では65ページ、提出案件資料では27ページをお願いいたします。それでは、提出案件資料でございます。

改正の理由としましては、平成30年度の国保制度改革に伴い、国民健康保険運営協議会等の標記を改めるものでございます。

改正の概要といたしましては、「国民健康保険運営協議会」を「国民健康保険事業の運営に関する協議会」に改めるものでございます。

施行期日は平成30年4月1日でございます。

提出案件資料の29ページ、30ページに、それぞれの新旧対照表を記載してございます。

説明については以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第69号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第70号 中能登町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について説明を求めます。

議案書は、67ページから71ページとなります。

平岡保健環境課長

○平岡重信保健環境課長 それでは、67ページをお願いいたします。

議案第70号 中能登町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてです。

議案書では69ページから71ページ、提出案件資料では31ページ、32ページをお願いいたします。提出案件資料で説明をさせていただきます。

まず改正理由といたしましては、平成30年度の国保制度改革により、今後は都道府県が財政運営の責任主体となり、市町ごとの国民健康保険事業費納付金を決定することになります。町では、県が示す標準保険料率を参考に保険税率の決定と賦課徴収を行い、県に納付金を納付することになります。このことから県が示す標準保険料率を参考に保険税率の改正を行うものでございます。

改正の概要といたしましては、下段になりますけれども、算定方式では、石川県国民健康保険運営方針で標準的な保険料の算定方法を医療分、後期高齢者支援分、介護分、全て資産割を除いた3方式とすることから、中能登町においても同様の算定方式を採用するも

のでございます。また、税率等につきましては県が示す標準保険料率を参考に行うものでございます。

具体的には、表の上段になります。

医療分につきましては、所得割を6.5%、資産割は廃止するものでございます。それから均等割につきましては被保険者1人当たり2万6,300円、それから平等割では世帯当たり1万8,400円とするものでございます。所得割、平等割で減額となりますが、均等割では少し増額となるものでございます。

それから下段の表になります。

後期高齢者支援分につきましては、所得割では2.2%、それから均等割につきましては9,200円、それから平等割につきましては6,400円にするものでございます。全ての所得割、均等割、平等割、増額となるものでございます。

それから、次ページをお願いいたします。

上段の表になります。

介護分につきましては、所得割1.7%、それから均等割が8,900円、それから平等割を4,000円とするものでございます。所得割、均等割で減額となりますが、平等割を新たに追加するものでございます。

これら介護分を含む1人当たりで合計しますと、所得割では増減なしとなりますが均等割では2,000円、平等割では6,500円の減額となるものでございます。資産割については廃止とするものでございます。

施行年月日は平成30年4月1日でございます。

それから、この改正によりまして、被保険者1人当たりの合計額で平成29年度と30年度を比較しますと約1万6,200円の減額となるものでございます。

また、平成30年度からは県が国民健康保険の財政主体となることから、徴収しました保険税に町に交付される公費をプラスし、県へ納付金を支払うことで、療養給付に必要な費

用が全額交付されることとなるものです。

説明については以上です。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第70号について質疑の方はご発言願います。

9番 宮下為幸議員

〔9番（宮下為幸議員）登壇〕

○9番（宮下為幸議員） 案件資料をお願いします。31ページ。

改正理由はわかったんですが、医療分、後期高齢者分、介護分は減額という部分があって、課長は1万500円ほどの減額になると言われましたが、例えば国民健康保険に入っていて、2人で夫婦で500万円の所得があったとしますね。その一回試算を出していただきたい。後からでもいいですけども。500万円の所得があった場合、夫婦2人でどれくらいの保険料がかかるということを出してほしいです。

全体的には、国保のあれは一回この前出ておりますが、それは4月1日から皆さんは下がるということですね。上がる人ももちろんおいででしょうけれども、全体的には下がる。1万500円は下がるということですか。

その辺、最後のときに、被保険者のことを言われておったもので、そのところが、最後のほうがわからなかった。その辺も含めて、もう一回、再度説明をお願いします。

○議長（古玉栄治議員） 平岡保健環境課長

○平岡重信保健環境課長 宮下議員の質疑にお答えします。

例を示してということで、県が標準的に使っている世帯というのがありますので、それをここで紹介させていただきます。

夫婦2人、子供2人で夫婦の世代が40代、介護が関係するということで、所得が250万円、妻は年収ゼロということで、固定資産税が5万円あるという標準世帯の中で、今説明させていただきました標準税率で算定します

と約41万8,000円ということになる予定となっております。これにつきましては、県のほうで標準税率というものは公表されておまして、それと比較しましても安いほうに入る予定となっております。

それから、1万6,200円1人当たり安くなるとさっき説明したんですけれども、これにつきましては平成29年度の賦課額と30年度の賦課額全体を被保険者数で割ったものが大体1万6,200円になるということで、全ての世帯がこれくらい安くなるということではございません。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 宮下議員

○9番（宮下為幸議員） もう一回伺いますが、250万円の夫婦2人で、子供が2人で、国保税が41万8,000円かかると言われた。それは間違いないですか。

○議長（古玉栄治議員） 平岡保健環境課長

○平岡重信保健環境課長 一応、県の標準保険税率に基づいて算定した数字でございます。

以上です。

○9番（宮下為幸議員） わかりました。ありがとうございます。

○議長（古玉栄治議員） ほかに質疑の方はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第71号 中能登町介護保険条例の一部を改正する条例について説明を求めます。

議案書は、73ページから76ページとなります。

道善長寿介護課長

○道善まり子長寿介護課長 それでは、議案書73ページをお願いいたします。

議案第71号 中能登町介護保険条例の一部を改正する条例について説明をさせていただきます。

きます。

議案書は75ページ、提出案件資料につきましては41ページをお願いいたします。

改正の理由でございますが、第7期介護保険事業計画の策定に伴い介護保険料の見直しを行いました。介護保険料基準額1カ月の金額は第6期と同額の6,400円と据え置きとなりましたが、現在の条文の内容は平成27年度から平成29年度に対応したものとなっておりますので、これを平成30年度から平成32年度に対応するものに改正するものでございます。

そのほかの改正につきましては、介護保険法の改正により所要の改正を行うものであります。

この条例は平成30年4月1日から施行するものでございます。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第71号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第72号 中能登町コーポとりや条例の一部を改正する条例について説明を求めます。

議案書は、77ページから79ページとなります。

北野土木建設課長

〔北野 均土木建設課長登壇〕

○北野 均土木建設課長 それでは、議案書は77ページをお願いいたします。

議案第72号 中能登町コーポとりや条例の一部を改正する条例についてであります。

説明につきましては条例等提出案件資料でご説明いたします。資料の51ページをお願いいたします。

今回の改正の主な内容でございますが、入居資格におきまして単身世帯の入居を可能とし

たいというものでございます。また、入居者につきましては中能登町に住所を置く者とするのであります。このほか、入居者の選考の中で、単身入居での申込者と複数入居での申込者が同時に申し込みがあった場合、複数入居での申込者を優先とさせていただきたいというものであります。

多様なニーズに応えることによりまして、定住促進と人口増加を図りたいというものでございます。

施行期日につきましては平成30年4月1日とするものでございます。

よろしく願いいたします。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第72号について質疑の方はご発言願います。

6番 笹川広美議員

〔6番（笹川広美議員）登壇〕

○6番（笹川広美議員） 今ほど改正理由ということで、定住促進、また人口増加を図ることを目的とされるというお話でしたけれども、現在、コーポとりや、入居状況というのはどういうふうな状況であるのか、お聞かせ願います。

また、今回のこの改正によって入居を想定される世代というか、どういう方を想定されたものと考えておられるのか、お聞かせください。

○議長（古玉栄治議員） 北野土木建設課長

○北野 均土木建設課長 笹川議員の質問にお答えをいたします。

まず、コーポとりやの入居状況でございますが、今ここに資料を持ってきておりませんので、後ほど状況を説明させていただきたいと思っております。

それから、改正によってどのような方を想定しているのかというご質問だったかと思いますが、基本的に、コーポとりやについては複数入居、親族2人以上の方での入居ということが条件となっております。いろいろな生

活スタイル、ニーズ等もあることから、単身者でも入居できるようにしたいということが一番でございます。

以上であります。

○議長（古玉栄治議員） 笹川議員

○6番（笹川広美議員） 単身世帯というのはわかるんですが、どういった単身の方を、高齢者とか障害のある方も含め、若い世代なのか、そういうことをお聞かせ願いたいんですが。

○議長（古玉栄治議員） 北野土木建設課長

○北野 均土木建設課長 笹川議員の再質問にお答えをいたします。

対象にいたしましては、全て単身でも入居できるということを想定しております。若い方から、もちろんであります、そういった方までという形になると思います。

○議長（古玉栄治議員） 笹川議員

○6番（笹川広美議員） じゃ幅広く対象とを考えていただけるということですが、そうすると、例えば高齢者のようなちょっと体に不自由を来してくるような方であっても入居ができるという、対象に考えていただけるということですよ。そうすると、移動に困難な、そういう対応というものも考えていらっしゃるのか。改修等も含めたそういう対応も考えていらっしゃるのか、お聞かせください。

○議長（古玉栄治議員） 北野土木建設課長

○北野 均土木建設課長 笹川議員の再々質問にお答えをいたします。

高齢者もしくは障害者の方ということであったと思うんですが、基本的に自分で動かれる方の入居ということで、条例の中にも少しそういうことをうたってあったと記憶しているんですが、コーポを改築してまでということは思っておりません。あくまで自立して入居できる方ということをお思っております。

よろしく願いいたします。

○議長（古玉栄治議員） よろしいですか。

ほかに質疑の方はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第73号 中能登町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について説明を求めます。

議案書は、81ページから83ページとなります。

平岡保健環境課長

○平岡重信保健環境課長 それでは、81ページをお願いします。

議案第73号 中能登町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例についてです。

議案書では83ページ、提出案件資料では55ページをお願いいたします。説明は提出案件資料でさせていただきます。

改正理由といたしましては、高齢者の医療の確保に関する法律の改正により、後期高齢者医療における被保険者の住所地特例制度が見直しとなることから所要の改正を行うものでございます。

改正の概要といたしましては、例を示して説明をさせていただきます。

上段になります。現行のほうでは、国民健康保険加入の74歳以下の方が例えば富山市の施設に入所し住所を移されても、住所地特例が適用になり中能登町国民健康保険の被保険者となりますが、右側になります。75歳到達時においては富山県の広域連合の被保険者となるものです。

それから下段になります。改正案でございますけれども、後期高齢者医療においても国民健康保険の住所地特例が継続され、石川県の広域連合の被保険者となるものでございます。

施行年月日は平成30年4月1日です。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。

た。議案第73号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第74号 中能登町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について説明を求めます。

議案書は、85ページから88ページとなります。

古川税務課長

〔古川利宣税務課長登壇〕

○古川利宣税務課長 それでは、議案第74号 中能登町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例についてご説明いたします。

資料は59ページをお願いいたします。新旧対照表は61ページとなります。

まず改正理由ですが、企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う改正です。

改正概要ですが、1つ目といたしまして題名を改めるもので、「中能登町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例」を「中能登町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例」とするものでございます。

次に、第1条（趣旨）、第2条（課税免除の範囲）において引用する法令、用語等を改めるものです。現行の第1条、第2条を要約いたしますと、「承認企業立地計画に従って特定事業のための施設のうち省令に規定する対象施設を同意集積区域内に設置した事業者について、家屋若しくは構築物又は土地に対

して課する固定資産税を3箇年度課税免除」とするものですが、改正案では「承認地域経済牽引事業計画に従って地域経済牽引事業のための施設のうち省令に規定する対象施設を促進区域内に設置した事業者について、家屋若しくは構築物又は土地に対して課する固定資産税を3箇年度課税免除」となります。

施行期日は公布の日です。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第74号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第75号 中能登町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例について説明を求めます。

議案書は、89ページから110ページとなります。

道善長寿介護課長

○道善まり子長寿介護課長 それでは、議案書89ページをお願いいたします。

議案第75号 中能登町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例について説明をさせていただきます。

議案書は91ページ、提出案件資料につきましては63ページをお願いいたします。提出案件資料で説明をさせていただきます。

この条例改正は、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、3件の条例改正が必要となりましたが、3件をあわせて一度に改正を行うものでございます。

まず1つ目の中能登町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正、第1条関係で

すが、1番、定期巡回・随時対応型訪問介護看護につきましても、オペレーターに係る基準の見直し、介護・医療連携推進会議の開催頻度の緩和、地域へのサービス提供の推進。

2番、夜間対応型訪問介護につきましても、オペレーターに係る基準の見直し。

3番、地域密着型通所介護につきましても、障害福祉サービスを利用してきた障害者が介護保険サービスを利用する場合のサービスの基準の創設。

4番、療養通所介護につきましても、定員数の見直し。

5番、認知症対応型通所介護につきましても、共用型指定認知症対応型通所介護の利用定員の見直し。

6番、認知症対応型共同生活介護につきましても、身体的拘束等の適正化。

7番、地域密着型特定施設入居者生活介護につきましても、身体的拘束等の適正化。

資料64ページになります。

8番、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護につきましても、身体的拘束等の適正化、入所者の医療ニーズへの対応。

9番、看護小規模多機能型居宅介護につきましても、サテライト型事業所の創設、指定に関する基準の緩和。

このほかに、平成30年度から新たな介護保険施設の類型として介護医療院が創設されることに伴い、条文中の必要箇所に介護医療院の文言を加えるなどの改正を行うものであります。

この条例改正の介護保険施設で中能登町にあります施設は、6番の認知症対応型共同生活介護、グループホームになります。これと8番の地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、これは第二鹿寿苑であります。

続いて、2番目の中能登町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正、第2条関係です。

1番、介護予防認知症対応型通所介護につきましては、共用型指定介護予防認知症対応型通所介護の利用定員の見直し。

2番、介護予防認知症対応型共同生活介護につきましては、身体的拘束等の適正化。

そのほか、平成30年度から新たに介護保険施設の類型としまして介護医療院が創設されることに伴い、文中の必要箇所介護医療院の文言を加えるなどの改正を行います。

この条例改正の介護保険施設で中能登町にあります施設は、2番の介護予防認知症対応型共同生活介護、これはグループホームであります。

続いて、3つ目の中能登町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正、第3条関係です。

1番、障害福祉制度の相談支援専門員との密接な連携。2番、公正中立なケアマネジメントの確保。3番、医療と介護の連携の強化などについて改正をするものであります。

この条例は平成30年4月1日から施行するものでございます。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第75号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

ここで、昼食のため午後1時30分まで休憩します。

午後0時02分 休憩

午後1時30分 再開

○議長（古玉栄治議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ここで、議案第70号について、平岡保健環

境課長から再説明の申し出があります。

平岡保健環境課長

○平岡重信保健環境課長 先ほど議案第70号の中で、宮下議員の質疑に対する答弁に対して少し説明をさせていただきたいと思えます。

まず具体例の中で所得、私、250万とお話ししましたがけれども、年間給与に換算しますと380万円に相当するものでございます。具体的な世帯のケースについては所得に対してはそういうようで、給与収入は380万を示すものでございます。

それから、資料の31ページをごらんいただきたいと思えます。ここで具体的に説明をさせていただきたいと思えます。

まず、改正概要のここに医療分と後期支援者分の表を記載してあります。

医療分の現行の税率につきましては、左側になります。H29までというところでございます。これら資産割を含む4方式で計算しますと、賦課額にしまして、課税額にしまして30万7,400円という計算になります。それが新しく示させていただく税率で3方式で算出しますと、これが26万4,600円ということになります。比較しますと4万2,800円の減額になるものでございます。均等割は増額となるものの、資産割が廃止され、所得割と平等割が減額となるため、全体としては減額となるものでございます。

それから、一番下段になります。後期高齢者支援分につきましては、これにつきましても左側の現行税率で算出しますと合計で6万9,900円という税率になります。それから平成30年度という欄に算出しますと、これが資産割を除いたもので9万900円ということになります。資産割が廃止されるものの、所得割、均等割、平等割のいずれも増額となるため、全体としては2万1,000円の増額となるものでございます。

それから、32ページに介護分を示してあり

ます。現行2方式で算出しますと6万8,000円でございます。それが新しい税率で計算しますと、3方式ということで新たに平等割を加えて5万8,600円ということになります。差し引きしますと9,400円の減額となるものでございます。新たに平等割は追加されますが、均等割が大幅に減額となり、均等割と平等割を足しても所得割も減額となるため、全体として減額となるものでございます。

この3つの医療、後期、介護分、合計しますと現税率で44万5,300円という合計額になります。それから新たな税率ではじきますと先ほど4万1,800円と説明させていただきましたが、合計しますと4万1,100円ということで訂正をさせていただきたいと思っております。全て3つ合計しますと3万1,200円の減額となるものでございます。

これが標準的な世帯から算出した保険税の比較でございます。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 宮下議員、よろしいでしょうか。

次に、議案第72号について、北野土木建設課長から再説明の申し出がありましたので、これを許します。

北野土木建設課長

○北野 均土木建設課長 それでは、議案第72号で、午前中、笹川議員からのコーポとりやの入居状況についてのご質問にお答えをいたします。

コーポとりやは2棟で60戸あります。3月1日現在、51戸が入居中であります。9戸が空室となっておりますが、そのうち2戸については補修中、7戸については退去、修繕中となっております。また、この9戸のうち8戸につきましては町内での新築または住宅購入ということで、転出は1戸でありました。

報告は以上であります。よろしく申し上げます。

○議長（古玉栄治議員） 笹川議員、よろし

いでしょうか。

それでは次に、議案第76号 中能登町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について説明を求めます。

議案書は、111ページから114ページとなります。

道善長寿介護課長

○道善まり子長寿介護課長 それでは、議案書111ページをお願いいたします。

議案第76号 中能登町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について説明をさせていただきます。

議案書は113ページ、提出案件資料につきましては147ページをお願いいたします。

改正の理由でございますが、介護保険法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、所要の改正を行うものであります。

主な内容は、初めて主任介護支援専門員、主任ケアマネといいますが、この研修を受けた人が、この研修の修了日から起算して5年が経過するまでに主任ケアマネの更新研修を受けること。以後、同じ繰り返しを行うように見直しを行っております。

しかし、取得年度によっては更新期限が過ぎていない人もいるため経過措置が設けられております。このことは説明資料の150ページになります。

現行の欄にあります表の中で、平成23年度までに主任介護支援専門員研修を修了している人は、平成31年3月31日までに更新研修を受け、同日以降5年を超えない期間ごとに更新をするようになっておりました。ところが、この現行のまま行ってしまうと5年から7年と更新期間において差が生じるため、不公平が生じないように見直しを行ったものであります。

この条例は平成30年4月1日から施行するものでございます。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第76号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第77号 中能登町下水道等供用開始区域内し尿等処分手数料徴収条例を廃止する条例について説明を求めます。

議案書は、115ページから117ページとなります。

平岡保健環境課長

○平岡重信保健環境課長 それでは、議案書115ページをお願いします。

議案第77号 中能登町下水道等供用開始区域内し尿等処分手数料徴収条例を廃止する条例についてです。

提出案件資料では153ページをお願いいたします。提出案件資料で説明をさせていただきます。

廃止の理由といたしましては、バイオマスメタン発酵施設の稼働により、し尿等の処分手数料は中能登町廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例に基づく手数料の徴収となることから廃止するものでございます。

それから、その下にある概要といたしましては、ななかクリーンセンターに処分委託していたし尿等をバイオマスメタン発酵施設で処分することで、し尿等の処分を七尾市に委託しなくなるためでございます。

施行年月日は平成30年4月1日でございます。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第77号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、報告第5号 専決処分の報告について（平成29年度中能登町一般会計補正予算）及び報告第6号 専決処分の報告について（平成29年度中能登町一般会計補正予算）について説明を求めます。

この報告2件は、地方自治法第180条第1項の規定による報告事項であり、承認議決を要するものではないことを申し添えておきます。

まず、報告第5号 専決処分の報告について（平成29年度中能登町一般会計補正予算）の説明を求めます。

議案書は、119ページから127ページとなります。

植田参事兼総務課長

○植田一成参事兼総務課長 議案書119ページをごらん願います。

報告第5号 専決処分の報告について。地方自治法第180条第1項の規定に基づき、平成29年度中能登町一般会計補正予算を次のとおり専決処分したので、同条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

120ページをごらん願います。

専決第14号、専決処分書。地方自治法第180条第1項の規定に基づき、平成29年度中能登町一般会計補正予算を次のとおり専決処分を行います。

121ページの一般会計補正予算でございます。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ170万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ107億9,052万円とするものでございます。

126ページをお願いいたします。

まず歳入でございます。

第17款の繰入金で1節の基金繰入金で170万円の計上でございます。財政調整基金を取り崩し、一般会計への繰り入れをするものでございます。

127ページの歳出でございます。

2 款の総務費です。2 款の総務費の 1 細目で170万円の計上でございます。時間外手当でございます。平成30年 1 月28日、鹿島地区で発生しました断水の対応ということで、対象人員は75名でございます。

説明は以上になります。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。報告第 5 号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、報告第 6 号 専決処分の報告について（平成29年度中能登町一般会計補正予算）の説明を求めます。

議案書は、129ページから137ページとなります。

植田参事兼総務課長

○植田一成参事兼総務課長 議案書129ページをごらん願います。

報告第 6 号 専決処分の報告について。地方自治法第180条第 1 項の規定に基づき、平成29年度中能登町一般会計補正予算を次のとおり専決処分したので、同条第 2 項の規定によりこれを報告するものでございます。

130ページをごらん願います。

専決第15号。地方自治法第180条第 1 項の規定に基づき、平成29年度中能登町一般会計補正予算を次のとおり専決処分します。

131ページをごらん願います。

一般会計の補正予算でございます。

第 1 条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,000万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ108億4,052万円とするものでございます。

136ページをごらん願います。

まず歳入でございます。

17款繰入金で 1 節の基金繰入金でございます。5,000万円の計上でございます。財政調整基金を取り崩して一般会計へ繰り入れする

ものでございます。

137ページをごらん願います。

歳出でございます。

第 8 款土木費の 1 細目の除雪費で5,000万円の計上でございます。除雪作業の委託料でございます。

説明は以上になります。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。報告第 6 号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

以上で報告第 5 号及び報告第 6 号は終結いたします。

次に、議案第78号 平成29年度中能登町一般会計補正予算について説明を求めます。

まずは歳入全般について説明を求めるとします。

議案書は、139ページから151ページとなります。

植田参事兼総務課長

○植田一成参事兼総務課長 議案書の139ページをごらん願います。

議案第78号 平成29年度中能登町一般会計補正予算でございます。

第 1 条、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6,810万8,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ107億7,241万2,000円とするものでございます。

第 2 条、地方債の変更につきましては、後ほどご説明をいたします。

144ページをごらん願います。

地方債の補正でございます。

まず、農業農村整備事業、老朽ため池改修事業につきましては、瀬戸地区、芹川地区、武部地区におけます県営ほ場整備事業団体営、土地改良事業におきまして、事業の増額によりまして限度額をそれぞれ増額するものでございます。

また一般町道の整備事業につきましては、自治振興資金を充てる予定でございましたけれども、県の指導によりまして限度額を減額するものでございます。

また、体育施設維持管理事業と一般単独施設改修事業につきましては、体育施設につきましては鹿島体育館の防水工事、一般単独施設改修事業につきましてはラピア鹿島のアイリスホールのLEDの改修工事につきまして自治振興資金をそれぞれ1,220万円、8,730万円を充てるものでございます。

一番下の児童福祉施設整備事業につきましては、かしま放課後児童クラブの移転工事に伴いまして4,170万円の限度額で補正をするものでございます。

続きまして、147ページをごらん願います。

まず歳入でございます。

第1款の町税でございます。2節の滞納繰越分で770万円の減額でございます。決算見込みによるものでございます。3項の軽自動車税の現年課税分につきましては110万円の増額の補正でございます。

11款の分担金及び負担金の中で、県営土地改良事業費の分担金では、芹川、武部、瀬戸地区の事業費の増額によりまして1,346万4,000円の増額。また瀬戸地区につきましては、団体営の土地改良事業費の分担金ということで750万円の増額でございます。

12款の使用料及び手数料で、教育使用料の109万円の中の生涯学習センター使用料105万8,000円は、七尾市の公共施設が使えなかったためと、また民間の利用が多かったことにより増額の補正でございます。

13款及び14款につきましては、各事業の確定見込みによりましてそれぞれ増減をさせていただきます。

続きまして、150ページをごらん願います。

第17款の繰入金でございます。まず基金繰

入金ということで2億3,890万6,000円の減額でございます。財政調整基金につきましては、各事業の精算見込みによる一般財源の減額及び地方債の充当による財源の組み替えによりまして2億3,959万5,000円の減額となります。

19款の諸収入につきましては、延滞金で200万円の増額でございます。これは決算の見込みによるものでございます。諸収入につきまして、住民福祉課雑入で229万2,000円の増額につきましては、更生費の医療過払い分の返戻金でございます。

151ページの第20款につきましては、先ほど第2表のほうで説明をさせていただきましたので省略させていただきます。

歳入の説明につきましては以上になります。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

続いて、同じく議案第78号 平成29年度中能登町一般会計補正予算の歳出について説明を求めます。

まずは、第1款議会費から第2款総務費まで、議案書は152ページから155ページについて説明を求めます。

植田参事兼総務課長

○植田一成参事兼総務課長 それでは、歳出の説明をさせていただきます。

152ページをごらん願います。

まず、1款の議会費でございます。1細目の給与費で10万円の減額でございます。

また、2款の総務費で、1細目の給与費で1,885万円の増額でございます。4-6のほうで職員退職手当組合負担金につきましては、町長の3期分の満了分ということで1,950万円の計上をさせていただきます。4細目の自治振興事業につきましては113万8,000円

の減額でございます。事業の完了に伴うものでございます。

なお、人件費等につきましては、これ以降につきましては説明を省略させていただきます。

○議長（古玉栄治議員） 町田情報推進課長
〔町田穂高情報推進課長登壇〕

○町田穂高情報推進課長 それでは、引き続き152ページをお願いいたします。

下段、2目1細目の広報広聴事業でございます。1,265万4,000円の減額をお願いするものです。

11節の印刷製本費、13節の委託料、ともに事業の決算見込みにより減額を行うものでございます。また、28節の繰出金につきましても、ケーブルテレビ事業特別会計の決算見込みにより減額を行うものでございます。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 植田参事兼総務課長

○植田一成参事兼総務課長 引き続きまして、153ページをごらん願います。

財産管理費で、4細目の財産管理事業で300万円の減額でございます。実施設計料の減額でございます。また、1細目の交通防犯対策費につきましては24万円の増額補正をお願いするものでございます。

説明は以上になります。

○議長（古玉栄治議員） 高名企画課長

○高名雅弘企画課長 それでは、153ページ中ほどの6目企画費の2細目企画総務費で、8-1報償金、空き家等登録促進奨励事業13万5,000円の追加をお願いするものです。本年度の申請件数が7件と当初見込みよりふえたため、内訳といたしましては、家財道具処分が4件、地区による登録あっせんが2件、地区のあっせん物件で成約に至ったものが1件となりました。

次に、4細目の地域おこし協力隊事業で730万2,000円の減額をお願いするものです。

本年度は、地域おこし協力隊員3名での活動を目指して数回にわたり随時募集を行いました。この結果、2月に1名の応募があり採用を予定しましたが、隊員の都合により中能登町への着任は5月の連休明けになる見込みとなりました。このことから2名分の相当額を減額するものであります。

次に、154ページをお願いいたします。

5細目の地方創生推進交付金事業につきましては財源補正となります。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 植田参事兼総務課長

○植田一成参事兼総務課長 155ページをお願いいたします。

2款総務費の1細目の県知事選挙費で185万1,000円の増額補正でございます。2月23日から期日前投票につきましては3カ所に変更させていただきましたので、その関係上、1-3の非常勤職員報酬等で48万7,000円、また時間外手当で63万9,000円の増額補正をお願いするものでございます。18節につきましては、計数機を2台購入を予定しておりまして49万7,000円の補正をさせていただきます。

よろしくをお願いいたします。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

続いて、第3款民生費、議案書は155ページから161ページについて説明を求めます。

加賀参事兼住民福祉課長

○加賀忠夫参事兼住民福祉課長 それでは、156ページをお願いいたします。

上段の3款民生費の1項1目2細目の社会福祉事業で60万5,000円の減額であります。主に13節の委託料で地域福祉計画策定業務の執行残額の精算措置によるものであります。

次に、2目1細目の障害者福祉事務事業で47万4,000円の減額となります。障がい福祉計画策定業務に係ります委員会での委員報酬並びに業務委託費の確定による減額措置でございます。

次に、3細目自立支援事業では1,859万3,000円の増額をお願いするもので、11節の印刷製本費2万4,000円の増額は、障害者へのヘルプカード作成に野々市市にございます障害者支援のサニーメイトの会社へカード作成を依頼するもので、また20節の扶助費では、給付費の対象となる利用者と利用日数が当初の想定以上に増加してきているため、毎月の支払いに対し今後不足が見込まれる金額を増額補正したもので、事業費は国が50%、県が25%負担となります。

次に、下段の5細目認定調査等費は3万円の増額をお願いするもので、障害支援区分認定調査に係る医師の意見書作成の増加に伴う手数料等の増額であります。

以上であります。

○議長（古玉栄治議員） 道善長寿介護課長

○道善まり子長寿介護課長 それでは、157ページをお願いいたします。

3目2細目老人福祉事務事業では、介護保険特別会計の事業費の実績見込みにより繰出金3,910万3,000円の減額をお願いするものであります。

次の3細目在宅福祉対策事業では、介護慰労金支給事業の利用者の見込みにより360万円の減額をお願いするものであります。

次の6細目老人福祉施設費30万円の増額でございますが、老人ふれあいセンターのガスヒーター室外機が故障し、部屋が暖まらない状態になるため、室外機の修繕に係る経費と、ふれあい交流館「喜楽館」の調理室の水道管の凍結による漏水が発生し、急を要しましたので修繕はさせていただきましたが、この修繕に係る経費の増額をお願いするものであります。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 平岡保健環境課長

○平岡重信保健環境課長 同じく下段になります。

4目1細目福祉医療費支給事業でございます。予算の増減はございませんが、12節手数料では、それぞれ実績見込みにより減額するものでございます。20節扶助費では、心身障害者医療費545万円と、次ページのひとり親家庭等医療費62万円を実績見込みにより減額し、157ページ下段になりますけれども、乳幼児、児童及び生徒養育医療費732万円の増額をお願いするものでございます。子ども医療費の現物給付化により、医療機関からの請求に加え、従来からの償還払いの申請がプラスされるため、増額見込みとなることによるものでございます。

以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 加賀参事兼住民福祉課長

○加賀忠夫参事兼住民福祉課長 158ページをお願いいたします。

中段の6目1細目の健康ハウス憩運営事業では19万円の増額をお願いするもので、内容ですが、勤務されている中の1名の臨時職員の方が後期高齢へ移行したことに伴いまして社会保険料が30万円の減額となり、また11節の光熱水費では、主に電気料金の値上げ等での不足分といたしまして55万円の増額。それから施設修繕料では、ロビーの空調や低温時での温水ヒーターの配管修繕が生じたことから現予算で不足します対応額を増額とさせていただきますものでございます。

次に、159ページをお願いいたします。

3款2項1目2細目の児童福祉事務事業では30万円の増額をお願いするもので、三世代ファミリー同居・近居促進事業の補助金として、当初30万円の3件分で90万円を予算化しておりましたが、最終的には4件分となりましたことから1件分の30万円を増額させてい

ただくものでございます。

次に、同じく3細目の児童手当等支給事業では1,138万5,000円の減額となりました。対象児童の減少によりまして決算見込みでの補正を行うものでございます。

次に、下段の2細目保育園運営費は1,077万2,000円の減額となるもので、主に嘱託職員の賃金や管外委託児童負担金での決算見込みにより減額としたものでございます。また、産休や育休に対応した臨時職員の賃金や給食での食材高騰による賄材料費の不足分として一部増額をお願いするものでございます。

160ページでの各種事業につきましては、事業の実績により増減額となっております。

次に、3目1細目の児童館運営費は200万円を減額するもので、これも実績見込みによりまして7節の臨時雇賃金を減額とするものでございます。

次に、4目1細目学童保育事業は1,925万4,000円の減額とするもので、主にかしま放課後児童クラブ移転工事に係る精算といたしまして、13節の委託料で合わせまして55万8,000円の減額と、15節の工事請負費での工事入札残で1,500万円の減額をするものでございます。また、当初から嘱託職員2名分が減となっておりますことから、その賃金や保険料等を減額としたものでございます。

住民福祉課からは以上であります。よろしくお願いいたします。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

続いて、第4款衛生費、第5款労働費、第6款農林水産業費まで、議案書は161ページから165ページについて説明を求めます。

平岡保健環境課長

○平岡重信保健環境課長 それでは、161ページをお願いいたします。

第4款衛生費でございます。

1項1目2細目保健衛生事業で724万3,000円の減額でございます。28節国民健康保険特別会計繰出分で、保険基盤安定分及び財政安定化支援事業の実績見込みにより減額するものでございます。

その下になります5目1細目後期高齢者医療事業でございます。1,277万4,000円の増額でございます。内訳としましては、19節負担金で後期高齢者医療広域連合で1,266万4,000円の増額をお願いするものでございます。療養給付費の実績見込みによるものでございます。広域連合へ負担するものでございます。それから、19-2補助金で後期高齢者保健事業で11万円の増額をお願いするものです。これは個別健診の自己負担無料化により受診者の増加に伴う増額でございます。

それから次、162ページをお願いいたします。

2細目保健センター費でございます。44万9,000円でございます。11節施設修繕料でございます。保健センターの検診ホール床暖房ボイラー本体が凍結により故障したため、早急な修理が必要なため補正をお願いするものでございます。

それから、その下になります。1細目清掃事業費でございます。890万3,000円の減額でございます。バイオマスメタン発酵施設に伴う負担金で、実績見込みにより減額するものでございます。

以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 高名企画課長

○高名雅弘企画課長 それでは、162ページ下段の労働費で、19-2補助金で雇用促進奨励助成金40万円の追加をお願いするもので、現在、町内企業10社から18名の町民の皆様方を採用したとの申請がありました。このことから今後の見込み分も含めて追加をお願いす

るものです。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 田中参事兼農林課長

○田中栄一参事兼農林課長 続きまして、163ページをお願いいたします。

6款1項3目の2細目農業総務費で4万円の増額計上でございます。下水道事業特別会計への繰出金でございます。

続いて、3細目農業施設管理費で12万4,000円の増額計上でございます。土地の借上料ということで、現在、瀬戸地区で行われております植物工場用地内の借地料として、7月から3月までの9カ月分12万4,000円の増額計上でございます。

続きまして、4目の1細目農業振興費でございます。242万5,000円の増額計上となっております。産地パワーアップ事業で342万5,000円の計上でございます。これは2口の補助金でございまして、一つは農事組合法人能登花見月に対する農業用機械の補助金199万円、それから町単独の補助としましてJA能登わかば鳥屋ライスセンター機械更新に係る補助143万5,000円を計上したものでございます。

それから、電気柵の設置補助事業100万円の減額でございますが、これにつきましては七尾鹿島鳥獣被害対策協議会への国の予算の不足を補うために29年度当初予算の段階で計上しておりましたが、同協議会へ国からの補助予算が配分されたことに伴いまして全額不要ということで減額するものでございます。

続いて、2細目日本型直接支払制度事業752万2,000円の減額計上でございます。全て年度末につき各事業の実績見込みにより減額するものでございます。

ここで財源内訳をごらんいただきたいと思いますが、総額では752万2,000円の減額でありまして、県支出金も1,154万3,000円減額、一般財源が401万7,000円という、こういう財

源内訳になっております。これは当初予算の段階で県支出金を過大に誤って計上したことによるものでございます。申しわけございませんでした。

続きまして、164ページをお願いいたします。

7目農地費の2細目農地総務費で1万4,000円の計上でございます。負担金で基幹水利施設予防保全対策1万4,000円です。これは邑知潟の県施設に係る町の負担金ということで1万4,000円の計上をさせていただくものでございます。

続きまして、3細目県営土地改良事業費で4,393万8,000円の計上でございます。県営ほ場整備事業、それから県営老朽ため池整備事業、ともに国の補正に伴いまして計上させていただいたものでございます。武部地区の山田池の一部執行を除き、全額30年度へ予算繰り越しをさせていただくものでございます。

続いて、4細目の町単土地改良事業費では63万5,000円でございます。地区要望事業の予算残ということで、年度末の精算措置でございます。

次に、8細目団体営土地改良事業費で5,227万2,000円の増額計上でございます。これについても瀬戸地区におけます現在工事を進めております県営事業のエリア外の暗渠排水、それから用排水路の整備に係る事業費ということで計上させていただくものでございます。これも30年度へ全額繰り越しをさせていただくものでございます。

続きまして、8目国土調査費で1,119万円の計上でございます。全額、国の補正絡みで計上させていただくものでございまして、これにつきましても30年度へ全額繰り越しするものでございます。

続きまして、165ページの林業振興費でございまして315万5,000円の減額でございます。年度末の事業実績で精算を行うものでございます。

以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。質疑の方はご発言願います。

9番 宮下為幸議員

〔9番（宮下為幸議員）登壇〕

○9番（宮下為幸議員） 163ページです。

農業振興費の中で県支出金198万9,000円。これは強い農業づくり交付金ということで県から入っていますが、産地パワーアップ事業というのは、今聞いていたら法人の人ばかりやね。農業機械を入れたとか、ライスセンターのあれしたとか。本来は個人に出すような助成金じゃないか。個人が施設をつくったりするような事業に出すべきものじゃないんですか。

中能登のやつを聞いていると、みんな法人化したようなところばかり出しているけれども、個人に出すような、要するにTPP対策とかそういうので多分出てきている金、何百億の国から出ているはずやけれども、その辺はなぜ個人に出せないのか。

○議長（古玉栄治議員） 田中参事兼農林課長

○田中栄一参事兼農林課長 お答えいたします。

産地パワーアップ事業につきましては、個人がだめだということではございません。法人であれ個人であれ、担い手であるという農業者であればこの事業の対象となるものでございます。決して個人はだめだという、そういう補助制度ではございません。なるべく経営規模の大きい法人、それから個人であっても経営規模がそれなりの一定の面積であれば補助対象ということで、ご理解をいただきたいと思っております。

○議長（古玉栄治議員） 宮下議員

○9番（宮下為幸議員） なぜこういうことを言うかということ、志賀町のころ柿が台湾とかへ輸出している。そういう中で一年中通じてころ柿を保存するような施設をつくって志

賀町のところは出している。一年中出しているわけです。

それをどのようにして工程で出しているかわかりませんが、結局、聞くと志賀町のころ柿より後山のころ柿のほうがおいしいという評判が出ているものですから、そういう施設のなものを個人にも助成するとか、後山のころ柿組合に助成するとか、そういうことは施設の使われる金やさかい施設とかにもできるわね。そういう金ですから、何かそういうのを考えるか。

それと、イノシシの食肉を加工するようなところをつくるとか。

そういうことは町では全然考えてないわけですかね。この金を利用すれば、結構そういう施設とか加工品をつくるような施設ができると思うんです。

○議長（古玉栄治議員） 田中参事兼農林課長

○田中栄一参事兼農林課長 お答えいたします。

宮下議員おっしゃることは私も同感であります。そういう地域の特性を生かした作物の育成というのは、町には非常に大事なことであると思います。

ただ、この国の補助事業制度は、そういう公共的な考え方のもので施設に対しての助成ではございませんで、あくまで農業者、農事組合法人等に対しての助成でありますので、そういった農家の方、農業法人の方からそういう施設でもってこれから農業経営、農業所得の向上につなげていきたいという、そういう計画があれば、また町としてもそれに沿った助成措置というものを検討していくべきではないかなというふうな思いしております。

現在のところ国の補助制度にはなじまないということではございますので、それは町単独でまた検討させていただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 宮下議員

○9番（宮下為幸議員） 単独で考えていかれるということをおっしゃったもので、多分、T P Pの問題とか含めて、米ばかりやっている。例えば野菜とか、今言ったところ柿とか、それも含めて、結局本当に町が要するに…

○議長（古玉栄治議員） 宮下議員、これは一般質問にさせていただいたほうがよろしいのではないかなど。今の予算のところとかけ離れていますので。

○9番（宮下為幸議員） はい。産地パワーアップ事業はもっと何か考えていくところがあるんじゃないかなどということを思いますので、また一回、町単でも何か考えることがあればということをおっしゃっておいでましたので、ぜひお願いします。

○議長（古玉栄治議員） わかりました。

ほかに質疑の方はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

続いて、第7款商工費、第8款土木費、第9款消防費まで、議案書は165ページから168ページについて説明を求めます。

高名企画課長

○高名雅弘企画課長 それでは、165ページの下段の2細目商工振興事業費で、19-2補助金、創業支援事業100万円の追加をお願いします。

本年度、中能登町での新規創業が6件あり、昨年と合わせて11件の創業がありました。このことから不足いたします助成額につきまして追加をお願いします。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 北野土木建設課長

○北野 均土木建設課長 それでは、166ページ上段のほうになります。

8款1項1目2細目の土木総務費で2,468万1,000円の減額をお願いします。

事業特別会計で2,251万1,000円、分譲宅地造成事業特別会計で217万円、それぞれ事業完了見込みにより減額をするものであります。

次に、2項2目1細目の道路維持費であります。財源内訳の変更を行うものであります。

次に、その下、3目2細目の道路新設改良費では32万5,000円の減額をお願いします。内訳であります。19節負担金、県工事業分では67万5,000円の増額をお願いします。これは主要地方道志賀田鶴浜線、瀬戸から花見月地内で石川県が行います道路改良工事に係るものであり、町が企業誘致をしております植物工場関連によるものでございます。その下、補償金、電柱移設等で100万円の減額は、電柱移設工事費等の確定によるものでございます。

次に、167ページをお願いします。

3細目の社会資本整備総合交付金事業ですが、ここでも交付金の確定により財源内訳の変更を行うものであります。

その下、4細目の地方創生道整備推進交付金事業では111万6,000円の減額をお願いします。内訳ですが、12節登記手数料で100万円、22節補償金の電柱移設等で11万6,000円をそれぞれ事業完了見込みにより減額するものです。

次に、4目1細目の除雪費では60万円の増額をお願いします。11節燃料費で10万円、それから備品修繕料で50万円です。ともに小型除雪機に係るものであり、ことしの大雪に出動回数がふえたことによるものであります。

次に、4項1目1細目の町営住宅管理費で846万5,000円の減額をお願いします。委託料で川田住宅実施設計業務に係るものであり、事業完了見込みによるものであります。

次に、その下、2細目の町営住宅建設費では9万円の増額をお願いします。

ですが建築確認申請手数料で、30年の当初予算で計上予定をしておりましたが、前倒して実施をさせていただきたいということでございます。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 植田参事兼総務課長

○植田一成参事兼総務課長 それでは、168ページをお開き願います。

第9款の消防費でございます。1細目の消防総務費で504万1,000円の減額でございます。当初、消防本部にごじます指令システムの整備につきましては、中能登町のほうで県補助金504万1,000円を受け入れて七尾市のほうへ負担する予定でございましたけれども、七尾市のほうで直接県補助金を受け入れるということで504万1,000円を減額するものでございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。質疑の方はご発言願います。

3番 林 真弥議員

〔3番（林 真弥議員）登壇〕

○3番（林 真弥議員） それでは、165ページの商工費で、創業支援事業が今年度、新規6件という説明でしたけれども、その6件の業種というのを願います。

○議長（古玉栄治議員） 高名企画課長

○高名雅弘企画課長 それでは、林議員の質問にお答えいたします。

今年度6件の業種となりますが、まずは歯科技工業、歯科技工士の方の創業が1件。そして小売業が2件です。そして飲食業が3件になります。

特に飲食業3件のうち2件は、この2月に入ってから開業している、そういった状況となっております。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 林議員、よろしいですか。

ほかに質疑の方ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようでありませぬ。

ここで、2時45分まで休憩いたします。

午後2時33分 休憩

午後2時45分 再開

○議長（古玉栄治議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

続いて、第10款教育費から第11款災害復旧費まで、議案書は168ページから171ページについて説明を求めます。

上坂教育文化課長

〔上坂恵一教育文化課長登壇〕

○上坂恵一教育文化課長 議案書168ページになります。

第10款1細目教育委員会費32万8,000円の減額です。これは、教育委員の視察研修会の事業終了によりまして19節負担金及び補助金の減額です。

次に、2細目学校教育事務局費の216万円の増額のお願いです。これは、平成29年2月に行われました会計検査院の会計実地検査におきまして、へき地児童生徒援助費等補助金の平成26年度、27年度補助金の過大交付の指摘を受けましたので、これを返還するものです。また、歳入の財源内訳の国庫支出金221万円の減額です。これは、さきの指摘事項を受けまして平成29年度の当初の補助金を見直したための減額の補正となっております。

次に、169ページになります。

2細目小学校管理費であります。歳出の増減はありません。繰入金で公共施設維持補修基金の繰入金として67万9,000円。これは鳥屋学園プールの工事分であります。諸収入5万3,000円は、鳥屋小学校、鹿西小学校防災事業強化工事で業者が使用しました電気料、水道料の5万3,000円であります。

次に、1細目中学校管理費で、これも歳出の補正はありません。諸収入で、中学校体育

連盟から北信越、全国大会の出場の実績に応じまして補助金を68万2,960円いただきました。その分と電話料の5,070円のみであります。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 正谷生涯学習課長
〔正谷 智生涯学習課長登壇〕

○正谷 智生涯学習課長 それでは引き続き169ページ下段をお願いいたします。

第4項社会教育費、3目図書館費、1細目図書館活動推進事業で1万円を増額するものです。これは、11-1消耗品費で、ふるさと応援寄附金で鳥屋図書館に子供の楽しめるものに使ってほしいと寄附がありましたので子供用のDVDを購入するものです。

次に、4目社会教育施設管理運営費、2細目生涯学習センター管理運営事業で1,532万4,000円を減額するものです。

11-2燃料費で、ラピア鹿島の冷暖房用A重油が利用増などにより不足が見込まれますので60万円増額するものです。

12-1通信運搬費では、郵便料、電話料の不足が見込まれることから5万円増額するものです。

15節工事請負費では1,597万4,000円を減額するものです。これは、ラピア鹿島の工事の決算見込み等による減額4件と新規工事による増額3件の差額でございます。

それでは、減額の4件について説明いたします。1件目はアイリスホール舞台照明設備改修で1,090万8,000円の減額、2件目はアイリスホール移動観覧席制御装置更新で52万8,000円の減額、3件目はトイレ洋式化改修で44万3,000円の減額、4件目は空調機器、設備更新で846万1,000円の減額でございます。

次に、増額の3件につきましては、23年経過しました設備改修が主な理由でございます。詳細についてご説明いたします。

1件目は、アイリスホール舞台つりもの設

備リミット取りかえ工事102万6,000円の増額。これは成人式前に、どんちょうが舞台手前で停止する装置が故障しましたので、他の制御装置も23年経過し、いつ制御不能になるかわかりませんので、リミッターを入れかえるものです。

2件目は、空調機冷温水コイル取りかえ工事300万円の増額は、1月末の寒波でアイリスホール舞台の冷温水を冷温風に交換する熱交換機のコイルが凍結破損し暖房できなくなりましたので、熱交換器の入れかえを行うものです。ホールの暖房につきましては、客席側暖房だけで対応いたしました。

3件目は、駐輪場屋根設置工事34万円の増額は、ラピア鹿島の駐輪場の屋根が経年劣化で破損しておりましたので、新しい屋根に取りかえたものでございます。

なお、特定財源の地方債8,730万円は、舞台照明設備改修に石川県の自治振興資金を借りることができましたので、一般財源と組み替えしたもので、来年度以降に元金の3分の1が石川県より市町村振興助成交付金として交付されます。

続きまして、3細目ふるさと創修館等費で123万7,000円の減額は、工事請負費で、ふるさと創修館の冷温水機入れかえ工事の事業確定による減額でございます。

続きまして、170ページ上段をお願いいたします。

4細目カルチャーセンター等費につきましては、11-7施設修繕料15万円の増額は、年度末までの施設修繕に対応するために、11-1消耗品費を減額して組み替えするものでございます。

以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 上坂教育文化課長
○上坂恵一教育文化課長 引き続きまして、170ページ。

5目文化財保護費の2細目文化財保護事業費でございます。165万1,000円の減額補正で

す。これは、芹川地内の圃場整備工事にかかわり、当該埋蔵文化財の発掘調査費用として計上しておりましたが、圃場整備工法変更により発掘調査が不要となりましたので、歳入の県支出金156万8,000円の減額と、その発掘調査のために費用を計上しておりました各節でその分の減額をしたものであります。

次に、3細目文化財管理運営費であります。これは歳出の補正はございません。諸収入で石動山資料館、能登王墓の館の入館料3万2,000円となっております。

説明は以上であります。

○議長（古玉栄治議員） 甘田生涯学習課担当課長

○甘田悟司生涯学習課担当課長 それでは、171ページをお願いいたします。

10款5項1目2細目体育施設維持管理事業では、補正額はありますが1,220万円の財源補正を行ったもので、施設の修繕工事2件対し自治振興資金の適用を受けたためであります。

以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 田中参事兼農林課長

○田中栄一参事兼農林課長 171ページ中段をお願いいたします。

11款災害復旧費、1目農業用施設災害復旧費924万4,000円の減額、2目林道災害復旧費45万1,000円の減額でございます。いずれも6月30日から7月4日にかけての豪雨災害による年度末の災害復旧費の事業実績に基づき精算するものでございます。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 北野土木建設課長

○北野 均土木建設課長 それでは、171ページ下段になります。

2項1目1細目の公共土木施設災害復旧事業費では104万4,000円の減額をお願いするものです。14節機械借上で12万5,000円、15節工事請負費で91万9,000円、それぞれ減額で

あります。事業完了による精算措置であります。

よろしく願いいたします。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第79号 平成29年度中能登町後期高齢者医療特別会計補正予算について説明を求めます。

議案書は、その4、173ページから179ページとなります。

平岡保健環境課長

○平岡重信保健環境課長 それでは、173ページをお願いいたします。

議案第79号 平成29年度中能登町後期高齢者医療特別会計補正予算です。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億3,765万5,000円とするものでございます。

178ページをお願いいたします。

歳入でございます。

5款諸収入、2項2目1節還付加算金で9,000円の増額をお願いするものでございます。歳出に伴う増額でございます。

それから次、179ページをお願いいたします。

歳出でございます。

3款諸支出金、1項2目1細目還付加算金9,000円の増額をお願いするものでございます。後期高齢者医療の保険料の賦課は、石川県後期高齢者医療広域連合が国の開発した電算処理システムを用いて行っております。このシステムの設定に誤りがあり一部の軽減判定が誤って行われており、修正ソフトで再計算を行った結果、還付加算金が必要な還付が生じたため増額をお願いするものでございます。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第79号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第80号 平成29年度中能登町介護保険特別会計補正予算について説明を求めます。

議案書は、181ページから191ページとなります。

道善長寿介護課長

○道善まり子長寿介護課長 それでは、181ページをお願いいたします。

議案第80号 平成29年度中能登町介護保険特別会計補正予算について説明をさせていただきます。

第1条で、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億2,869万1,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ22億1,890万7,000円とするものでございます。

186ページをお願いいたします。

歳入でございます。

1款の保険料につきましては、決算見込みにより549万1,000円を増額するものでございます。

次の2款国庫支出金から188ページの6款1項他会計繰入金までにつきましては、介護サービス費及び事業の決算見込みに伴い、法定負担割合による国費及び県費などの減額をお願いするものでございます。

この中で、議案書186ページの下の方になりますが、2款国庫支出金、4目介護保険事業費補助金75万6,000円を増額につきましては、29年度分のシステム改修に係る事業費補助金であります。

次に、188ページをお願いいたします。

6款2項1目介護給付費準備基金繰入金につきましては、介護給付費の減額に伴い

1,366万1,000円の減額をお願いするものでございます。

続きまして、189ページをお願いいたします。

歳出でございます。

1款1項1目一般管理費につきましては、補正額の増減はありませんが、財源内訳の変更を行うものでございます。

次の2款1項1目介護サービス及び支援サービス等諸費でございますが、介護給付費の各サービスの決算見込みにより2億9,800万4,000円の減額をお願いするものでございます。

次の3款1項1目介護予防・生活支援サービス事業費でございますが、要支援の方の訪問、通所サービスなどの利用見込みにより661万3,000円の減額をお願いするものでございます。

下段になります。3目1細目審査支払手数料でございますが、決算見込みにより15万円の減額をお願いするものでございます。

続いて、190ページをお願いいたします。

3款2項1目3細目包括的支援事業費（社会保障充実分）で331万円の減額でございます。13節委託料、生活支援体制整備事業316万円の減額につきましては、高齢者の生活支援、介護予防サービスの提供体制の構築を行う生活支援コーディネーターを平成29年4月より配置する予定でしたが、11月からの配置となりましたので、その分の減額を行うものでございます。

次に、2目2細目任意事業費でございますが、介護用品券支給事業において利用者が減ったことにより100万円の減額をお願いするものでございます。

続いて、191ページ。

4款1項1目介護給付費準備基金積立金でございますが、歳入から歳出を差し引いた差額を基金に積み立てるもので8,033万1,000円を増額するものでございます。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第80号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第81号 平成29年度中能登町国民健康保険特別会計補正予算について説明を求めます。

議案書は、193ページから202ページとなります。

平岡保健環境課長

○平岡重信保健環境課長 それでは、193ページをお願いいたします。

議案第81号 平成29年度中能登町国民健康保険特別会計補正予算です。

第1条、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,523万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ23億5,018万円とするものでございます。

198ページをお願いいたします。

歳入でございます。

主なものとしたしましては、上から2段目になります第3款2項6目1節国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金で377万9,000円を増額するものでございます。これにつきましては、平成30年度の国保制度改革に伴うシステム改修費用の補助金でございます。

その下、第4款療養給付費交付金1,219万7,000円の減額につきましては、退職者に係る療養給付費等に係る交付金で、実績見込みにより減額するものでございます。

その下、第5款前期高齢者交付金3,390万6,000円を増額でございます。これは前期高齢者医療費の負担の均衡を図るための交付金で、額の確定により増額するものでございます。

それから次、199ページをお願いいたします。

上段になります。第7款共同事業交付金でございます。1目共同事業交付金で3,446万2,000円の減額でございます。それぞれ事業費の確定により減額と増額を行うものでございます。

歳入については以上です。

続きまして、200ページをお願いいたします。

歳出でございます。

第2款保険給付費、第1項療養諸費、その下の第2項高額療養費、それから次、201ページ上段においては一般被保険者と退職被保険者の療養給付費、療養費、高額療養費でございます。4月から1月分までの支払い実績により年間の給付費等を推計し、増減するものでございます。

それから、201ページ中段になります。

第3款後期高齢者支援金等、第6款介護納付金、第7款共同事業拠出金につきましては、それぞれ支払い額の確定により減額するものでございます。

続いて、202ページをお願いいたします。

第10款諸支出金、1項3目1細目償還金2,677万円は、平成28年度の療養給付費等負担金の確定により超過交付額を返還するものでございます。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第81号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第82号 平成29年度中能登町下水道事業特別会計補正予算について説明を求めます。

議案書は、203ページから211ページとなります。

田中上下水道課長

〔田中 智上下水道課長登壇〕

○田中 智上下水道課長 それでは、203ページをごらんください。

議案第82号 平成29年度中能登町下水道事業特別会計補正予算であります。

第1条、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3,952万4,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ18億5,784万6,000円とするものでございます。

第2条では、地方債の変更は第2表地方債補正によるものでございます。

それでは、206ページをお願いいたします。

第2表地方債補正であります。

特定環境保全公共下水道事業債で、限度額を4億6,285万円から815万円を減額いたしまして4億5,470万円とするものでございます。

続いて、209ページをお願いいたします。

歳入になります。

第1款2項2目1節のメタン発酵施設維持管理負担金で890万3,000円の減額補正でございます。この負担金は、メタン発酵施設へ搬入しておりますし尿や浄化槽汚泥、生ごみ等の処理に係る費用負担でございます。決算見込み額により減額をするものでございます。それぞれ投入割合により負担するものでございまして、し尿、浄化槽汚泥で52%、食品残渣、生ごみ等で5%、下水道汚泥で43%となっております。

続いて、4款1項1目1節の一般会計繰入金では2,247万1,000円の減額でございます。特環分では2,251万1,000円の減額でございます。事業実績に伴います精算措置によるものでございます。それと、集排分では4万円の増額であります。これは給与費の増によるものでございます。

7款1項1目1節の特定環境保全公共下水道事業債では815万円の減額でございます。これは、交付金の補助率50%分の事業費を55%補助率分へ移しかえて事業をしたことで

事業費ベースの額の変更になったことにより事業債が減になるものでございます。

それでは、210ページをお願いいたします。

歳出でございます。

1款1項2目1細目の公共下水道施設管理費で1,947万3,000円の減額であります。これらの減額補正はメタン発酵施設に係ります管理費で、本格稼働に伴う実績により精算措置を行うものでございます。

まず、11-2燃料費では、メタン発酵槽の加温と汚泥乾燥用の燃料の実績見込みにより100万円を減額するものでございます。

次に、11-4印刷製本費では、メタン発酵施設の案内用のパンフレットの作成業務の入札差金で90万2,000円を減額するものでございます。

次に、11-5光熱水費では、電気料の実績により121万2,000円を減額するものでございます。

次に、13節委託料です。バイオマスメタン発酵施設維持管理業務で1,340万円の減額です。本格稼働の実績により精算を行うものでございます。その下、竣工式会場設営費で20万円の減額です。これも精算措置によるものでございます。

次に飛びまして、汚泥処理で180万円の減額につきましては、メタン発酵後に残ります汚泥は肥料として全量を配布するため処分費を減額するものでございます。なお、この肥料は「なかのとバイオの恵」として配布いたします。3月19日月曜日から鹿島中部クリーンセンター、現地のほうで配布を開始といたしております。町民の皆様には広くご利用いただきたいと思いますと思っております。

その下、地方公営企業法適用化業務費で90万4,000円の減額です。これは企業会計方式の移行業務に係ります費用で、これも入札の差金による減額措置でございます。

次に、2款1項1目2細目の社会資本整備

総合交付金事業費で2,017万1,000円の減額です。

まず、9-2 普通旅費では15万5,000円の減額でございます。設備改築更新工事におけます工場検査、2名分を実施する予定としておりますが、不要となったため減額をするものでございます。

次に、12-3 手数料1万2,000円につきましては、バイオマスメタン発酵施設肥料保管倉庫の建築確認申請手数料でございます。

次に、211ページをお願いいたします。

13節委託料です。バイオマスメタン発酵性能評価研究業務で1,801万円の減額補正でございます。この業務は、10月の本格稼働から1年間にわたり検証、分析を行うこととなっておりますが、次年度分の費用を減額するものでございます。

次に、ストックマネジメント計画策定業務で59万2,000円の減額補正です。事業実績と入札差金によるものでございます。この策定業務は、今後の施設改築更新の実施に当たっては計画書の策定が前提となるもので、順次作業を進めていくもので、下水道全施設、管路施設、処理施設が対象となっております。

次に、実施設計業務委託で142万6,000円の減額補正です。この業務は、現在進めております処理区の統廃合事業といたしまして、鳥屋西部処理区、瀬戸から大槻地内への管渠実施設計及び鹿西東部処理区、能登部上から鹿島中部クリーンセンターへの接続管渠実施設計並びに分譲宅地造成事業の管渠実施設計で、事業実績及び入札差金により減額補正するものでございます。

次に、3款1項2目1細目の公共下水道事業債利子では、金額の変更はありませんが、施設管理費の減額により財源内訳の変更をするものでございます。

説明は以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第82号について質疑の方はご発言願

います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第83号 平成29年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計補正予算について説明を求めます。

議案書は、213ページから219ページとなります。

北野土木建設課長

○北野 均土木建設課長 それでは、議案書213ページであります。

議案第83号 平成29年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計補正予算についてであります。

第1条で、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ217万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億2,097万円とするものであります。

次に、218ページをお願いいたします。歳入であります。

2款1項1目1節の一般会計繰入金で217万円の減額であります。事業完了見込みによるものであります。

次に、219ページ。

歳出であります。

2款1項1目1細目の分譲宅地造成費で217万円の減額をお願いするものです。13節委託料であります。宅地造成測量設計業務など事業完了見込みにより減額をするものであります。

よろしく申し上げます。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第83号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第84号 平成29年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算について

説明を求めます。

議案書は、221ページから227ページとなります。

町田情報推進課長

○町田穂高情報推進課長 それでは、議案書の221ページをお願いいたします。

議案第84号 平成29年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算でございます。

第1条、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ326万8,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億2,592万1,000円とするものでございます。

それでは、226ページをお願いいたします。

歳入です。

4款の繰入金は、管理費の減額補正に伴い一般会計からの繰入金326万8,000円を減額するものであります。

続いて、227ページをお願いいたします。

歳出です。

1細目の給与費は、職員1名の減に伴い不用額270万円を減額するものであります。また2細目の管理費は、いずれも事業の決算見込みに伴い不用額を減額するものでございます。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第84号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第93号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について説明を求めます。

議案書は、229ページから231ページとなります。

高名企画課長

○高名雅弘企画課長 それでは、議案第93号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変

更について。辺地に係る公共的施設の総合整備計画を別紙のとおり変更することについて、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第8項において準用する同条第1項の規定により議会の議決を求めるものであります。

それでは、231ページをお開きください。総合整備計画書になります。

最初に辺地の概況ですが、辺地を構成する地区は瀬戸で、辺地度点数は130点です。

次に、2番目の公共的施設の整備を必要とする事情ですが、下から5行目からで、厚生施設についても、下水道の処理施設が平成8年度の建築であるため、老朽化が著しいことから、計画当初は改築更新及び耐震化工事を予定しておりましたが、当該処理施設の機能強化工事実施及び年間維持費の合計と近接する公共下水道処理場への接続管渠敷設工事実施及び年間維持費の合計を経済比較した結果、後者の接続管渠敷設工事に変更したいものです。

次に、3番目の公共的施設の整備計画ですが、平成28年度から32年度までの5年間で、事業費合計で7億7,800万円、うち辺地対策事業債の予定額は1億5,170万円です。

説明は以上です。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第93号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、議案第94号 七尾市及び中能登町の広域行政の推進に関する規約の一部改正に関する協議について説明を求めます。

議案書は、233ページから236ページとなります。

植田参事兼総務課長

○植田一成参事兼総務課長 議案書の233ページをごらん願います。

議案第94号 七尾市及び中能登町の広域行政の推進に関する規約の一部改正に関する協議についてでございます。

地方自治法第252条の2第4項で準用する第252条の2第3項の規定により議会の議決を求めるものでございます。

235ページには一部改正に関する協議書についての説明がございますけれども、説明につきましては、条例等提出案件資料の155ページで説明をさせていただきます。

今回の一部改正でございますけれども、概要につきましては、1点目としまして、し尿処理についてということで、中能登町がバイオマスメタン醗酵施設で処理することとなり、事務委託の対象外となったため、これを規約から削除するものでございます。2点目といたしまして、ごみ処理について、平成35年度までに新ごみ処理施設を建設することと、RDFへの持ち込みが終了することを受けて、規約を改正するものでございます。

施行の期日は平成30年4月1日でございます。

157ページから159ページにつきましては、新旧対照表がついております。

説明は以上になります。

○議長（古玉栄治議員） 説明が終わりました。議案第94号について質疑の方はご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

以上で説明及び質疑を終結します。

ここで、委員会付託表を配付しますので、暫時休憩します。

午後3時28分 休憩

午後3時29分 再開

○議長（古玉栄治議員） 再開します。

◎常任委員会付託

○議長（古玉栄治議員） 日程第4 常任委員会付託

お諮りします。

ただいま議題となっております議案第62号から議案第84号及び議案第93号から議案第94号並びに請願第3号につきましては、会議規則第35条第1項の規定により、お手元に配付しました委員会付託表のとおり、それぞれの所管の常任委員会に付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） 異議なしと認めます。

よって、委員会付託表のとおり各常任委員会へ付託することに決定しました。

◎予算審査特別委員会の設置及び委員の選任、委員会付託

○議長（古玉栄治議員） 日程第5 予算審査特別委員会の設置及び委員の選任並びに委員会付託を議題とします。

お諮りします。

議案第85号 平成30年度中能登町一般会計予算

議案第86号 平成30年度中能登町後期高齢者医療特別会計予算

議案第87号 平成30年度中能登町介護保険特別会計予算

議案第88号 平成30年度中能登町国民健康保険特別会計予算

議案第89号 平成30年度中能登町下水道事業特別会計予算

議案第90号 平成30年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計予算

議案第91号 平成30年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計予算

議案第92号 平成30年度中能登町水道事業会計予算

以上の議案8件については、議長を除く13人の委員で構成する予算審査特別委員会を設

置き、これに付託して審査することにした
と思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） 異議なしと認め
ます。

よって、議案第85号から議案第92号までの
議案8件については、13人の委員で構成する
予算審査特別委員会を設置し、これに付託し
て審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました予算審査特別委員
会の委員の選任については、委員会条例第8
条第2項の規定により、

- 1番 尾田良一 議員
- 2番 土本 稔 議員
- 3番 林 真 弥 議員
- 4番 中川秀平 議員
- 5番 山本孝司 議員
- 6番 笹川広美 議員
- 7番 南 昭 榮 議員
- 8番 諏訪良一 議員
- 9番 宮下為幸 議員
- 10番 甲部昭夫 議員
- 12番 若狭明彦 議員
- 13番 坂井幸雄 議員
- 14番 作間七郎 議員

以上13人を委員として指名したいと思いま
す。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） 異議なしと認め
ます。

よって、ただいま指名しました13人を予算
審査特別委員会の委員に選任することに決定
いたしました。

ここで、予算審査特別委員会付託表を配付
しますので、暫時休憩します。

午後3時34分 休憩

午後3時35分 再開

○議長（古玉栄治議員） 休憩前に引き続き

会議を開きます。

予算審査特別委員会の審査の議案は、会議
規則第35条の規定のとおり、お手元に配付し
ました付託表のとおりであります。

◎予算審査特別委員会の委員長、副委員長 選任

○議長（古玉栄治議員） 次に、予算審査特
別委員会の委員長、副委員長の選任の件を議
題とします。

予算審査特別委員会は、次の休憩中に委員
長、副委員長の互選を行い、その結果を議長
に報告願います。

議員各位は、この後、大会議室へ移動を願
います。

暫時休憩します。

午後3時36分 休憩

午後3時56分 再開

○議長（古玉栄治議員） 休憩前に引き続き
会議を開きます。

ただいま予算審査特別委員会における正副
委員長の互選について報告がありました。

委員長に8番 諏訪良一議員、副委員長に
7番 南 昭榮議員、以上のとおりでありま
す。

◎休会決定の件

○議長（古玉栄治議員） 日程第6 休会決
定の件を議題とします。

お諮りいたします。

各常任委員会、予算審査特別委員会審査等
のため、3月6日から3月14日までの9日間
を休会としたいと思います。これにご異議あ
りませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） 異議なしと認め
ます。

よって、3月6日から3月14日までの9日
間を休会とすることに決定しました。

◎散 会

○議長（古玉栄治議員） 以上で本日の日程
は終了しました。

本日はこれをもって散会します。

ご苦労さまでした。

午後 3 時58分 散会

平成30年 3月15日（木曜日）

○出席議員（14名）

1番	尾田良一	議員	8番	諏訪良一	議員
2番	土本稔	議員	9番	宮下為幸	議員
3番	林真弥	議員	10番	甲部昭夫	議員
4番	中川秀平	議員	11番	古玉栄治	議員
5番	山本孝司	議員	12番	若狭明彦	議員
6番	笹川広美	議員	13番	坂井幸雄	議員
7番	南昭榮	議員	14番	作間七郎	議員

○説明のため出席した者

町長	杉本栄蔵	土木建設課長	北野均
副町長	廣瀬康雄	上下水道課長	田中智
教育長	袋井貞司	会計課長	百海和夫
参事兼総務課長	植田一成	長寿介護課長	道善まり子
参事兼農林課長	田中栄一	保健環境課長	平岡重信
参事兼住民福祉課長	加賀忠夫	教育文化課長	上坂恵一
企画課長	高名雅弘	生涯学習課長	正谷智
情報推進課長	町田穂高	教育文化課担当課長	水谷内良郎
税務課長	古川利宣		

○職務のため出席した事務局職員

議会事務局長 土屋 哲 雄 書 記 水 田 祥 代

議会事務局長補佐 山 本 博 司

○議事日程（第2号）

平成30年3月15日 午前10時00分開議

日程第1 一般質問

午前10時00分 開議

◎開 議

○議長（古玉栄治議員） おはようございます。

ただいまの出席議員数は14名です。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎一般質問

○議長（古玉栄治議員） これより一般質問を行います。

あらかじめ申し上げておきます。一般質問についての各議員の持ち時間は1時間でありますので、守っていただくようお願いいたします。執行部におかれましては的確な答弁を求めます。

それでは、発言順に質問を許します。

最初に、6番 笹川広美議員

〔6番（笹川広美議員）登壇〕

○6番（笹川広美議員） それでは、通告に従い質問をいたします。

まず、雪害対策の強化、充実に向けてお聞きいたします。

この冬は、寒波、積雪と、これまでにない厳しいものとなりました。改めて、このたびの大雪により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

当町においても、寒波による断水やたび重なる大雪は、私たちの日常の生活に大きな混乱をもたらしました。いま一度、自然災害に対する私たち一人一人の心構えが問われたように思います。近年のさまざまな異常気象からも、また少子・高齢化、人口減少が進む地域にあって、雪害に対してもしっかりと対応を考えていかなければなりません。

そこで、雪害対策の強化、充実に向けて3

点にわたり質問いたします。

まず1点目、今回の寒波、大雪による当町の被害状況と、その対応についてお聞かせください。

2点目は、除雪に対し、町民の皆さんから、また地域からさまざまな声が上がっていると思われませんが、そうした要望、意見に対し、これからの除雪対策はどのように考えておられるのか、お聞かせください。

また、災害弱者となる高齢者や障害をお持ちの世帯などが必要とする支援は行われているのでしょうか。お聞かせください。

3点目は、地域の安全確保のためには町民の皆さんの協力は欠かせません。地域のあちこちで懸命に道をあけてくださっている方々をお見受けしました。本当に頭が下がります。しかし、それでも子供たちの登下校では、歩道が雪で埋まり車道を歩く姿をよく見かけました。まだまだ町民の皆さんの手が必要かと思われます。交通弱者の高齢者や子供たちが安心して歩ける地域に、町民の皆さんからのご協力を杉本町長、さらに力強く呼びかけていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

以上、雪害対策の強化、充実に向けて3点にわたり杉本町長の答弁を求めます。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

〔杉本栄蔵町長登壇〕

○杉本栄蔵町長 皆さん、おはようございます。

笹川議員の雪害対策の強化、充実についてのご質問にお答えをいたします。

まず、今回の寒波、大雪による被害状況とその対応についてのご質問ですが、寒波による被害につきましても、1月末に鹿島地区におよそ1,500世帯で水道の断水や水圧低下がありました。

断水世帯に対しましては、飲料水の配布や「道の駅」織姫の里なかのとで給水所を開設するなどの対応を行いました。

また、原因究明のため職員と検針員による水道本管や空き家等の漏水確認作業と指定工事店への修繕件数の聞き取りを行った結果、原因は水道本管からの漏水ではなく、宅内水道管からの漏水がおよそ400件程度あったことによるものと判明いたしました。

また、2月5日からの大雪につきましても除雪体制をとっておりましたが、予想を上回る大雪により一部の町民の皆様にご迷惑をおかけしましたが、近隣の市町に比べ、いち早く交通路線の確保ができたと思っております。

寒波や大雪による被害につきましては、断水以外に情報が入ってきておりませんので、特に発生していないものと考えております。

次に、この冬の寒波や大雪を踏まえ、今後の除雪対策はどうなるのか、災害弱者に対する支援は行われているかについてのご質問ですが、除雪対策につきましては、道路除雪計画に基づき除雪対策本部を設置し、町内のパトロールや情報収集を行い、除雪対応におくれのないように努めております。今後とも、不測の事態に備え、迅速な対応ができる体制をとってまいりますので、ご理解をお願いいたします。

また災害弱者への支援については、町では高齢者等福祉サービスにおいて、事前の申請が必要ですが、65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯及び身体障害者のみの世帯で除雪が困難な場合、玄関先から道路までの人が通れる程度の除雪について援助をしております。

しかし、降雪時は委託先のシルバー人材センターにおいても対応に限りがあります。日ごろから住んでいる地域ごとに降雪時の対応などを考え、自助、互助、共助により解決することが必要と考えております。

最後に、歩道等の除雪の協力を町民の皆さんに呼びかけてはどうかについてのご質問でございますが、歩道の除雪につきましては、

区で所有するものや町から貸与している小型歩道除雪機等により、各区の区長さんを初め多くの地域住民の皆様のご協力により除雪を実施しているところであります。この場をおかりして、改めてお礼を申し上げたいと思います。

除雪は行政のみでできるものではなく、区や地域の方の力もいただかないと成り立ちません。今後も区長会を初め各種団体にも呼びかけ、町民総ぐるみでの除雪に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 笹川議員

○6番（笹川広美議員） 今、町長のほうから答弁をいただきました。本当に他の市町から見れば大変除雪体制も万全に対応していただいているという状況ということでございますけれども、町民の皆さん、どこまでこういった町の体制、ご理解いただいているのか。さまざまな私のほうにもまだまだ除雪に対する要望等の声が、地区のほうからも上がっていると思いますけれども、町としては、もう十分だとお考えということなんでしょうか。また段階を踏んでさまざま強化を図っていきたいというお考えなのか。

もう一度その辺を町長にお聞きしたいということと、あと、弱者対策ですけれども、共助、互助というお言葉で答えていただきましたが、今回のような大雪のときに、どうしても孤立をしてしまう。地域のそういうつながりが弱いところなんか、特にそういう状況が知らずに起こっているようなこともあるのではないかという懸念をするんですが、そういう点の町としてのしっかりとした対応をとっていただきたいと思いますが、その点、今後の対応をお聞かせください。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

○杉本栄蔵町長 町では、降雪時、大体10センチで除雪車を出しております。18社の業者

の方々に二百六十何キロを一斉に除雪をするわけですけれども、A地点、B地点で、A地点から始まればどうしてもB地点が遅くなるわけですし、またB地点から始まればA地点が遅くなる。そういう中で、早い遅いといういろんな苦情といたしますかそういうものも入ってまいります。

それと同時に、年々行政に頼るといふか、10年前と今と比べてみましても、自分でするところでも行政にどうしとる、遅いと。うちへ雪を置いていった、それを玄関先のをどかせとか。もっとひどいことになると、除雪の雪を田んぼ、畑へ持っていきますと、うちの田んぼが冷えるさかいそれをどかしていけとかいったような苦情もあるわけございまして、やはり降雪時だったり雪のときにはみんなで力を合わせながらしていかなければならないのではないかと。そんな中で、区長さんを初め区の役員の方々に、ずっと歩道もあけておるわけですけれども、区によって歩道よりももっと先にあげなければならないというようなそれぞれの区の事情もありまして、大変たいそしているといふか、それぞれ一遍にはなかなか要望にも応えられない。ですけれども、そういうときになりますと本部長が副町長でありまして、いろんな土木建設課を主に朝の3時、4時から出て見回りをしながらしておることも事実でございます。

そういう中で、できるだけ降雪時も反省点をして来年度にいいがにしていきたいと、そんな思いでございます。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 道善長寿介護課長
〔道善まり子長寿介護課長登壇〕

○道善まり子長寿介護課長 笹川議員の弱者への支援ですけれども、町には地域福祉推進チームというチームがあります。各地区に民生児童委員の担当地区ごとに結成されています。

ただ、そのチームが結成されていますけれ

ども、活動されているところと温度差がありますので、一つ例を挙げますと、ある地区ですごく活動されていまして、雪が降りましたら、ひとり暮らしのお宅の方を地図に落としておいでますので、この方から順番に行って回ってくると出発地点へ戻ってくるというのでわかり、あともう一つ、ここを見落としていたのでここも入れながらというので、その推進チームがすごくまとまって活動されているところもありますので、また推進チームの方も声をかけながら協力体制をとっていただきたいと思いますと思っております。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 加賀参事兼福祉課長

〔加賀忠夫参事兼住民福祉課長登壇〕

○加賀忠夫参事兼住民福祉課長 ただいま長寿介護課長もご説明ありましたが、町では、金銭的な支援はわずかなんですけれども、先ほど言いました地域福祉推進チームが地域見守りネットワークとしての働きをなしていただいていると思います。それぞれの地区で違いはございますが、ひとり暮らし、それから高齢者世帯、それから障害者といった地域の弱者の方々を、先に要援護者的な方たちをつかんで、その方の世帯を降雪時ばかりじゃなくて日ごろから大雨時も含めまして見守りをさせていただく、それから声かけをしていただく。そういった活動をさせていただいております。

まだまだ不十分なんですけれども、先ほどの話があったように、各地区で温度差はございますが、私の地区のほうでも先日、福祉推進チームで14名の区のそういったお世話される方々がお集まりして、名簿は個人情報がございますので多少その地区によりまして、そういった形で、どうやって援助していこうか、どういった見守りをしようか、それぞれの地域での対応をさせていただいている状況でありますので、そういったことをもっと、

民生委員、児童委員の方が中心となって組織されておりますので、そういったところでもどしどしまた働きかけ、ともに暮らしやすい地域社会をつくるために頑張ってくださいようお願いをしたいと思います。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 笹川議員

○6番（笹川広美議員） 町長のほうからも今後もさまざまな声を聞いて推進もしていただける方向の答弁もありましたし、災害弱者の地域によって温度差のそういう見守りの体制があるということですが、さらにまた今回のことを通しながら強化も図っていただければと思います。

今回の断水対応、町職員の皆さんが早朝から遅くまで町の全世帯を回り、迅速な対応を行っていただいたおかげで早期復旧となりました。改めて感謝を申し上げます。今後も町民の皆さんの安心、安全な暮らしを守るために、さらなる対策の強化、充実を図っていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

次に、地域包括ケアシステムの推進のために3点にわたり質問をいたします。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目指し、誰もが住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供されるケアシステムの構築の実現が求められております。

3年ごとに介護保険事業計画の策定、実施を行い、地域の自主性や主体性にに基づき、地域の特性に応じて地域包括ケアシステムは構築がされていきます。

そこでまず、現在、当町における地域包括ケアシステムの展開はどのように行われているのか、お聞かせください。また、その成果、課題についてもお聞かせください。

2点目は、今回、平成30年度から32年度に向けた第7期介護保険事業計画が策定されま

す。当町におけるシステムのさらなる充実が期待されますが、そのための新たな取り組みはどのようなものがあるのか、お聞かせください。

そして、いつまでも地域で暮らし続けるためには、お一人お一人が求めるさまざまな支援が必要となります。多様な支援の発掘とネットワークづくりが不可欠であります。

しかし一方で、地域で在宅を支える力には不安を感じ、施設入所を最優先に捉える町民の皆さんは多いのではないのでしょうか。在宅を支える力を育てるためには、支援を求める側への理解も大切になると思われます。

3点目は、当町では今後、在宅生活を支える社会資源の充実をどのように図っていくのか、お聞かせください。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

○杉本栄蔵町長 笹川議員の地域包括ケアシステムの推進のためにのご質問にお答えをいたします。

まず1点目のこれまでの展開とその成果、課題は何かについてお答えをいたします。

平成27年度からの第6期介護保険事業計画の中では、2025年の超高齢社会への対応に向け、介護保険によるサービスに加え、高齢者も地域も元気なまちを目指して、人生や生活でしたいことをなじみの環境の中で続けられるように取り組みを強化してまいりました。

1つ目として、介護予防や生活支援では、高齢者が足腰を鍛え、元気に生活を送ることを目的とした「いきいき百歳体操」に取り組んでおり、現在20グループにふえ、歩いて行ける距離で体操ができ、交流や住民同士がつながる場所となっております。住民が生きがいを持ち、主体的に活動することがふえていくよう普及啓発を行っております。

2つ目は、年々増加している認知症の対応として、認知症予防のための「あたま元気アップ教室」の開催、認知症の人とその家族を支える地域づくりを推進するための認知症サ

ポーター養成講座や認知症カフェを開設いたしました。

また、徘徊などのおそれのある認知症高齢者などに対し、地域の協力を得て早期に発見できるよう高齢者等安心ネットワークを構築いたしました。

さらに、認知症に対する早期の支援体制を構築するために認知症初期集中支援チームの設置を行いました。

3つ目に、医療と介護の連携事業の充実を図るために、医療や介護の専門職から構成されている「あじさい会」において事例検討や研修会などで研さんを積み、医療や介護におけるさまざまな職種との連携を図り、住みなれたところでの暮らしが続けられる地域を目指してネットワークづくりを進めております。

課題としては、町のさまざまな取り組みについて町民の方へ普及啓発を行い、十分に理解をしていただくことや、お互いに助け合う地域づくりが大切であると認識をしてもらうことが必要であると考えております。

次に、2点目の第7期介護保険事業計画での新たな取り組みはどのようなものかについてお答えをいたします。

第7期では、さきに述べた第6期での取り組みをさらに充実させます。介護が必要となる理由として一番多いのが認知症であり、今後ますます増加していくと予測されるため、認知症の専門的なケアを提供できる認知症対応型通所介護を整備していきます。

また、利用者の多様なニーズに対し、訪問、通い、泊まりのサービスが柔軟に利用できる小規模多機能型居宅介護の在宅サービスもあわせて整備をいたします。

引き続き、地域のつながりと支え合いとともに、高齢者をみんなで支える地域づくりを目指して在宅生活の支援体制の充実を図っていきます。

次に、3点目の在宅生活を支える社会資源

の充実をどのように図っていくのかについてお答えをいたします。

高齢者の在宅生活を支えるための社会資源については、生活に必要な買い物や移動、食事、交流や居場所などのことを町で配置した生活支援コーディネーターが中心となり、なかのとまち調べ隊のメンバーとともに町内にある資源の情報収集を行い、高齢者が利用できる情報を発信していきます。

これからは、その情報をもとに話し合いを重ね、今後必要となる資源があればふやしていくなど、生活に必要な支援体制をしっかりと整えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 笹川議員

○6番（笹川広美議員） さまざま大変連携をとりながら町としても推進をしていただいているようであります。

介護予防、日常生活支援という総合事業の担い手づくり、どの自治体にとっても大変大きな課題となっているようですが、そうした中、ご本人が介護保険のサービスを受けながらあるときはボランティアに参加する、そうした高齢者が3割から4割にもなるという地域があるそうであります。自分たちの地域の高齢化を憂い、このままではいけないとみんなで話し合い、きょうはデイサービスに行き、あしたは配食を手伝うよというような現象が起きているそうであります。

地域包括ケアシステムの構築は、まちづくりであり、地方創生であると言われております。大変な取り組みであります。中能登町においても、ともに支え合い、誰もが生きがいを持って生きていける地域を目指して、また住民の皆さんにも十分理解をいただきながら、ともに力強い推進を図っていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

最後に、地域の活性化につながる文化財保護事業の取り組みへ3点にわたり質問をいたします。

昨年12月、中能登町の歴史文化がいしかわ歴史遺産に選定され、本年2月に認定を受けました。「能登の王墓～半島を舞台に躍動したノトの王～」とのテーマからは、古代の人々の壮大な生きざまの鼓動を感じます。改めて貴重な歴史文化がこの地域に息づいていることを教えられました。

今回の認定により、中能登の歴史文化に興味を持たれた方も多いのではないのでしょうか。また、今後の文化財保護事業の重要性はますます高まっていると感じます。

そこで、袋井教育長にお聞きをいたします。

まず1点目は、今回のいしかわ歴史遺産の認定を受け、町の歴史文化の保全活動は今後どのような方針を持って推進されるのでしょうか。お聞かせください。

また、次世代への継承は大切であります。自分が暮らす地域の歴史文化を知り、そして地域に誇りを持つことは、生きる力となります。子供たちが大きく未来へ羽ばたくためには、自分たちのふるさとを自信を持って語るようにしてあげなければなりません。郷土愛を育むためにも歴史文化が重要な役割を果たします。

2点目は、子供たちの郷土愛を育む伝承、啓発活動の充実は図られているのでしょうか。お聞かせください。

さらに、中能登町に眠る歴史文化はまだまだ奥深いものがあるとお聞きをいたします。大変にロマンあふれる地域であり、保全活動の強化が求められています。

3点目は、歴史文化の研究のための人材の活用は適切に行われているのでしょうか。お聞かせください。

○議長（古玉栄治議員） 袋井教育長

〔袋井貞司教育長登壇〕

○袋井貞司教育長 笹川議員の地域の活性化につながる文化財保護事業の取り組みへについてのご質問にお答えします。

最初に、いしかわ歴史遺産の認定を受け、町の歴史文化の保全活動は今後どのような方針をもって推進するのかがですが、文化財は、地域の人々の生活や風土とのかかわりの中で生み出され、現在まで守り伝えられてきた貴重な財産で、地域の特色を示すものとして、まちづくりや地域活性化の基礎を担うものです。

2月6日に石川県から認定を受けましたいしかわ歴史遺産「能登の王墓～半島を舞台にした躍動したノトの王～」は、雨の宮古墳群を初め、能登に王墓が数多く築かれ、時代を経ても地域の祈りをささげる場所として継承され、能登上布など文化や伝承を生み出したことをストーリーとして取りまとめたものです。

このように、いしかわ歴史遺産の認定は、地域の特色ある多種多様な文化財を束ね、情報を発信することで観光振興や地域活性化を図ることを目的とする制度です。

今回の認定を機会として、県が作成するパンフレットを利用したり、町では広報やホームページ、懸垂幕など広く普及啓発に努めたいと考えています。

さらに、雨の宮能登王墓の館をいしかわ歴史遺産の情報発信拠点として位置づけ、新しくパネルを展示するとともに、町の文化施設である石動山資料館、創修館資料室の展示も見直しを行い、認定をきっかけに認定効果が地域全体に波及するよう努めてまいりたいと考えています。

今後、地域住民が文化財を通じてふるさとの理解を深め、また、文化財継承の担い手として主体的にさまざまな活動に参画できる文化財事業を推進してまいりたいと考えております。

次に、子供たちの郷土愛を育む伝承、啓発活動の充実は図られているのかにつきまして、小学校では、ふるさと学習資料を活用し授業に取り組んでいただいています。史跡の

見学や昔の暮らしを学ぶ授業では、雨の宮古墳群や石動山に行き現地学習を行い、鹿島民俗資料館では民具に触れてもらう機会があります。

また、小学校5年生を対象に、ふるさと検定を実施しています。検定に向けて、保護者の方にも中能登町のことを知ってもらうために、土曜家庭学習として課題を家庭に持ち帰り親子で一緒に勉強しました。今年度は、保護者と一緒に勉強したためか、80点以上が合格点で受験者の93.5%が合格しました。

毎年10月中ごろには、雨の宮を護る会が主催する雨の宮古墳祭りにおいて、古墳の出土品に沿った古代の体験ができるよう勾玉づくりを実施しています。

このような経験を通して、ふるさとを自身で表現し語れる人材の育成を考えていきます。

次に、歴史文化の研究のための人材の活用は適正に行われているかにつきましては、歴史文化の研究は個々の文化財の本質的価値を知る上で欠かすことのできないものであります。そして、調査研究を経て、保存すべき文化財を指定文化財として保護し、また活用の際には、調査研究で得られた文化財的価値や新しい発見などを広く伝えることが重要です。

当町には、県下に誇れる石動山や雨の宮古墳群の国指定史跡、織物産業の発展を背景とした重厚で伝統的な建造物を色濃く残す町並みなど有形、無形の多種多様な文化財が継承されています。

今後さまざまな取り組みを実施すべく、新年度は専門職である学芸員を2名増員し3名体制となります。また、地域の方で中能登町の文化財の研究または活用に尽力されている方々を巻き込んで、文化財保護と地域活性化に向けて事業を推進してまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 笹川議員

○6番（笹川広美議員） 大変に人材がたくさん活用されるというお話で、期待が持てる事業になるのかなと思います。私自身もまだまだ中能登の歴史、文化、知らないところが多いので、しっかり私自身も学びたいなというすごく興味をそそられている分野でもありますので、また力強い推進をお願いしたいと思います。

そして、この能登、大陸文化の玄関口とも言われております。また、能登半島を中心とした地形は、まるで鳳凰が翼を広げ雄飛する姿にも例えられております。中能登町の文化財保護事業が今後さらに力強く推進され、県下、国内はもとより海外へと町の魅力を発信し、地域の活性化へとつなげていただきたいと思います。

以上で私の一般質問を終わります。

○議長（古玉栄治議員） 次に、2番 土本稔議員

〔2番（土本 稔議員）登壇〕

○2番（土本 稔議員） それでは、質問いたします。

町長の政治市政について伺います。

1点目、杉本町長は、合併してから13年間、子育て、教育、福祉、社会基盤整備と確かなまちづくりに取り組んできました。また、道の駅を中心としたコミュニティの充実や農業政策も高く評価するものであります。

その証拠に、第2次中能登町総合計画の中に町民アンケート結果が掲載されています。その問いには、あなたにとって中能登町は住みやすいですかという質問に、住みやすいが93%の回答でありました。また中高生アンケートには、あなたは中能登町が好きですかという質問に、好きとの回答が87.7%でありました。未来を担う子供たちが自分の町が好きだという回答は、郷土愛に関する教育が充実していることが言えます。

町長を初め議会、各種関係団体、職員の皆さんの努力のたまものであって、他の市町村がうらやむ自治体と進化しております。また、その行政運営の実績が評価され、昨年行われた町長選挙で町民が4期目を託す結果になったことは言うまでもありません。

そこで、改めて町長の政治市政を伺います。

2点目、昨年行われた町長選挙において自身が訴えた公約の一つに、コミュニティ、防災の中核拠点の機能強化を踏まえ、町民との対話を通じ、庁舎建設を議論し進めていきますと訴えました。

昨年3月定例会の私の一般質問において、統合庁舎について伺いました。町長の答弁は、現在の教育、福祉政策等を維持しながら、後世の町民に負担を先送りしないよう有利な財政支援を検討し、最も経済的に統合できる方法で整備を進めたい。町民の皆様のご意見を聞きながら議会と協議を進めたいとのことでした。

この答弁により、2014年3月に庁舎整備検討委員会が示した旧鹿西中学校校舎の増改築案が妥当という答申が棚上げとなりました。報道機関もこの件を大きく取り上げ、多くの町民は町長候補者を選ぶ選択肢の大きな一つとなりました。

私は、町長の人柄や実績、公約を信じ、支援の輪を広げた一人でもあります。町長は立派な政治家であります。自身の公約は実現、実行しなくてはなりません。自身の公約について、現在どのような考えや思いについて伺います。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

〔杉本栄蔵町長登壇〕

○杉本栄蔵町長 土本議員の政治姿勢についてのご質問にお答えをいたします。

まず、町長の政治姿勢について何うのご質問についてですが、これまで3期12年間の町政のかじ取りを任せていただき、ハード事業

といたしましては、ケーブルテレビ網の整備、統合中学校の建設及び鹿島地区の統合小学校の建設、また道の駅やバイオメタン発酵施設の建設、宅地造成事業などを実施してまいりました。

また、ソフト事業といたしましては、教育や子育てに優しいまちづくりを目指し、18歳までの医療費の無料化や第2子の保育料、給食費の無料化を初め、さまざまな施策を実施してまいりました。

このような施策により、能登地区では唯一、日本創生会議が提唱した消滅可能性都市から外れておりますが、人口減少は歯どめのかかない状況であります。

今年度からの4期目も、引き続き町政を担う責任の重さをしっかりと受けとめ、中能登町のため、ご支援をいただいた多くの皆様の期待に応えるためにも、選挙公約にも掲げました私の基本理念の一つである人間性豊かな活力あるまちづくりを目指すという考えのもとに、さらなる安全、安心で住みよいまちづくりを町民の皆様と一緒に実現できるように取り組んでまいりたいと思っております。

このことから、4期目に当たり、町の暮らしを支えるための、まち・ひと・しごと・まなび・くらし・ささえの6つの施策の実施により、子育てしやすいまちづくりや安全、安心なまちづくりをさらに推進することが大切であります。

また、笑顔と挨拶が広がり、将来に向けて躍進する施策を進めながら、融和と一体感をより醸成させ、この町に住み続けたい、そう言われるまちづくりを目指す決意であります。

主な内容としましては、庁舎統合等の公有財産の整理や人口減少対策関連事業などを実施し、行財政改革を進めるとともに、就業、創業の支援やさらなる住環境の整備を進めていきたいと思っております。

また、子育て、教育、障害者、高齢者対策

事業などは、議員の皆様や町民の皆様からご意見をいただきながら、これまで以上に住んでよかったと、そう思われるまちづくりのための施策を実施してまいりたいと思っております。

次に、4期目の選挙戦で訴えた自身の公約、庁舎建設について、現在どのような考えや思いがあるのかについてお答えをいたします。

土本議員もおっしゃられましたが、私の選挙公約の一つとして、コミュニティ、防災の中核拠点、機能強化を踏まえ、町民との対話を通して庁舎建設を議論し進めていきますと訴えてまいりました。また選挙公報では、行政の効率化を図り、役場庁舎の統合を進めますと明記しております。

この庁舎統合につきまして、今なぜ必要なのかについてお答えをいたします。

まず、現庁舎が抱える課題といたしましては次の3点が挙げられます。

1点目は、町民や利用者に対する課題として、行政部門が3つの庁舎に分散しているために、利用者の要件が各課にまたがる場合、複数の庁舎を行き来せざるを得ず、利用者には不便を与えております。

また、エレベーターや多目的トイレ、ローカウンターなどの整備がほとんどされておらず、高齢者や障害者にも対応するユニバーサルデザインに配慮した施設への改善が必要となっております。また、プライバシーに配慮した窓口カウンターや個別相談室などが少なく、利用者のニーズに対応した施設とはなっておりません。

次に、2点目は、行政の課題として、分庁方式のため、各課の連絡や協議を行う場合に移動が必要となり、内部決裁などがスムーズに行うことができず、業務効率の低下を招いております。特に急を要する決裁などにおいては、庁舎間を往復したり待ち時間が発生するなど大きなタイムロスが生じる上、職員の

移動にも人件費や公用車の燃料費に余分な経費もかかり、公用車削減の阻害要因となっております。

また、現庁舎は老朽化が進んでおり、維持管理コストが高く、財政面でも負担が大きくなってきており、会議室や収納面でも利用者及び職員のニーズに対応した施設とはなっておりません。

次に、3点目は、防災上の課題としまして、災害のたびに分庁舎それぞれの情報共有がうまく図れず、迅速な災害対応に支障が出ております。また、鹿島庁舎及び鹿西庁舎は耐震の建築基準を満たしておらず、大地震が発生した際には倒壊の危険性もあります。

以上の課題を解決するため、庁舎統合を早急に実施したいと考えております。

次に、建設場所の選定につきましては、選挙前に旧鹿西中学校利用案を白紙に戻し再検討するとの報道がございましたが、これは、以前に議員の皆様にお示ししたときから数年が経過し、庁舎建設にかかる経費が東日本大震災の復興や2020年東京オリンピックなどにより人件費や資機材等が高騰しているため、建設費の算定を再検討した上で候補地案をお示しするという意味であり、旧鹿西中学校を候補地案から外すとしていたわけではございません。

また、建設費に係る財政面については、総務省から耐震化されていない役場庁舎の建てかえが対象となる交付税措置のある起債メニューとして、市町村役場機能緊急保全事業が創設されるという情報が届きました。この事業により庁舎の新規建設ができれば、選択肢の一つとして、その方向でも検討すると訴えてまいりました。

選挙後に、この事業の内容について県からの事業概要が示され、鳥屋庁舎に関しては、耐震基準を満たした施設であることから交付税措置の対象面積から外されるという内容がありました。

このため合併まちづくり基金の16億8,000万円の範囲内では新規建設は不可能と判断し、その他の候補地案も含め、総合的に一番安価で早期に整備できる旧鹿西中学校利用案を再度提案したいと思いました。

さらに、昨年8月から9月にかけて実施しました各種11団体への説明会後のアンケート調査では、子ども会連絡協議会、青壮年協議会、実年会、公民館運営審議会、商工会、社会教育委員、文化協会の7団体からは、この旧鹿西中学校利用案の賛同をいただきました。また区長会からは、町長に一任したいという回答もいただいております。女性協議会は、旧鹿西中学校利用案と新規案に分かれ集約ができなかったとの回答でありました。残りの体育協会及びPTA連合会につきましては、集約不可との回答でありました。

この旧鹿西中学校は、平成12年3月に竣工した施設であり、今も30年余りの耐用年数を残すとともに、建築の耐震基準を満たした施設であり、町の遊休資産の有効活用になるものでもあります。

また、旧鹿西中学校は、29年度末の地方債残高がまだ元利金を合わせ2億4,008万円余りが残っている状況でもございます。

こうしたことを踏まえ、現在の教育、福祉政策等を維持しながら後世の町民に負担を先送りしないよう有利な財政支援を検討し、最も経済的に統合できる案であると判断をし、再度、旧鹿西中学校の利用案を提案するものでありますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 土本議員

○2番（土本 稔議員） 今の答弁を聞きまして、1点目の質問の答弁ですが、今後も自身の信念に基づいてしていただきたいと、そのように思います。

2点目の質問の答弁ですが、今の答弁を聞きまして、百歩譲って、国からの財政支援の

話がありました。それが行政経験のない町長なら、選挙後、国の補助金率が大幅に違ったという理由は納得できます。

しかし、杉本町長は県議会議員を2期8年、町長職を13年務めております。この経験や実績を考えても、今の答弁は言いわけにしか聞こえません。公約と庁舎の問題は切っても切れない関係であります。

それでは、再質問を2点いたします。

選挙中もその後も、町長は庁舎問題に関し、議会と町民の声を聞いて進めていくと慎重な言い回しに終始しました。

昨年8月に各種団体に統合庁舎に関する説明会を開催し、アンケート調査を実施しました。アンケート結果は、先ほど町長も言われましたが一番安価である旧鹿西中学校の利用が多数でありました。しかし、議会が開催している議会報告会では、旧鹿西中学校利用には反対の声が多くあります。どちらも町民の声であり、町長と議会との温度差が広がっている現状であります。

各種団体への説明会の資料やアンケート資料には、自身の公約、コミュニティ、防災の中核拠点の機能強化について整合性があると考えますか。1点目について伺います。

2点目ですが、整理しなくてはならないのは、一番安い旧鹿西中学校は建設費が一番かからないのであって、説明資料LCCシュミレーション期間50年では、新庁舎もラピア改修案も初期投資の差はほとんど影響しないと記載されています。一番安価である旧鹿西中学校の利用は、周辺道路等の整備も必要と思われる、総建設費は22億円ではおさまらないと考えます。

初期投資だけが安いだけで統合庁舎を決めるということは、大所高所に立って考えても納得できないのであります。

例えば初期投資が安いだけで考えると、なぜ町長車はクラウンのハイブリッドなのか。燃費を考えてもプリウスのほうがいいと思う

し、安全性からも車体は安全構造基準をクリアしてつくられています。普通に考えても、初期投資と維持費を考えると、プリウスのほうが安く済みませんか。

また、知事選挙において、利便性の高い商業施設アルプラザ鹿島で期日前投票ができるようになりました。しかし、予算不足の関係から期日前投票期間を半分の8日間とする内容でした。

ところが石川県の指導で、各市町が投票率を上げようと努力しているのに対し、中能登町は期日前投票期間を短縮していると指摘され、アルプラザ鹿島での期日前投票期間は従来どおり16日間行うことになりました。

政治に関心を持ち、自分たちの未来は自分たちで決めると、大切な投票機会を予算不足の関係から期間を短くする行為は、浅はかであったことは間違いありません。

言いたいことは、予算や金額だけで判断できないんじゃないですか。皆さん違いますか。

そもそも統合庁舎はなぜ必要なのか。先ほど町長が答弁されましたが、執行部の説明は大きく、行政部門が3つの庁舎に分散しているため利用者が複数の庁舎に行き来しなければならない。プライバシーに配慮した窓口カウンターや個室相談室が少ない。各課の連絡や協議を要する場合、移動や内部決裁がスムーズに行われず業務効率性が低下する。鹿島庁舎や鹿西庁舎は耐震化されていないし、老朽化が進み維持管理費が高く、財政面でも負担となっている。

この説明から、統合庁舎は町民のために必要であり、行政の能率化だけではありません。

私は執行部の説明で、町民のために多額の費用をかける統合庁舎の必要性を理解しました。統合庁舎は町民のために必要であるならば、行政の能率化とともに町民の利便性、防災拠点、安全性、まちづくりとの整合性、そし

て事業の実現性、財政負担についても一体となって検討すべきであります。

そこで、統合庁舎に求められる機能と役割について、どのような考えなのか伺います。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

○杉本栄蔵町長 統合庁舎に求められる機能と役割は何かについてという再質問でございます。

統合庁舎は、町民サービスを提供する施設であります。まちづくりの拠点施設であるなど、さまざまな役割も持っております。また町民の利便性を最優先に考えることはもちろんですが、町民の安全、安心を守る防災拠点としての庁舎であることも大切であると考えております。

この町民のための施設であるという観点から立った庁舎の役割と必要最小限度の事業費の中で優先しなければならない庁舎の機能と役割として、1点目は、総合窓口の設置や相談機能の充実により町民が利用しやすい庁舎であること。2点目に、洪水や地震などの自然災害や危機発生時において防災機能拠点となり得る庁舎であること。3点目に、必要最低限の機能、規模で効率よく使用できる庁舎であること。4点目に、省エネルギー機能などを備える環境に配慮した庁舎であること。以上が庁舎統合に求められる機能であると考えております。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 土本議員

○2番（土本 稔議員） 今、町長の答弁を聞きまして、統合庁舎に求められる機能と役割を聞きました。この件については、町民のサービス、町の防災の拠点、利便性その他を考えているということで、この件につきましては私と考えも一致しているということで、とても安心しました。

最後の質問に行きます。再質問、行きます。

新聞記事に政治ジャーナリストのインタビ

ュー記事が掲載されていました。記事には、先日亡くなった野中広務さん、元官房長官に首長の役割を聞いたことがある。京都府園部町の町長や副知事を務めた野中さんは、未来にとって誤りのない地図をつくることだと話した。首長は、まちの将来についてグランドデザインを描き、そこに至る道を引かなくてはならないと掲載されていました。

全くそのとおりであります。杉本町長の役割は、中能登町の未来にとって誤りのない地図をつくることであります。

統合庁舎は、未来の中能登町にとってどうあるべきかについて議論しなくてはならないのに、金額論だけ先行してしまい、何かが足りないと感じました。それは庁舎整備における基本理念であります。例えば、能登町では、人が集い、憩い、交流するこれからの能登町の活性化に大きく寄与する庁舎、この基本理念に基づき計画されています。

杉本町長の理念は、人と人とのつながりを大切に、安心、安全な住みやすいまちづくりです。計画する上で、基本理念や基本構想は必要不可欠であります。なので先ほど庁舎に求められる機能と役割を聞いたわけです。

津幡町でも新庁舎を建設いたします。現在の建物を解体し、同一敷地内で建設します。規模は4階建てで延べ床面積約5,000平米と、執行部が説明している新規庁舎建設面積と同じであります。建設費用は約26億円。豪華な庁舎ではなく、質素で無駄のない合理的な庁舎を計画すれば、40億という金額は算出されないでしょう。いま一度、根本から検証してはどうかと思います。

次に、町長を初めとする執行部の皆さんが大きく主張する財政面についてです。言いにくいことを心を鬼にして言います。

2月28日に庁舎建設特別委員会で、行財政改革を実施せずにサービスを現状維持した場合の将来推計が提示されました。この資料には、歳入の町税や地方交付税が減少する一

方、歳出においては人件費の上昇や扶助費の増加と記載されています。歳入と歳出の差額を財政調整基金で充当すると、平成41年度末には財政調整基金が枯渇する見込みとあります。要は現状のままでは10年後以降に現在のサービスはできないということであります。当然と言えば当然であります。

普通に考えて、給食費の無料、保育料の無料、教員の多忙化による学校支援員の増員、電子黒板やタブレットの物品購入、さらに社会資本整備交付金事業や地方創生道交付金事業。寄附された丹後邸の改修工事。費用の半分は国、しかし残り半分は町負担。もちろん完成後の維持管理は町負担。町祭イベントにおいては、毎年芸能人を呼び、花火を打ち上げ、職員総出で予算は約2,000万。歳入より歳出のほうが多く、財政調整基金で充当する。その結果10年後に枯渇してしまう。当たり前の話であります。

先ほど除雪の件が質問されました。石川県は豪雪地帯に指定されており、冬に雪が積もることは自然現象であります。しかし、年数回の大雪に声を上げ、除雪対応について町に要請する。何かあったら、すぐ行政責任であります。一昔前では考えられません。

中能登町地域防災計画・雪害対策編の基本方針に、自主防災意識を持った雪害に強い町民の育成に努めるとあります。しかし現実はどうでしょうか。除雪が遅い、除雪が下手、苦情が来ていませんか。何かと行政任せが多くなり、そのため仕事量がふえ、職員数も減らすことができず、人件費が上昇する。総務課長、違いますか。

どうしてこういうことになるか改めて考えてみました。当町の特色として、学校教育予算に大きくかけて、社会教育は消極的であります。各種団体、いわはボランティア団体にかかる予算を縮小していけば、おのずと町民は行政任せになるのは自然な考えであります。

来年度予算においても、公民館活動費の約30%が敬老会費用であります。そもそも公民館活動とは何なのか。中能登町の公民館活動とは敬老会が主な事業なのかと感じます。生涯学習課長、違いますか

行政任せの考えが多くなり、自助、共助の精神が養われず、結果、公助ばかり強調され、職員の仕事量がふえ、定数が削減できず、人件費が上昇する。地方創生や少子・高齢化、定住促進という名のもとにじゃんじゃん事業を行えば、予算がなくなるのは当然であります。

これは、財政調整基金が10年先で枯渇するか15年先で枯渇するかの行財政改革の問題であって、庁舎建設には予算がないから旧鹿西中学校を利用する理由にはなりません。全く別問題であります。

再々質問の1つ目ですけれども、町長の公約に行政の効率化を図りとあります。庁舎統合だけが行政の効率化ではないと思います。具体的にどのような行財政改革を今後進めるのか、1点目について町長に伺います。

次に、調べてみると、庁舎建設は全国どこにでもある話でありました。まず新庁舎の必要性が検討され、その必要性から基本理念や基本構想が打ち出されます。次に、新庁舎の機能について検討され、場所、規模、事業計画へと進んでいきます。いわばものづくりの基本であります。

このときどのような視点で考えるかであります。町民に理解していただく一つの手法として、評価指数を用いて検討すべきであります。

ここに、各市町の評価指数を参考に、私、作成してみました。議長、資料を配付したいのですが、よろしいですか。

○議長（古玉栄治議員） それでは、ここで暫時休憩します。

午前11時12分 休憩

午前11時13分 再開

○議長（古玉栄治議員） 再開します。

○2番（土本 稔議員） それでは、作成した評価指数に基づき説明いたします。

4つの新庁舎案、鳥屋庁舎増改築案、旧鹿西中学校利用案、ラピア鹿島増築案、新規建設案、それぞれ皆さん想像していただきたいと思えます。

4つの視点で、まずは町民の利便性、次にまちづくりとの整合性、次は防災拠点・安全性、そして事業性であります。そして各項目に点数をつけて、点数についてそれぞれ公表する。そうすれば町民誰もが理解できます。

ちなみに調べてみますと、新庁舎建設には、どこの市町村も必要の観点から事業性については点数が少ないわけでありました。

まずは町民の利便性について、人口重心との接近性。中能登町の人口重心はどこなのかということでもありますけれども。総務省統計局、平成27年度国勢調査では、中能登町、東経136度53分36秒、北緯は36度58分20秒の位置で調べて見ますと、中能登消防署と中能登中学校のちょうど中間地点でありました。

そして次に、交通アクセス、公共交通、自動車交通、自転車・歩行者のこれについて検討していきますけれども、利便性については、今月行われた知事選挙の期日前投票数で期日前に行かれた人の総数は合計が4,205名であります。鳥屋庁舎の方は980名、アルプラザ鹿島の方は2,304名、鹿西庁舎では921名と、半数以上の方がアルプラザでの投票となっております。これはまさしく総務課長が説明されたとおり利便性の高い商業施設であったとの証明であります。

次に、まちづくりとの整合性。この項目に対しては、基盤整備。整備状態はどうですか。地域貢献、周辺の景観・環境についてはどうですか。そして関連法令・計画との整合性であります。まちづくりの整合性、基本計

画の整合性。中能登町にも基本計画があります。そこでの整合性はどうかということなんです。まちづくり三法との整合性。コンパクトシティ形成の趣旨に整合していますか。コンパクトシティの整合といいますと、中能登町自体、小さな面積の町であります。しかし施設が分散すると、少子・高齢化により人口が減少に転じる中で、地方財政がインフラの維持のためにコストに耐え切れないということでもあります。この項目については重要であると思えます。

そして防災拠点・安全性。先ほど町長も言いましたとおり、地震について、水害について、火災について、それぞれ検討していくわけであります。機能維持特性として、もし災害に遭った場合、災害時のアクセスはどうか。救護活動の容易性。災害対策機関との連携。それぞれ検討して評価していくわけあります。

続きまして、事業性であります。事業性については、用地取得の確実性。容易に取得できるか。敷地の形態、規模の柔軟性。そして工事期間への対応。工事の周辺への影響。騒音、振動その他、近隣の生活環境に影響がないですかということなんです。

そして先ほど言った財政負担の軽減ということで、用地取得。用地買収に費用がかかる。補償費、造成、インフラ整備が安価であるか。そして建設費の総額。庁舎や電気設備、機械整備、付帯工事、移転費用が安価であるか。

それぞれ検討していくわけであります。これが私が昨年3月に一般質問した行政の効率化とともに町民の利便性、防災拠点、安全性、まちづくりとの整合性、そして事業の実現性、財政負担についても一体となった内容であります。

今回の庁舎の質問に対して、4カ所の新庁舎があります。旧鹿西中学校の利用案が統合庁舎にふさわしいと町長は言い切れますか。

伺います。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

○杉本栄蔵町長 土本議員の再々質問にお答えをいたします。

私自身は、合併後、町の住環境整備のためのハード部門、これが中学校であったり、道の駅であったり、小学校の統合であったり、道路であったり、河川であったり、今の水道事業の統合であったり、そういうものは一つのまちづくりとして進めてまいりました。

おかげさまで一步一步でありますけれども今まで水のついておった鹿西高校の前とか、あるいは金丸の泉自動車の前とか、鳥屋の六道辻の前とか、そういう水のつくところはまずなくなりましたし、初めてのバイオメタン、日本で初めてのそういうものを導入することもできましたし、それと同時に教育のまち中能登というようなことで教育にも力を入れ、また子育てにも出産祝い金とか、あるいはまた今しております給食費、保育園の2番目から無料とか、そういうソフト事業にも一つの町として力を入れてきたわけでありませう。

それが評価をいただいたのか、4市5町、宝達志水町以北では消滅しない町として残っておりますし、また人口の減少もありますけれども、その中では一番人口減少も少ない。そんな評価もいただいております。

これは合併特例債もあったり、いろんな面で使わせていただいて、中能登町は合併したときに1人20万ずつのお金を持ち寄るというようなことで40億でした。今現在90億あります。今言われました町債であったり、あるいはまたいろんな施策であったり、そういうものをしながらいろんな詰めるところは詰めて今、倍以上。そういう町はないと思えます。これは合併した特例債のおかげであります。

そういうことで、これから15年たったときには、大方交付金で町が生きておるわけですが、15年たったときに、今までは3つ

の町の算出で交付金をいただいております、10年から5年間で緩和的で15年後には一つの町として算入されますと約6億減るわけでございます。ことしの予算は、今言われましたように11億3,000万の一般財源で基金を取り崩して予算を組んでおります。このままずっとそういうことではありませんけれども、従来どおりの財政運営は大変難しいと思っておりますし、これから公有財産整理あるいはまた既存の事業の見直し、町全体で行財政改革もしていかなければならんと、そんな思いでありますし。次は、今、公用車の話も出ましたけれども、次変えるときには変えていければいいと思っております。

今ここで私どもがいろんな結論を先送りしないで、そしてまた町民の皆さんとそれらを踏まえて、どうしてこの町を持っていくのか、どの部門がこれから削減しなければならないのか、そんな課題にしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。そういう中で町民の皆さんが本当にこの町に住みたい、これからもずっと住み続けていきたい、そう思われる、そんなまちづくりにしなければならないと、そんな思いでございます。

私らが町民の皆さんと話をするときには、余り大きな立派な庁舎は要らない。せっかく鹿西中学校があるんだからそこがいいがでないと。そんな声は私は多く聞いておりますし、また議員の皆さん方が議員の立場として聞くときには、今そんたくという言葉がはやっておりますけれども、そんな部分もあるのかなと。そんな思いもありますけれども、各団体、そういうところからいただいたのは先ほど申したそんな数字であります。

そんな今の課題、そしてまた町政を進めていく中で、私自身の信念といたらおかしいけれども、こんな思いでという思いは、一つはおごらず、怠らず、ねたまず、人と比較せず、そしてまた感謝の気持ちと、こういうことはできるかできんかわからんけれども町政

に対して命を賭して頑張っていきたい。そんな思いで日々頑張っておるつもりでございます。

土本議員にも一番最初のころが一番安い、いいがでないかいねと、そんなお話をされておりましたけれども、今どのように考えておられるのか、また庁舎問題についてお聞きもしたいと思います。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 土本議員

○2番（土本 稔議員） 再々質問の1点目ですが、行財政改革について、今後検討すると、いろいろなことを検討していくという町長の答弁でありましたけれども、この前いただいた財政表からいきますと近々の課題であります。これについては早急に対応していく必要があるということであります。

町長から私どう思っているかということでありましたけれども、私は議員に選ばれてから、統合庁舎については、費用が、先ほど町長言いましたけれどもかからない施設を有効利用する旧鹿西中学校がいいのではないかと考えておりました。それは使えればいいという費用のみのことを考えておったからであります。しかし、さきの町長選挙で経験したことや、町民の対話を通じて学んだり、先ほどの評価指数表であります自分なりにいろいろ勉強しました。その結果、新庁舎は町の中心部にあるべきだと今は考えております。

2点目の質問ですが、町長、庁舎について町長の歯切れがちょっと悪いので、きちんとお答えいただきたい。議長には、中能登町会議規則に基づき質問回数について議長の許可をお願いいたします。

○議長（古玉栄治議員） 2番目のはっきりした答えということですね。許します。

○2番（土本 稔議員） 議長の許可を得ましたので、最後の答えでありましたけれども、町長は旧鹿西中学校の利用案がふさわしいと言い切れるかという質問であります。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

○杉本栄蔵町長 20億、そして30億、この庁舎、それからまたラピアも、そして新しくする40億。これはコンサルタントは公平な目で評価をしていただいたお金でございます。それを皆さんにそのままお見せしましたので。私自身は鹿西庁舎を改装すれば十五、六億でできると。やり方によってですけども、今は議会棟だけ新しくして大体十七、八億。それを今の庁舎の中へ議会棟も全部入れればもっと安くできる。そして私は、今の中学校を使い道もいろんなところでお話もしましたけれども、なかなかないし、あれだけの建物、地面そのまま使い道のない、今は庁舎しかないと。私は政治生命をかけてでも鹿西庁舎を提案をしていきたい、そんな思いでございます。

○議長（古玉栄治議員） 土本議員

○2番（土本 稔議員） 今ほど町長から答弁聞きまして、統合庁舎における熱意とわかりましたので、それ以上は聞く必要はありませんので、次の質問に行きます。

○議長（古玉栄治議員） ここで、時間も大分たっていますので10分間休憩して、その後でお願いいたします。

11時40分まで10分間休憩します。

午前11時30分 休憩

午前11時40分 再開

○議長（古玉栄治議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

土本議員

○2番（土本 稔議員） それでは次の質問に行きます。

基金の運用状況について伺います。

地方自治法第241条の2では、基金は、条例で定める特定の目的に応じ及び確実かつ効率的に運用しなければならないとあります。当町には多数の基金や有価証券を保有しております。

そこで、基金が確実かつ効率的に運用されているか運用状況について伺います。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

○杉本栄蔵町長 土本議員の基金の運用状況についてのご質問にお答えをいたします。

基金は、財政調整基金が約60億円と使途限定の13の基金を含めると、現在約90億円余りの残高となっております。そのほとんどが定期預金での運用を行っておりますが、日本銀行のマイナス金利政策等により定期預金の金利は現在年率0.02%前後であり、運用益は極めて少ないのが現状であります。

そこで、平成26年度から財政調整基金のみの運用について債券の購入も取り入れ運用益を上げるよう努力をしております。

財政調整基金の運用の詳細につきましては担当課長から説明させますので、よろしくお願いたします。

○議長（古玉栄治議員） 百海会計課長

〔百海和夫会計課長登壇〕

○百海和夫会計課長 財政調整基金の運用ですが、現在、約60億円余りの残高があり、そのうち額面で1億円の債券を7本保有し、利率は年0.5%から0.6%台のもので、期間は全て20年の債券です。

全ての基金を債券に切りかえればよいのではと思いますが、使途限定の基金は総額の少ないものもあり、1億円単位での運用が難しいことと、金利のよい債券は20年で期間の長いものとなっており、取り崩しの時期によっては購入時の単価を下回るおそれがあり運用が難しくなります。

また毎年、年度末になると公債費の元利金の償還等で歳計現金が不足するため、大事な資金源として財政調整基金からの繰りかえ運用を行っています。金融機関からの一時借入金の利子の支払いを考えますと大きな財源であります。

繰りかえ運用は、ここ近年、約十数億円の定期預金を取り崩し実施をしております。定

期預金は満期日の指定ができますので、繰りかえ運用に適しております。そのため、ある程度の割合で債券と定期預金にする必要があります。

現在、財政調整基金での定期預金の割合は約9割となっていますが、今年度も基金の取崩しが予定され、新年度予算においても取崩しが見込まれております。財政調整基金の減額が大きく予定されているところであります。

今後、少しでも運用益を上げられるように、財政調整基金での債券の占める割合や金利の状況を見きわめながら運用を図っていきたいと思っております。

よろしく申し上げます。

○議長（古玉栄治議員） 土本議員

○2番（土本 稔議員） 基金の運用状況について、今ほど答弁ありました。今後、当町はますます厳しい財政状況になるのは間違いありません。「これより天下のことを知る時は、会計もっとも大事なり」と今から約150年前、坂本竜馬が土佐藩の重臣、後藤象二郎に宛てた手紙の中に書いてあった言葉であります。町の財政を考えると、事業を展開するとき、会計最も大事なり、現代でも本質を突いているような感じがします。

会計管理者の職務は重責であります。しっかりと確実に効率的な運用に努めていただきたいと申し上げ、私の全ての質問を終わります。

○議長（古玉栄治議員） ここで1時30分まで昼食の休憩とします。

午前11時46分 休憩

午後1時30分 再開

○議長（古玉栄治議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、8番 諏訪良一議員

〔8番（諏訪良一議員）登壇〕

○8番（諏訪良一議員） 2問について質問

をいたします。

最初に、今後の農業振興対策について。

平成30年産米から国による生産調整、いわゆる減反が廃止されます。とはいっても生産量の目安、生産目標が既に生産農家個々に示されてきております。このことは、主食用の米の需要に応じた生産が図られるよう作付を推進することによって安定的に生産者米価を保持するために米づくりを農家や地域の主体性に委ねることが本旨であるようです。

昨年まで生産調整の目標を達成した農家には国から支給されていた10アール当たり7,500円の交付金も、平成30年度からは廃止となり、米の生産農家の収入も必然的に大きく減少することから、転作により経営の安定化を図るための施策を講ずる必要性が求められてきております。

加えて、これまで実施してきた転作の集落間互助制度を町が取りやめたとのことで、これでは優良農地がますます耕作放棄地化へと進展し、世界農業遺産にふさわしい農村ならではの景観が悪化してしまうのではないかと危惧するものです。

これらの課題解決を図る上からも、水田の区画が大型化、乾田化がなされていない地区へ平成30年度から実施される県営ほ場整備事業、地元負担金ゼロ実施に向けての指導が不可欠と思われれます。

そこで、新しい米政策の推進方策について。2つ目には優良農地の不作付地化への防止方策について。3つ目には水田フル活用ビジョンの策定について。4つ目には県営ほ場整備事業の促進について。5つ目には担い手の育成、確保の支援方策について。以上5点について伺います。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

〔杉本栄蔵町長登壇〕

○杉本栄蔵町長 諏訪議員の今後の農業振興対策についてのご質問にお答えをいたします。

ご承知のとおり、平成30年産以降の米政策が大きく見直され、国による米の生産数量目標の配分が行われなくなりました。これにより、国が示す需要情報を参考に各都道府県が生産基準数量を地域に配分し、町においても引き続き生産調整を行い、米の安定供給に向けた目標達成に取り組んでまいります。

次に、優良農地の確保対策については、農地の健全化のため従来より農業委員が農地パトロールを実施しておりましたが、新制度のもと、農業委員会組織、農家、中間管理機構との三者による共同活動によって、今後、町内の遊休農地、不作付地の解消が図られるものと期待をしております。

また町では、認定農業者、法人経営体、農業ビジョンに掲げられた地域の担い手を地域の農業の推進役として明確に位置づけをし、効率的かつ安定的な地域農業の仕組みづくりを推進してまいります。

このことから、地域の担い手を中心となって設立する農業法人へのソフト支援とハード整備による相乗効果を発揮するため、大型圃場整備事業を推進し、地域の担い手の育成、農地の集約、低コスト化等の経営構造の改善が図れるよう国、町、JAなどの関係機関が一体となって農家所得の向上に努めてまいります。

次に、土地利用型農業の振興作物については、麦、大豆、ソバ、飼料作物を地域振興作物として位置づけ、作業効率を高めるため団地化や集団化を推進し、栽培指導の強化により生産量の向上を図ることとしております。

現在の国の農政が担い手中心の施策へ移行しつつある中、町の農業を維持、発展させていくためには、既存農家の後継者育成、新規就農者や女性農業者または定年帰農者の育成や支援が重要な課題であることから、こうした面での支援を総合的に展開してまいりたいと考えております。

ご質問のありました5項目の詳細につきま

しては、担当課長より説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○議長（古玉栄治議員） 田中参事兼農林課長

〔田中栄一参事兼農林課長登壇〕

○田中栄一参事兼農林課長 それでは私のほうからお答えさせていただきます。

まず1点目の新しい米政策の推進方策についてお答えいたします。

先ほど町長が申し上げましたとおり、30年産から国の米の生産量の上限を示す減反政策が廃止となりましたが、石川県におきましては、引き続き生産調整を行い、県産米の需給と価格の安定を図るため、目安とする生産基準数量というものが配分されたところでございます。

中能登町農業活性化協議会におきましては、引き続き生産調整に取り組んでいくこととしており、米の生産調整のほか、米にかわる麦、大豆、園芸作物、飼料用米など地域に適した作物を奨励する水田活用の直接支払交付金を活用しながら生産者の皆様には需要に応じた米の生産に取り組んでいただくことにより農家所得が確保されるものと考えております。

次に、2点目の優良農地の不作付地化への防止方策についてお答えいたします。

優良農地の不作付地化の防止方策としましては、一つには、農業委員会が毎年8月から11月にかけて農地パトロールを実施しております。違反転用の発生防止、耕作放棄地の実態確認の活動を行っております。

また、この農地パトロールの後、農家に対して農地利用意向調査を行い、農地の不作付地化の防止につながっているものと考えております。

また、平成29年度からは耕作放棄地の課税の強化の規制も設けられたところでございます。農地法に基づき、耕作放棄地の改善がなされない所有者に対しては課税評価額を1.8

倍とするものでございます。

こうした農業委員、農地利用最適化推進員の活動や農地法制度を広く知っていただくことによって、町内の遊休農地、不作付地の解消が図られていくものと考えており、あわせて、この制度の周知も図っていきたいと考えております。

次に、3点目の水田フル活用ビジョンの策定についてお答えいたします。

水田フル活用ビジョンにつきましては、地域農業の設計図として都道府県、地域農業活性化協議会で策定されるもので、今後3年から5年間における水田活用の取り組み方針、また産地交付金の活用方針を定めているものであります。

中能登町農業活性化協議会におきましては、平成26年度にこのビジョンを策定いたしております。当町におきましては、平成30年度もこれまでのビジョンを踏まえ、県農業活性化協議会が示す生産基準数量を守り、飼料用米や輸出用米などの動向も注視しながら地域農業の振興に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、4点目の県営ほ場整備事業の促進についてお答えいたします。

町では、大区画整備による生産効率の高い農地を担い手へ集約し、地域ぐるみで農地集積を図るため、また耕作放棄地の抑制と将来の農業経営者の育成を目的として、圃場整備事業を推進してまいりました。

現在、今年度中に完了予定の滝尾南部地区、現在区画整備実施中の芹川地区、瀬戸地区と合わせて3地区で県営ほ場整備事業を進めております。また、春木地区では小規模な区画整理事業を町が事業主体となって進めております。平成30年度には、末坂地区が新規採択を予定しており、今議会におきまして関係予算を計上しているところでございます。

末坂地区につきましては、地元負担が伴わない国の新規事業、農地中間管理機構関連農

地整備事業で実施予定としております。この事業は、先ほど町長からも答弁がございましたとおり負担が伴わないということで非常に魅力ある事業となっております。

当町の未整備地区もまだございます。そういう地区においても、今後、地元説明会等を通して事業の内容を周知し、圃場整備事業の促進につなげていきたいと考えております。

次に、5点目の担い手の育成、確保についてお答えいたします。

担い手の育成、確保につきましては、人口の減少、高齢化に相まって農業従事者の高齢化が著しく、農業の担い手不足が深刻な状況にあります。

町としましては、現在、21の農事組合法人が設立されておりまして、年々増加している状況であります。こうした法人や集落営農組織を中心的担い手として位置づけております。今後さらに農事組合法人化を誘導することによって農業の担い手確保に努めてまいりたいと考えております。

また、各集落の人・農地プランというのがございます。この中でも後継者の確保、育成を図っていくことを掲げております。各集落におきましては農業の担い手育成について真剣に考えていただきたい、こんなことを思っております。

それから、ソフト面からの農業担い手確保の支援策であります。能登半島エリアですが、中能登地区農業インターンシップ協議会による交流会というのがございます。これは都市生活者を対象に中能登地域での農作業等への従事や地元住民との交流など能登での生活を丸ごと体験、研修する機会を公益財団法人いしかわ農業総合支援機構と共同で実施いたしております。平成28年度には研修生3名のうち1人が町内の法人で農業の実地研修を行っていましたが、残念ながら就農、定住には至っておりません。

それから2つ目に、平成28年に県外から2

組の夫婦が町内に定住し、国の給付金を活用し農業経営に取り組んでおられます。こういった新規に就農される方を支援していくために、県、町、農協を中心とした体制を構築していきたいと考えております。

また、農業研修として農作業をやっていただくだけでなく農業経営についても地元農家との交流を持って研修機会を確保するなど、一人でも多くの方に農業に関心を寄せてもらう場を設けていきたいと考えております。

こうしたことを通して、担い手確保、育成につなげていきたいと考えております。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 諏訪議員

○8番（諏訪良一議員） 言葉で申すことは割合容易なんです、これが現場でということになってくると、なかなか言葉では言い尽くされるところがたくさんあると思うんですね。

農家サイドで考えていきますと、まず棚田の耕作放棄地、これが順番に荒れてくるということからイノシシの被害がだんだん平坦部においてきているというようなことにつながってきております。そういうことから、誰でも手のつけられない効率の悪い棚田をどう守っていくかということがこれからの農政の大変大きな課題でないかなと、こんなように思います。

それと転作の作物なんです、先ほど町長が申されました麦、大豆、地域振興作物、このほかの作物をどのように取り扱われるのかということ。

それと、まだ圃場整備が進んでいないところの方の声を聞いてみると、とにかく区画を大きくすることによって大きな機械が当然必要になってきます。ところが今では500万円以下の農機具がないくらい高くなってきております。そんなことから新規の担い手育成というものは容易ではないと。このあたりが大変問題になってくるようです。

これまでですと、推進するための一つのネックとして工事費の地元負担、これが一番問題であったんですが、これがクリアできると次に担い手がない。新規に担い手を育成する組織がない。このあたりが問題に取り上げられておりますが、このあたりをどのようにお考えか、お聞きします。

○議長（古玉栄治議員） 田中参事兼農林課長

○田中栄一参事兼農林課長 ただいまのご質問についてお答えいたします。

まず棚田等の農地の荒廃に対してどう考えるかということですが、実際、圃場整備に入るような区域でもありません。耕作に支障を来すようなそういう条件の悪い場所でございまして、誰もつくり手のない農地がこのまま放置されることについては非常に懸念を持っております。

ただ、この土地について、町としてどうするということまでは考えが及んでおりませんが、環境保全とか自然環境のためには何らかの手を打つということもこれから考えていく必要があるかと思っております。現時点では特別な方策という考えは持ち合わせておりません。

それから、地域振興作物の大豆、それからいろいろある中で、それ以外のものについて振興作物の考え方はどうかというご質問でありました。

これについても中能登町農業活性化協議会の中で振興作物については検討させていただいております。町内では、新たにハトムギの生産に取り組みたいというお話も承っておりますが、そのことについても今後協議会の中で検討させていただいて、振興作物に取り組むかどうかというところを協議させていただきたいと思っております。

以上でよろしいでしょうか。

○議長（古玉栄治議員） 諏訪議員

○8番（諏訪良一議員） 振興作物でハトム

ギを考えている組織があるんです。ということは、麦の場合、排水が悪いと芽立ちが悪い、イコール収量に響くんですが、ハトムギは比較的湿害には強いということから、これを何とかしてもらえばハトムギあたりを考慮したいというような、そんな集団があります。この点、どのようにお考えでしょうか。

○議長（古玉栄治議員） 田中参事兼農林課長

〔田中栄一参事兼農林課長登壇〕

○田中栄一参事兼農林課長 ハトムギの振興作物にというご質問です。先ほど私もハトムギの話させていただきましたが、水田活性化協議会の中で協議をさせていただいて、振興作物に取り込むかどうかというところを協議させていただきたいと先ほど申し上げたとおりでございます。

○議長（古玉栄治議員） 諏訪議員

○8番（諏訪良一議員） それでは次に進みたいと思います。

断水被害の軽減対策についてであります。

今冬は記録的な大雪と寒波に見舞われ、予想だにできなかった宅内水道管の凍結や破裂などが鹿島地区内の12集落で多くの家庭で発生しております。また、このことに伴う復旧工事のために1日から数日間に及ぶ断水あるいは給水制限が余儀なく強いられ、一時はそれぞれにどのように対処していったらいいかということ大変困惑したのですが、反面、今日に至っては、このことを通じて、ふだん蛇口さえひねれば水道水が出るといったごく当たり前と思っていた日常生活上の不便さを再認識したねとの声も聞かれるきょうこのごろです。

マイナス4度以上、あるいはそれに近いような吹雪の中で、加えて1メートル30センチ以上もの積雪の下にある水道管の漏水箇所を捜し当てるということは、大変な作業であったと思います。また、そのように伺っておりますが、このことが復旧工事を進める上での

最大のネックとなった要因ではないかと推測しております。

全庁対応で復旧工事に取り組むには、工事にかかわる全員が積雪時においても漏水箇所を速やかに掘り出せるように、管路台帳の整備あるいは復旧体制の構築化を図っておくことが肝要であろうかと考えております。このたびの貴重な体験を糧に、今後の町防災、減災に活かしてほしいものと思っております。

そこで、漏水確認作業の軽減化について、2つ目には断水被害の軽減化について、3つ目には空き家がかなり問題になったそうですが空き家の宅内水道管の処置、以上3点について伺います。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

○杉本栄蔵町長 諏訪議員の断水被害の軽減対策についてのご質問にお答えをいたします。

まず1点目の漏水確認作業の軽減化についてであります。鹿島地区で断水被害が起こった1月28日の夜20時46分に男子職員を鹿島庁舎へ招集し、水道本管や公共施設の漏水確認のパトロールを実施いたしました。翌日からは空き家等の漏水確認作業を実施いたしましたが、当時は積雪により水道メーターを見つけ出せない場所も多く、確認作業には4日間で延べ167人の職員と検針員を要することとなりました。

このことを踏まえ、現状の水道台帳の管理だけでは正確なメーター位置を把握することは困難であります。緊急時に止水栓の閉栓作業が円滑に行われるよう、最適な管理方法について今後も引き続き検討してまいりたいと思っております。

次に、2点目の断水被害の軽減化についてであります。

今回の断水被害では、被害を最小限にとどめるために、夜間に配水制限をかけ、配水池の貯水量の回復に努める一方で、合併後に整備をした連絡管のバルブ操作により越路配水

エリアの縮小を行いました。

また、断水世帯への対応としましては、飲料水の配布や道の駅での給水所開設のほか、災害協定を結んでおります津幡町には給水車2台を、県には給水バルーン8台をそれぞれ要請し、長期化を想定した準備を行いました。

今回の被害を受けまして、有事の際には迅速な行動がとれるよう個別のマニュアル等の整備も行っていきたいと考えております。

最後に、3点目の空き家内水道管の処置についてであります。水道利用者へは、これまで以上に町の広報やホームページ、音声告知端末等により、冬季における宅内水道管や給湯器の凍結防止対策の徹底に加え、水道メーター周りの除雪や清掃の協力を呼びかけてまいります。

また、長期不在を含む空き家等につきましては、リスト化し所有者へ定期的に注意を促すなど、未然防止に努めてまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 諏訪議員

○8番（諏訪良一議員） なぜ管路台帳の整備が必要かということは、昔から段取り8分という言葉があります。全庁対応で対応できるということは大変すばらしいことなんです。このときに量水器の確認に手間どっているということであれば、さほど大勢の方が出勤していてもその割に能率が上がらんのではないか、こんなように思います。そういうことから、やはり体制の整備あるいは管路台帳の整備あたりが大変重要になってくるのではないかと思っております。

それはなぜかといいますと、最近では量水器の場所、いわゆるメーターの場所ですが、検針の方は町の職員の方ではないわけです。シルバーの方ということです。ですから場所を聞くにはやはりシルバーの方に聞かないとわからない。

それともう1点は、できるだけ量水器の場所を見やすい場所に移動させております。

そんなこともありますので、管路台帳の整備、最も最初に手がける場所、手がける仕事のように考えますが、このあたりをどのようにお考えでしょうか。

○議長（古玉栄治議員） 田中上下水道課長
〔田中 智上下水道課長登壇〕

○田中 智上下水道課長 諏訪議員の管路台帳の整備ということですが、今回の断水の教訓を受けまして、現在は水道台帳上には地図データ上に水道の量水器、メーターの位置は落としてございます。ただ、この図面等につきましては、縮尺的に申しますと2,000分の1の図面台帳でございまして、ピンポイントで探す位置までに至った図面ではございません。なので今後は、瞬時に探せるような位置情報について検討してまいりたいというように思っております。

この位置情報、町内には7,000余りの給水件数がございます。一遍に全部するという面では時間もかかりますし費用もかかります。今後はエリアを分けながら整備を行っていきたいというように思っております。

以上でございます。

○議長（古玉栄治議員） 諏訪議員

○8番（諏訪良一議員） 特に水道の問題だけではないんですが、災害復旧ということになると何が最も大事なのかということをしての水道の取り組みを反省していただいて、そして再検討していただきたいと思うことをお願いして、質問を終わります。

○議長（古玉栄治議員） 次に、13番 坂井幸雄議員

〔13番（坂井幸雄議員）登壇〕

○13番（坂井幸雄議員） 3点ばかり質問させていただきます。1点目は、ふるさと会の交流の拡大と推進についてでございます。これは関東方面のことです。もう一つは防災士についての育成と連絡協議会か組織づ

くりについてでございます。もう一つは教育関係についてでございます。教員の多忙化の改善策ということで、お願いいたします。

最初のふるさと会の交流の拡大と促進ということでありますが、これは良川のみうら屋さんの包装紙であります。「ふるさととは遠きにありて思ふもの　そして悲しくうたふもの」「ひとり都のゆふぐれに　ふるさとおもひ涙ぐむ」「遠きみやこにかへらばや　遠きみやこにかへらばや」という、ふるさとというお菓子の包装紙でございます。東京に行くときにはこの菓子を持って行って眺めておるわけでございますが。

ふるさと会は、関西方面では能登互助会、大阪とりや会、良川会、花見月会、一青会という会があって、まとめて大阪とりや互助会となっております。鹿西さんにもいろいろ会があるんですけれども、関東方面、特に東京方面には、東京とりや会は二十数年前に立ち上がったんですけれども、それ以後、拡大していないわけでございます。

そこで、首都圏の在住者、関東方面の方々の親睦を深めるための何か有効策をお考えであるかということであります。

もう一つは、交流手段の一環として、広報なかのとの関東方面の送付数はどれだけかということでもありますし、ふるさと会の結成に向けて事務連絡費を支給できないかということでございます。先般、東京とりや会では3月8日、二十五、六人集まって親睦会を開いたわけでございますが、一步拡大できないわけでございます。これは個人情報保護法があって住所の確認がとれないということでありますので、これを広報で結成のご案内を掲載すれば何人かの方に行き渡ると思うんですけれども、そのようにお考えがあるかどうかお聞かせ願いたいと思います。

それと、初回でいいんですけれども、立ち上がりは大変苦しい場面が往々にあると思うんですけれども、せめて初回だけの結成に向

けた事務連絡費を計上できないかということでございます。

最近、石川県でも平成8年には、いしかわ県人祭in東京ということで2008年からやっておりますし、先般、宝達志水町でも東京ふるさと会ということで結成され、志賀町にも穴水にもそういう結成されております。ふるさと納税とかいろいろと配慮がありますけれども、この間、各町で、イカのとれないときには、ふるさと納税ということで東京から何百万という支援があったわけでございますが、それを目的としておるわけではございませんけれども、できるだけ東京中能登会ということで拡大解釈であるんですけれども、そのような手助けができないかということでございます。

よろしく申し上げます。

○議長（古玉栄治議員）　杉本町長

〔杉本栄蔵町長登壇〕

○杉本栄蔵町長　坂井議員のふるさと会の交流の拡大と推進についてのご質問にお答えをいたします。

首都圏在住者の親睦を深めるための有効策を実施しているかについては、町としては、東京方面で開催されているさまざまなイベントに職員を派遣し、交流を深める活動を行っております。

まず、隔年で開催されております全国町村長会主催の「町イチ！村イチ！」への出店や、毎年開催されている「北陸フォーラム」や「いしかわ県人祭」においてPRブースの設置を行っております。

このことから、町としては、引き続きイベントを通じて首都圏在住者との親睦を深めるとともに、在住者相互の親睦の機会がふえる動機づけとなるよう努めております。

また、首都圏在住者が主催する高校の同窓会等の親睦会には、主催者から依頼があれば町の特産品を提供いたしております。

現在、関東地方において中能登町出身者で

組織されている会については、町で把握しているものでふるさと会に相当する団体が1団体、高校の同窓会が4団体あると認識しております。しかし、東京にある石川県人会事務局に確認をいたしますと、中能登町出身者で組織されるふるさと会に相当する団体の登録はされていないとのことでもあります。

次に、交流手段の一環として、広報なかのとの関東方面への送付数はどれだけかにつきまして、直近に発行された平成30年3月号は、関東地方の1都6県に273件を送付しております。内訳は、多い順に東京都111件、神奈川県51件、千葉県48件、埼玉県46件、茨城県10件、群馬県4件、栃木県3件となっております。

最後に、ふるさと会の結成に向けての事務連絡費等の支援はできないかについては、これまでも既存の会から依頼があれば町の特産品を提供し、会員の皆様方の交流に役立てていただいております。今後も特産品の提供等は継続をしていきたいと考えております。

また、ふるさと会の結成に向けての機運が高まり、設立準備に対しての助言や相談があった場合は、町として協力できることがあれば支援をしてみたいと考えておりますし、私自身も何回か関東のとりや会にも行きましたし、また鹿西の中学校の同窓会であったりいろんな会にも行ってお願いをしておるわけですが、結成には至っていないというのは残念でありますけれども、全体に何回か集まっていたりして、もう少しのところまで来ているのかなと、そう思っております。

そういう中で、結成に向けての費用とかそういうものは、また相談に応じていきながらぜひ関東の中能登町のふるさと会をつくっていきたくて、そんな思いでございます。

○議長（古玉栄治議員） 町田情報推進課長
〔町田穂高情報推進課長登壇〕

○町田穂高情報推進課長 坂井議員の質問に

お答えします。

広報なかのとの会の結成や会員募集の記事を掲載することは可能でございます。現在広報をお送りしている方だけでなく、記事を読まれたご家族やご親戚の方同士で連絡をとり合うことも可能でございますので、記事掲載について一度ご相談いただければと思います。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 坂井議員

○13番（坂井幸雄議員） ありがとうございます。最近、個人情報が大変難しいので、名簿から勝手に引き出されないで、自発的に広報を見て来ていただければいいんじゃないかと。その案内を関東とりや会の人に、どういう文章がいいか案をお示ししますので、登載のほどよろしく願います。

次に行きます。

防災士についてでございます。

ある雑誌では、災害に強いまちづくりということで、2011年3月11日に起きた東日本大震災、死者が1万6,000人、依然として行方不明の人が2,500人の人がおります。この7年間で、昨年九州の豪雨では被害が起き、また一昨年の熊本地震や火山の活動、噴火や台風や豪雪など、数多くの自然災害が起きています。

なぜ我が国に自然災害が多いのでしょうかという文が一面あったので、ちょっとだけ読ませていただきます。

ユーラシア大陸の東、大西洋の西の縁にある南北に細長い地形が日本でございます。また東南アジア系でもありますけれども、豊かな自然に恵まれていると同時に、地震や台風や豪雪や豪雨ということで自然災害が発生しやすい場所らしいです。

国土は世界の陸地面積の全体の0.25%しかありません。世界で発生したマグニチュード6以上の地震の約21%は我が国で起きて、世界全体の災害被害額の18%が占めているらし

いです。自然豊かであるとともに災害も起きているわけですが、厳しい環境にあると思います。災害を抑え込もうとせず、知恵を絞って防災に人的な力を加えて被害を最小限度に少なくすることが防災士の役目だと思います。

日本列島はこのような状態で、台風やら豪雨やら地震やらあるわけですが。特にその件に関して、中能登町は地震についてでございます。これは役場の職員さんにいただいたものですが、邑知潟断層の地図でございます。赤いところは中能登町ごっそりとお入っておりますので、地震に対する対応策ということで、防災の意識ということでお願いしたいと思います。

当町での防災士の育成と組織づくりについてお聞きしたいと思います。2点目は、地域のきずなを深めている地区の役員や自営消防団方に声をかけて防災士になっていただいて地域の安全を確保したいということでございます。

現在、町では防災士が何人ほどおいでるかお聞きしたいと思いますし、県では、防災士さんが28年では4,583人おられますし、目標としては知事は8,000人の防災士を養成するというところでございます。それに合わせて各地域で1人、一応は防災士が配置できるという案であったかと思えます。

その点、町の防災士の数と、それから組織づくりをどのように考えておられるか、お聞きしたいと思います。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

○杉本栄蔵町長 坂井議員の防災士についてのご質問にお答えをいたします。

まず、当町での防災士の育成の促進と組織づくりの進捗状況についてであります。

ご承知のように、防災士とは、日本防災士機構から十分な防災意識と一定の知識、技能の習得を認証された方であり、自助、共助、協働を基本理念として社会のさまざまな場で

防災力を高める活動をされております。

地域の防災力向上のためには、町民一人一人が防災意識と知識を持ち、日ごろから災害に備える姿勢が大切であります。そして、確かな知識、技能を習得した防災士のもと、地域や職場など全体で協働による対策を講じることが必要となります。

また、防災士は自主防災組織のリーダーとなる存在であり、災害によって生じる生命や財産に対する損害を軽減する役割を担うことも期待されております。

このことから、町では、県と連携して防災士の育成を図るため資格取得の支援を行っております。育成講座の受講料については町と県が折半し、また試験料及び認証登録料については町が全額を負担することにより、自己負担がなくなると資格を取得できるよう取り組んでいるところであります。

なお、3月までの防災士の登録人数は地区及び事業所の取得者を合わせて118名となる予定であります。

次に、組織づくりについてでございますが、これまで防災士の方から、資格を取得したが地域でどのように活動してよいかわからない、防災士相互の連携や情報共有を図りたい、スキルアップを図りたい、防災士の組織を設立すればどうかなど、さまざまなご意見をいただいております。

町でも組織の設立は必要であると考えており、これまでに4回の会議を開催し、協議を進めてまいりました。参加された防災士の意見としては、他の地区との意見交換や情報を共有する場、またスキルアップを図る上においても組織化したほうがよいとの意見がある一方、地区の自主防災組織にかかわっていないという意見もありました。

町では、引き続き防災士の意見と自主性を尊重しながら組織の設立に向けて努めてまいりたいと考えております。

次に、地域できずなを深めている地区の役

員や消防団員の方々にも声をかけて防災士になっていただいているかどうかについてであります。

町では、各地区において最低1名以上の防災士の育成を目標に取り組んでおります。これまでも区長さんを通じて防災士の資格取得に意欲のある方の推薦をいただいているところであり、その中には地区の役員や消防団員の方もおいでます。

町では、災害時の対応などを考慮し、幅広い年齢層や多種多様な職種の方から地域のために貢献したいとの強い思いのある方が防災士として活躍されることが望ましいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

今後も町民の皆様の安全、安心の確保をするために、災害に強いまちづくりを目指してより一層防災力の向上に努めてまいります。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） ここで10分間休憩をします。

午後2時29分 休憩

午後2時40分 再開

○議長（古玉栄治議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

坂井議員

○13番（坂井幸雄議員） 防災の関係から一つだけお願いしたいと思います。

先ほどのお話でありましたが、鹿西庁舎は耐震が危ない。鹿島庁舎が耐震が危ない。鳥屋庁舎は耐震はオーケーということでございますので、いつ災害が起こってくるかわかりませんので、一つの案でございますが、鹿西庁舎の方々には鹿西中学校の1階ぐらい、鹿島庁舎の方はラピアの1階ぐらいを使って、しばらく退避できるような体制も必要じゃなかろうかと思うのであります。これは庁舎統合という面ではありませんけれども、防災の面からそのような策も一つあるのではなかろうかという思いであります。

ただ、先ほど野中広務さんの話もございましたけれども、一極集中であるんですけれども、田中角栄さんも日本列島改造論ということで地域に新幹線を走らせて国土全体をできるだけ豊かにしようという案もありますので、それは別の話でございますが、そういう案もありますので、防災の面からはその案は通用しないかもしれませんが、また考えの片隅にでも置いていただければいいのではなかろうかと思えます。

その次に進みます。

教育関係でございますが、きのう高校の合格発表があったと思うんですけれども、その進路状況について学校別にお聞かせ願いたいと思います。

その次は、教職員の多忙化改善策ということでありますが、これは3番目の学校の部活動における休養日の運営に関するということと絡み合いますので、あわせて国や県や町の方針をお聞かせ願いたいと思います。

○議長（古玉栄治議員） 袋井教育長

〔袋井貞司教育長登壇〕

○袋井貞司教育長 坂井議員の教育関係についてのご質問にお答えします。

まず、中能登中学校の卒業生の進路状況につきましても、まだ仮入学を終えていませんので正式には進学先は決定していませんが、学校別の合格者数及び進学希望者数を報告いたします。

今年度も県外も含めて幅広いエリアの高校を受験し、進学を希望しています。県外では、奈良県の高田商業高校に1名、東京都の文化学園大学杉並高校に1名それぞれ合格し、進学を希望しています。県内の私立高校では、日本航空高校石川に4名合格し、全員が進学を希望しています。鵬学園高校には106名が合格し、20名が進学を希望しています。星稜高校には20名が合格し、4名が進学を希望しています。金沢学院高校には15名が合格し、6名が進学を希望しています。遊学

館高校には2名合格し、2名とも進学を希望しています。

国公立高校については、学校ごとの合格者数を報告します。能登高校2名、田鶴浜高校9名、七尾高校31名、七尾東雲高校29名、鹿西高校20名、志賀高校4名、宝達高校3名、羽咋高校16名、羽咋工業高校19名、津幡高校4名、金沢辰巳丘高校1名、金大附属高校2名、石川工業高等専門学校4名です。

次に、教職員の多忙化改善策につきましては、来年度から町内の小中学校で実施する主な取り組みを報告します。

1点目は、タイムレコーダーの導入です。教職員の勤務時間をできる限り正確に把握したいと思います。

2点目は、留守番電話の導入です。平日、小学校は午後7時、中学校は午後8時ごろをめぐりに留守番電話に切りかえ、翌朝の7時20分から通常の電話に戻します。緊急時には、管理職の自宅または携帯に連絡を入れてもらいます。

3点目は、土曜授業の廃止です。ただし、学校によっては土曜日にPTA行事等を開催することはあります。また、運動会等の学校行事が開催される場合は必ず振りかえ休日にとられます。

4点目は、リフレッシュウイークと学校閉庁日の設定です。夏季休業中に旧盆を含む1週間、来年度は8月11日から8月17日になります、をリフレッシュウイークとし、連続する3日間、来年度は8月14日から8月16日を学校閉庁日とします。ウイーク期間中は、教職員の会議や研修会等を設定しません。また、学校閉庁日には部活動は実施しません。教職員には積極的に夏季休暇や有給休暇をとってもらいます。

5点目は、最終退校時刻の設定です。町内の小中学校では、平日の最終退校時刻の目標を午後8時とし、業務終了時刻を意識して業務を進めてもらいます。さらに、学校ごとに

月1回の定時退校日を設定してもらいます。部活動についてはこの後お話ししますが、そのほか集金の口座振込や校務支援員の配置等が挙げられます。

教職員の多忙化改善については、教職員自身の意識改革だけではなく、保護者や地域の方々の理解や協力が必要です。各学校では、県教育員会で作成するリーフレットをPTA総会等の際に配布し、現状や改善策を説明する予定です。

次に、部活動における休養日等の運営方針について報告します。

国の方針については、スポーツ庁が平成30年2月23日の第7回「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」においてガイドライン（案）を公表しています。県の方針はそれに準じていますので、あわせて報告します。

部活動の休養日は、中学校で週2日以上とし、平日1日と土曜日または日曜日としています。大会等で土曜日も日曜日も休養日を設定できない場合は、学校長の承認を得て翌週の平日に休養日を設けることとなります。なお、土曜日または日曜日及び祝日、振替休日を含めた休養日は、年間52日以上設定しなければなりません。ただし、中体連主催の大会に出場した際に土曜日、日曜日の両日に活動した場合については、年間で設定すべき52日以上の日数から減ずることが認められます。その他、夏休みなど長期休業中は、まとまった長期の休養期間、オフシーズンを設けることとなります。以上が県の方針です。

町の方針は、県の方針のとおりです。

部活動の休養日については、生徒が余暇を善用するように学校だけではなく家庭や地域が連携して取り組んでいく必要があります。具体策については、今後検討していきたいと思えます。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 坂井議員

○13番（坂井幸雄議員） 1点目の文武両道の卒業生の進路状況ですが、自分の希望に向けたあらゆる学校へ行ってもらえることは大変いいことだと思います。無限の可能性ある生徒の進学でありますので、大いに見守ってやっていきたいと思います。

それと、多忙化の改善策やら休養日は改革のときは大変障害があるかと思うんですけども、それを乗り越えてやっていただきたいと思います。

これで終わります。

○議長（古玉栄治議員） 次に、4番 中川秀平議員

〔4番（中川秀平議員）登壇〕

○4番（中川秀平議員） それでは、質問させていただきます。

ことしの1月、2月と、とつてもびっくりするほどの雪が降りました。学校の生徒さんたち、バスのおくれ、道路の凍結、車の水がばしゃばしゃというふうな大変な苦労をしながら一生懸命学校に通っている小さな子らをたくさん見かけました。これまでも雪は多かったときもあるし、冬はそんなもんだというふうに思っていましたけれども、例えば鹿島小学校、小さな1年生が長靴を履いてとことこと歩いている姿というのは、これはもっと何かせないかんというふうに何回も思いました。

あの期間の中でも、地元の方々が雪どかしをしたけれども、すぐその晩積もって次の日はもとのもくあみだということが何回もありました。きっと教育長を初め生徒たちがきちんと学校に行けるかどうかというのは、随分気をもんだり、こんなことをしよう、あんなことをしよう、これがだめだ、あれがだめだというのがたくさんあったと思います。

今回の雪は、来年からはもう来ないということはありません。今までこんな雪がなかったから来年はありませんということもありません。今回こんなことがあって迷惑をかけ

た、本当はこうしなければいけなかったということが幾つもあると思います。これから同じようなことが起きる、あるいはそれを類推すればもっとこんなことがあるかもわからないということで、いろいろな対策を準備するというのが大事だと思います。

そういう意味で、今回の豪雪の影響、それに対してどういうことがうまくいったのか、うまくいかなかったのか、これから新しくすることはないのかということで、どうしたのかというのを聞きます。

○議長（古玉栄治議員） 袋井教育長

〔袋井貞司教育長登壇〕

○袋井貞司教育長 中川議員の豪雪による小中学校登下校の混乱についてのご質問にお答えします。

まず1点目の小学生のバス通学時におけるバスの不通や遅延に対して配慮が必要と思うが今後の対策を聞くについてですが、ことしは例年以上に大雪や寒い日が続き、2月6日と7日には小中学校が臨時休校する事態となり、保護者の皆様には児童生徒の通学についてご心配をおかけしたかと思えます。

さて、議員ご指摘のとおり、今回、大雪による路線バスの遅延により登校時に混乱がありました。特に小学生のバス通学について配慮が必要でないかということですが、大雪などの天候は自然のことなのでいたし方ないのかもしれませんが、今後もし鹿島小学校の登下校時に路線バスの不通や遅延が発生した場合、北鉄能登バスからの不通や遅延の情報を学校からいち早く保護者に情報が届くようにしなければなりません。そのためには、北鉄能登バスと学校、学校と保護者間の連携を密にして、その連絡網の構築が重要だと思います。

路線バスを利用していない鳥屋小学校や鹿西小学校のスクールバスについても同様であります。

現在、各学校には、学校から保護者への連

絡手段として携帯電話での連絡網メールがあります。緊急時には、学校から校区内の家庭に音声告知端末で放送することも可能です。これらの手段を活用して、いち早く情報が伝わるようになっていきたいと思います。実際、先月の臨時休校の際には、携帯電話での一斉メールと音声告知端末で情報を流しております。

また、教職員だけの対応では限界がありますので、保護者やPTA、地域の方々の連携や協力が必要ではないかと思っています。

次に、2点目のバスの不通や遅延時にバス停に待っている児童に対して地域の人たちの協力が不可欠と思うが対応はどうかについてですが、前回の大雪での混乱や昨年何回かのバスの欠便や遅延を受け、鹿島小学校では、昨年度から各バス停に緊急時の連絡協力者を例えばPTA役員や地区委員、バス停に近い保護者の方に協力依頼を出してお願いしております。何かあったときにはメールや電話で連絡をとり、バス停で待っている児童に連絡をしていただくような体制をとっております。

ただ、毎日バス停に立っていただく見守り隊のようなことは、やはり地域の人たちの協力ができないかと思っています。

県の教育委員会では、来年度から地域と学校の新たな連携体制構築モデル事業を県内3市町で実施する予定です。今回、当町は指定されませんでした。この事業は、地域の方々に学校の多忙化の現状を理解していただき、地域と学校の役割分担を見直しして地域住民の参画による地域と学校の連携、協働を促進する事業であり、町の教育委員会が中心となり学校と地域の話し合いの場を設置し、役割分担を点検、見直しし地域による学校支援の再構築を図るなど、地域と学校との橋渡しをする役割を担います。

この事業のような学校のニーズに応じた地域住民による支援活動ができるようになれ

ば、例えば見守り隊のような協力もお願いできるのではないかと思います。今後、このモデル事業についても注視していき、参考にしていきたいと思っています。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 中川議員

○4番（中川秀平議員） 教育長のこれからやるという、もともと地域と学校とはバスの乗りおりで連携はしているという話も今回初めて聞きました。いつも見れるわけではないというのは十分わかるんですが、小さな子がぽつんと、例えば水白だとか小さなバス停で凍えながら来ないバスを待っているということがこれからはないように、今のおっしゃられたそういうことが始まるということをしっかり続けていってほしいと思います。

今のような突発的なことというのは、多分これからはあるかもしれないし、ないかもしれない。ただ、一旦起こったことを次もとうまく処理できるということはできると思います。ぜひ今回の大変なことを次につなげて、去年はそうだったけれども、ことしはこんなやり方をやるから大丈夫だよというふうになることを願っております。

今の教育長のお話、しっかり心にとめて、そのとおりに進んでいるかを見守っていききたいと思います。

それで最初の質問を終わります。

次の質問です。

ここにヘルプマークというマークがあります。助けてというような意味を持っています。このヘルプマーク、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、このマークが全国共通、JISの案内表示に指定されました。この意味は、助けてください。私は困っています。手を貸してくださいという意味です。これをぜひ中能登町の皆さんに知ってもらって、中能登町に来た人は困ったことがあればこのヘルプマークを掲げれば、身近な人が、近くにいる人がすぐ駆け寄って、どう

かなさいましたか、お手伝いできますかというふうに言えるような町にしたいと思いません。

このヘルプカード、カードもありますし、マークはマークなんですけれども、ヘルプカードとヘルプマークと、よくわからないんですけれども、そういうことがありますので、ぜひ進めていってほしいと思います。

現在は、石川県はまだヘルプカード、マークというのは認定してないというふうな話もありますけれども、東京都がヘルプカード、ヘルプマークを次の東京オリンピックまでに全てのところに行き渡らせるというふうに言っています。中能登町でそんなに助けてもらわなくてはいけない人がいろんなところにたくさんいらっしゃるとは思いませんけれども、中能登町の住民はヘルプカードというのを知っている、ヘルプカードを持っている人を見つけたら、自分から行ってお手伝いできますかと言えるような中能登町の人が、中能登町内だけではなくて、中能登町はそういうのでやっているのだから、全く臆することなく、できることしかできないんですけれども、お手伝いしますからぜひ来てくださいというふうになってほしいと思います。

このヘルプカードの推進について、町の考え方、やり方をお聞きします。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

○杉本栄蔵町長 中川議員のヘルプマークを積極的に導入してはいかがかのご質問にお答えをいたします。

ご指摘のとおり、ヘルプマークとは、援助や配慮を必要としていることが外見ではわからない人々が周りに配慮が必要なことを知らせることで援助を得やすくなるよう作成されたマークで、中川議員が示していたように、赤の下地に白い十字とハートの絵が描かれており、町なかでも目立つものとなっております。

（資料提示）大きさはこれくらいでござい

まして、これがカードです。そして、今見ていただいたこれだけが、中川議員が示していたのはマークということでございます。

平成24年に東京都が作成し、著作権は東京都に帰属し、商標登録もされております。使用用途としましては、配慮が必要な方が身に着けたり、公共交通機関の優先席に標示されております。

中能登町においては、東京都に使用許可を得た上で、今年度作成予定のヘルプカードの表面にこのマークを標示することとしております。

こうした障害者や高齢者、妊婦などの配慮が必要な方々に、電車やバス等での座席譲りや災害時での優先的な避難誘導など、安心して生活が送られるよう地域全体で思いやりと配慮をするヘルプマークの活用は、大変有意義なものと感じております。

2020年の東京オリンピックやパラリンピック開催に向けて東京都が全国に先駆けて考案されたこのヘルプマークは、既に全国的に取り組みが広がりつつありますが、残念ながら石川県ではまだ取り組みが始まっておりません。障害攻略課を立ち上げました中能登町といたしましては、今年度中に作成いたしましたヘルプカードとともに、今後、ヘルプマークの有効な活用手段を検討して石川県や近隣自治体とともに推進を図りたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 中川議員

○4番（中川秀平議員） 力強いお言葉、ありがとうございます。

ただ、私が危惧するのは、本当に実際、中能登町にこのカードをつけて助けてくださいという人たちがたくさん来るということはないと思います。たまに例えばお滝さんで見かける、たまにどこどこで見かけるというふうな程度だと思います。

それで済ませていますと、一回ヘルプマー

ク、これはいいことだなというふうに思った人も、すぐ忘れるということがあると思います。実際のヘルプマークを見て助ける人をふやすというよりは、ヘルプマークをどんどん知ってもらって、中能登町では普通歩いてもそんな人はいないだけけれども、もし見つけたらお手伝いしましょうかと言えるような、ヘルプマークを覚えることで助けてもらいたい人をきっちりつかまえるというのは、ヘルプマークを推進するというよりは、困っている人は助けましょうということをどんどんもっともっと発信して、こんな人を見つけたら助けてくださいというのを町を挙げて進める。お滝さんへ行ったら、誰かがヘルプマークを持っていたら滝つぼまで案内してくれる。町を歩いていたら、例えば認知症の方が歩いていてヘルプマークをつけていたら、お困りですかとちゃんと声かけれる。中能登町の人たちがヘルプマークを知っていることでその人を助けるというのを広げていかななくてはだめだと思います。

それは、今の議会で発言して進むのではなくて、町の関係者が事あるごとにヘルプマークを知って、普通の人に知らせていくことが一番大切だと思います。

最後ですが、このヘルプマーク、町としてきっちり知る人をふやすために、こういうことをやりたい、やらなくてはいけないというふうな言葉をいただきたいと思います。どうでしょうか。

○議長（古玉栄治議員） 加賀参事兼福祉課長

〔加賀忠夫参事兼住民福祉課長登壇〕

○加賀忠夫参事兼住民福祉課長 ただいまの中川議員からのご質問で、町が率先して取り組むような体制と、地域の方々がそれを見てお手助けができる配慮をしていただけるような地域づくりが大切だということであると思います。

まずは先ほど少し杉本町長並びに中川議員

も説明されましたが、ヘルプマークとヘルプカードの認識が合わさって間違いやすいので、もう一度ご説明させていただきます。

先ほどお見せになりましたヘルプマーク、これは東京都が商標登録ということで、昨年7月20日にJ I S規格の案内用図記号としまして登録されております。これは東京都が発案されたものであります。

それから、東京都がそれを用いまして、この大きさは名刺サイズでの樹脂製のタグをつくられております。かばんとか衣服に張りつけて物品を作成しまして、東京都が都営地下鉄で既に17万個を無料配布されております。この裏面には病気の症状とか緊急時の対応の記入シールの張りつけも可能となっております。これは東京都が行っているものです。

それから、ヘルプカードというものは、先ほどうちの町長が示しましたが、大きさサイズ的にはこういう形のサイズで（資料提示）、ちょっと大きくすると、町ではこういうものを考案しております。町長の説明があったように、このマークを入れることに対しては東京都の許認可が必要です。インターネットで都のホームページを開いた中で、東京都がこういったものの使用許可をすることを出してしまっていて、町なり使用者のほうを申請しますと、都が審査をされまして、むやみな使い方じゃないということであれば許可をいただくということで、さっきご説明もさせていただきましたが、中能登町がつくるヘルプカードは東京都の既に許可を得て、3月中にこれを野々市にございますサニーメイト、そういった障害のところの施設の印刷のところをお願いして1,000部つくる予定にしております。

1,000部の根拠は、町で障害者が大体1,000人弱おいでるということで、どうやった普及をするかといいますと、障害者手帳更新時とかそういったときに窓口へおいでたときに、このヘルプカードを配布したいなと思ってお

ります。

ただ、このヘルプカードは簡単なもので、これはちょっと大きいんですけども、これが名刺サイズになるわけですが、開きますと普通ならA4判です。これはA3判、大きいんです。これを町で印刷するんですけども、4月以降に町のホームページにもこれを載せまして、ダウンロードしていただければ自由に使えるということをしてしたいと思います。

切りまして折り畳みをしますとこういったカードになりまして、中には電話番号やら診療の主治医の先生の名前とか病気の名前とか、そういったものが入ってまして、これは張りつけるわけにいかないの、個人情報があるのでこれをお持ちいただく。ただ、これは紙なので、中に入れるようなこういったケースはご自前をお願いをしたいということで、町は率先して取り組む予定です。

新聞にでも報道がありましたように、能美市のほうでも平成30年度からこのヘルプマークとヘルプカードを発行の検討をされているということで、中能登町でも早期に、県内では早いほうでこれから取り組む予定になっています。

もう1点、石川県肢体不自由児協会というところがございます、こういうカードを以前から発行しています。ヘルプマークという形は、平仮名じゃなくてHEL Pというローマ字でカードをつくられてまして、これは障害のある人が何かあったときに助けてくださいというカードで、これは全国で石川県が先駆けてつくられたそうであります。

それも、ここにもマークございますが、これも3月に東京都に申請をされて、今までこのマークは入ってなかったんですけども、そういったものを今後入れて障害者の方へ広く周知をして使っていただく形になります。

HEL Pの名前は、肢体不自由児協会さんですけども、HはHandicap、EがEnjoy、

LがLife、PがPeopleといいまして、人々をハンディがあっても楽しく生きてほしいということで応援をされている形で石川県の協会のほうはつくられております。

そういったことで、町で作成しますものを障害者の手帳とかの受付時に配布したいと思いますし、中川議員の質問にもあったように、公の施設、バスと交通機関を考えたんですけども、電車ではいろんな方面から乗車される関係上、まだ認識はないかな。それからコミュニティバスも優先席どうぞといったら、あいているところへ座っていただく可能性が多いので、公の公共機関にそういったマークを活用して、ヘルプカードを配っていますよ、助けてあげてください、そういう形を広めていきたいと思っておりますし、カード自体は登録もしないのでご自由に皆さんが持って、それを身につけて、さっき言われたそういうカードを持っていることに対して住民の方がそういうものであるという周知を我々のほうもホームページ並びに広報とか庁舎とか、いろんな学習施設とかというところに張り紙とかそういったPRをしていきたいと考えております。

以上であります。

○議長（古玉栄治議員） 中川議員

○4番（中川秀平議員） ヘルプカード、ぜひ広めていただきたいと思います。

特にカードというようなきちとした目印があつて初めて、あの人は困っているんだというのがわかります。逆に、その人も助けてくださいというのをかけやすくなります。何かあの人、大層そうだけど大丈夫かなというのじゃなくて、きちとした形になる、見えるもので助けてください。あの人が助けてくださいと言っているから助けなくちゃいけないというサイクルが町の中で当たり前に回るようになることを期待いたしまして、私の質問を終わります。

ぜひこれからも続けてください。

○議長（古玉栄治議員） 次に、3番 林真弥議員

〔3番（林 真弥議員）登壇〕

○3番（林 真弥議員） それでは、本日の一般質問の最終の質問者であります。

早速ですが通告に従って質問に入りたいと思いますが、その前に、質問に入ります前に教育長に1点だけ申し上げたいと思います。これは質問ではありませんので安心して聞いてください。

先ほど来からことしの冬の大雪についての質問も出ておりましたが、ことしの1月、2月の北陸地方はかなりの積雪量となりました。中能登町でも大変な大雪であったわけですが、私は、大雪だったんですが豪雪とまでは行かないのかなというふうに考えております。

そんな雪でしたけれども、小中学校、それから高校も先ほど教育長のほうからありました。2日間ですか休校にもなりましたし、お隣の福井県福井市周辺では積雪量が150センチに迫り、1週間余り休校となったところもあつたと聞いております。

そんなことしの冬でしたが、私の世代、私の世代というのが正しい言い方なのかちょっとわからないんですが、私たちの世代では少し首をかしげたくくなるような光景を目にし、今回それが特に気になったのでそれを申し上げます。

それは何かといいますと、あれだけの雪の中でも特に中学生、高校生は長靴を履いていないということです。長靴履いてませんよ。よく見ていると、小学生は大体着用しているようですが、中学生、高校生になると、ゼロではないんですがほとんど見ることはありませんでした。

このことは私は以前から気になっていて、原因としては何なのかなと考えたときに、近年の暖冬による少雪傾向であつたり社会のグローバル化というのも考えられるかなと思う

んですが、それにしてもなという思いもあります。

膝上からもっと雪があるのに、例えばスニーカーであつたりスポーツシューズであつたり革靴であつたり、大雪のそんな中をそういう履物で歩くというのはどうなのでしょう。ちょっと私には納得いかないんですけども。私に言わせれば、マラソン大会を革靴やサンダルで走るみたいなもんですよ。北陸で生まれ育った人間の文化観念としては非常に寂しいと私は思うのですが、教育長はどのように見ておいでますか。

以前というか3年ぐらい前ですかね、東北の豪雨災害の現地視察に長靴を持たずに行き大恥をかいた副大臣だか政務官だか……。

○議長（古玉栄治議員） 林議員、質問と全く外れているので、その辺短く。全くかけ離れた質問です。

○3番（林 真弥議員） わかりました。

それでは1点目の質問に入ります。

1点目、ふるさと納税の今後の方向性について3点でお尋ねをいたしますが、その前に、そもそもふるさと納税制度というのは何だろう、何ぞやということに触れたいと思います。

スタート当初の趣旨としては、生まれ育つたふるさとを離れて暮らす方々がふるさとを思い、ふるさとのために何か力になりたいとの熱い思いを持って、大切なお金を自分のふるさとに寄附することだったと私は認識しております。その行為については、同時に納税面での優遇措置というのものもあるわけですが、その原点が大きく崩れてしまい、生まれ故郷への思いもどこへ行ったのか、全国的に豪華返礼品競争に走ってしまい、お金を集めることだけが目的となり、一番大切なことを忘れていたのが近年のふるさと納税だったと私は感じております。

幸いにも、それを見かねた総務省が過熱状況にストップをかけ、豪華返礼品競争のブー

ムは一段落した感がありますが、それらの経緯を踏まえて、1点目、返礼品の内容ともあわせて町のふるさと納税の現状を聞きたいと思いをします。

2点目ですが、今後の町のふるさと納税に対する考え方、方向性をお伺いしたいと思います。

3点目、豪華返礼品競争の分がちょっと静かになったんですけれども、最近、全国の自治体の中で使途を、使い道の一つに定めたふるさと納税というのが少しずつ出てきております。使途を1点に定めたふるさと納税に町として何かこういうものに取り組みたいというのがもしあるのであれば、ご答弁願いたいと思いをします。

この3点です。

○議長（古玉栄治議員） 杉本町長

〔杉本栄蔵町長登壇〕

○杉本栄蔵町長 ふるさと納税の今後の方向性についてのご質問にお答えをいたします。

まず、返礼品の内容とあわせて町のふるさと納税の現状についてお答えをいたします。

中能登町では、平成20年度からふるさと応援寄附の制度を導入し、今年度で10年目となります。ことし2月10日時点で、これまでに延べ340件、総額でおよそ2,700万円のご寄附をいただき、基金として積み立てをしているほか、中能登中学校の備品購入や健康福祉、妊婦体験セットなど、中能登町の施策の実現のため有効に使わせていただいております。

さらに、平成27年度からは返礼品制度を導入し、寄附金額の2割相当分を中能登町自慢の地酒や伝統の織物、能登上布の小物など、町の特産品等がふんだんに盛り込まれたおよそ40種類の返礼品を用意し、この中から納税者にお選びをいただいております。

また、ことし3月には、能登上布の機織り体験や能登繊維振興協会によるタペストリー製作、「道の駅」織姫の里なかのとのお食事券の提供など、単に返礼品を受け取るだけで

はなく、中能登町に訪れる動機づけとなるよう体験プログラムや食事といった記憶や記念に残るものを新たに返礼品として加えました。

次に、今後の方向性についてお答えをいたします。

ふるさと納税をいただきました皆様方に対しては、引き続き中能登町ファンとして応援をしていただくために、町の施策にどのように生かされているかをお知らせしていく必要があります。

あわせて、一人でも多くの皆様方にふるさと中能登町の魅力を発信するために、これまで以上に返礼品の種類をふやすとともに、中能登町産にこだわった返礼品を広く募集をしたいと考えております。

次に、使途を定めたふるさと納税への取り組みについてお答えをいたします。

納付いただいたふるさと納税の使途については、現在、町総合計画の将来像に基づき、にぎわいと活力あるまちづくり、健康でいきいきと暮らせるまちづくり、地域の風土を活かしたまちづくり、強い絆を育むまちづくり、学びを支えるまちづくりのほか、町政一般の活用の6つの使途をお示しし、納税をされる際に納税者の方に一つお選びいただいております。

なお、せっかくご寄附をいただいたふるさと納税の使途については、今後、具体的に思い描くことができるよう、例えば能登上布の伝承費用や町祭の開催費用、トレイルラン大会の開催費用などの活用策等をわかりやすくお示しし、納税者の意向が生かせるような仕組みづくりも検討していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（古玉栄治議員） 林議員

○3番（林 真弥議員） 町のふるさと納税の現状について、町長からいろいろご説明いただきました。

私、先ほども言いましたけれども、全国的

に豪華返礼品というのが過熱したときに、でも中能登町とすれば町が豪華返礼品の競争に加わらなかったということは、私は個人的には評価したいなど、そう思っています。私は、ああいう豪華返礼品競争は多分一過性だろうな、ブームで終わるんだろうなというような思いでいたものですから、町の姿勢に対してはすごく評価をしたいと思います。

先ほどの用途を定めたふるさと納税というお話をさせていただいたんですけれども、今ほど町長のほうから幾つかの案というか候補として挙がっておりましたが、県内で見ると能登町が、あそこはイカ釣り船団が基幹産業でありますけれども、皆さんご存じのとおり日本海での外国船籍の不法操業によって能登町のイカ釣り船団は大きな被害を受けております。その大きな被害を受けたイカ釣り船団に特化したふるさと納税を行うというふうに新聞にも出ておりました。

それと、これは他県なんですけれども、群馬県のみなかみ町というところがありますけれども、ここの観光の目玉としてSLを展示してあるそうなんです。その展示されているSLがかなり風、雨、雪で劣化というんですか汚れてきて、観光の目玉としては少し修繕しなければいけないなど、そんな状況になったそうなんです。その修繕の費用をふるさと納税で行った。その記事を見たものですから、私、みなかみ町の担当課へ電話して聞いたんです。そうしたら、あっという間に集まったと。町出身者の方のみならず、SLファンの方もたくさんご寄附いただいたというふうな話をされておりました。

用途を定めたふるさと納税ということで、私から一つ提案を申し上げたいと思います。昨年12月に中学生議会をさせていただきました。たくさんの中学生在が傍聴席にも来ていただきましたし、こういう一般質問の形式で何人かの中学生にもこの質問台に立っていただきました。

その中の一つで、中学生が提案した一つに、ふるさと恩返し奨学金というのがありました。ふるさと恩返し奨学金ですけれども、詳しく説明すると長くなるんですけれども、簡単に言いますと、この町に生まれて中学生、高校生の間、町にいろんな形でボランティア活動をする。学業の合間を見てボランティア活動をする。そういうボランティア活動を熱心にした生徒たちで大学進学したい、専門学校へ進学したい。その子たちが将来学校を卒業したら、また地元へ帰ってきて学んだこととか得た資格とかを生かして町で頑張りたい。そういう人生ビジョンがある生徒に、町としてふるさと恩返し奨学金という名前で奨学金を出してもらえないかと。そういう提案だったと思います。

すごくいい提案だなと思ったんですけれども、当然、財源が必要になってきますので、それをふるさと納税に求めればどうかなという提案をさせていただきたいなと思います。

あの質問をしたのは女の子でしたけれども、ちょっと後から話を聞いたんですけれども、かなり真剣な思いであったなという、その真剣さが伝わってきましたので、ぜひ、ふるさと恩返し奨学金という名前じゃなくてもいいんですけれども、それに類似した奨学金制度の財源をふるさと納税に求めればどうかなという思いがあるんですけれども、町長、いかがでしょうか。

○議長（古玉栄治議員） 高名企画課長

〔高名雅弘企画課長登壇〕

○高名雅弘企画課長 林議員の質問にお答えいたします。

昨年12月に開催されました中能登町子ども議会におきまして、質問に立った中能登中学校の生徒から、ふるさと納税を活用したふるさと恩返し奨学金制度の創設の提案がありました。この提案は、生徒みずからが将来、自分たちが生まれ育った中能登町に恩返しをしようとする郷土愛の強い思いがあらわれたす

ばらしい提案だと考えております。

今回、この提案を実現するための取り組みについてのご質問ですが、制度設計に当たり、次の観点で検討を要すると考えております。

まずは、ふるさと納税を財源としたふるさと恩返し奨学金について、ふるさと納税の金額が十分に確保できるのか。財源が賄われなくても制度を導入するのか。金額や期間、対象などはどのように定めるかなど、より具体的な検討や想定をすることとなります。

したがいまして、この提案につきましては今後の研究課題とさせていただきますので、ご理解をお願いいたします。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 林議員

○3番（林 真弥議員） 今ほどの課長のご答弁を聞きまして、いい提案だったなという思いの中でも、すごくいろんな課題があるという、そんなお話であったわけですけれども、確かに課長のおっしゃるとおり、提案とすればすごくおもしろいなという思いがあるんですけれども、じゃ実際それを実現できるかいうと、今課長がおっしゃったようにいろんな課題がありますので、一遍にすぐできるものではないとは思いますが、端からできないじゃなくて実現に向けて、少し時間はかかってもそれに向けた取り組みに取り組んでいただきたいなと私は思います。

ふるさと納税という制度を使って、他の自治体には独自の発想で若者たちに夢を与える取り組みに期待したいと思います。

では、この質問はこれで終わります。

2点目です。

2点目ですけれども、中能登町の文化協会の活動全般についてお尋ねをいたします。

町長は以前、詩吟の会に所属されていたと思うんですけれども、最近、詩吟のほうはいかがですか。なかなか忙しくて練習できないということですね。

私も山の会というところに所属しておりますが、山の会ですから山登りをしているわけなんです、山の会なんです、なぜかあそこは体育協会ではなく文化協会となっております。

私の所属している文化協会の山の会ですが、現在、会員は25名、最高齢は78歳。私と妻は夫婦で入っております、入会して8年ぐらいたちましたかね。うちの妻が最年少となっております。できれば20代の方、30代の方、40代の方の入会を望んではいませんが、今のところそういう若い世代の入会が実現していないのが現状であります。

教育長は何か文化的な趣味というのはございますでしょうか。

教育長、私、以前に文化協会の役員の方と少しお話をすることがありまして、そのときにいろいろと協会全体の悩みとか課題をお聞きし、それが今回の質問となっているわけですが、その悩みや課題の内容を踏まえて2点でお尋ねします。

1点目ですが、現在の中能登町文化協会の活動全般について町の見解を聞きたいと思っております。

2点目、会員の高齢化や会員数の減少傾向などの課題を聞きますが、町として何か対策を考えていらっしゃるかどうか。

この2点でお聞きしたいと思っております。

○議長（古玉栄治議員） 袋井教育長

〔袋井貞司教育長登壇〕

○袋井貞司教育長 林議員の中能登町文化協会の活動全般についてのご質問にお答えいたします。

まず1点目の現在の文化協会の活動全般について町の見解を聞くについてであります。まず文化協会の主な活動としては、文化まつりや芸能発表といった事業の運営、中能登町文化だよりの発刊、文化協会功労者の表彰等を毎年行っております。

また、加盟団体の皆様には、文化、芸術活

動に日々努められ、町の関連行事や施設などへの慰問、ボランティア活動、県庁ロビーコンサートなどにも積極的に参加されており、町民憲章の一節にあります「生涯にわたり学び合い、文化の香り高いまちをつくります」を実践されていると認識しております。

次に、2点目の会員の高齢化や会員数の減少傾向などの課題を聞くが町としての対策はについてであります。平成29年度における加盟団体は89団体であり、会員数が1,122名と年々減少ぎみであることは私も承知しております。特に高齢化による退会が目立ってきており、各単位団体とも会員数の確保が最大の課題であると思います。

そうした中、文化協会が全戸配布されている「文化だより」の紙面で積極的にPRされておりますし、中には公共施設の各所に会員募集のポスターを張り会員の加入促進に努められている団体も見受けられます。

このように各単位団体の自助努力で物事を解決していただきたいというのが町のスタンスであります。町が協力できることとしては、例えば生涯学習講座に各団体の事業を取り入れることが考えられ、受講者に興味を持ってもらうことで会員の若返りが図られるのではないかと考えております。

また、加盟団体数の増加促進については、協会加入のメリットである生涯学習施設の利用率免除や町有バスが利用できるといったことを広く周知することも効果的だと思います。

親睦と融和を大切にされた団体活動の魅力を感じていただくためにも、今後も文化協会並びに各単位団体からの要望にはできるだけ応えられるようにしてまいりますので、ご理解のほどをよろしく願いいたします。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 林議員

○3番（林 真弥議員） 今ほど教育長のほうから生涯学習講座のほうにいろいろ活動を

組み入れていきたいというふうなご答弁だったと思うんですけども、単位団体が89団体あるということで、いろんな活動がありますけれども、生涯学習講座というのは年間何回ですかね、回数も限られていると思うんですね。各団体の中で、じゃやりますというところもあれば、そうじゃないところもあるかもしれないんですけども、その辺どういう分野、こういう分野、こういう分野といろんな分野ありますけれども、生涯学習講座へどうやっていろんな団体から募集しますか。どうやって募集しますか。

○議長（古玉栄治議員） 正谷生涯学習課長〔正谷 智生涯学習課長登壇〕

○正谷 智生涯学習課長 ただいまの林議員のご質問にお答えいたします。

文化協会自体は89団体、1,122名で、1団体で十数人でありまして、部門としては文化、美術とか8部門がございます。その中から一つのを生涯学習講座というところとあれですし、いろんな団体とか流儀とかございますので、その辺はまた文化協会のほうと相談しながら決めたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（古玉栄治議員） 林議員

○3番（林 真弥議員） 先ほど私がお話ししました私が所属しています山の会ですけれども、この会もずっと新しい団員が入ってこなかったというのがありまして、だんだん平均年齢が上がっていきました。団員確保のために何か策はないかなというふうに会のほうで話し合った結果、4年前、生涯学習課のほうへお願いしまして、中能登町の山の会が協力をするというので生涯学習講座に白山登山というのをさせていただきました。平成27年度、28年度と2回させていただきました。27年度は大人数だったんですけども50名余りが参加していただきました。28年度は、ちょっと50名が大変だったので半分ほ

ど、20だったか25だったかにして行ったんですけれども、どちらも参加者は定員どおりになりました。その町民登山をきっかけに、町民登山へ行かれた方の中から五、六人、山の会へ入会していただきました。

そういう経緯がありまして、生涯学習講座というのは私は会員確保にはすごく有効だなと。私の体験からはそんなふう感じております。生涯学習講座だけではなくて、もっと入りやすいというんですか、もっと興味を抱くような文化協会活動になってくれればなと思います。

若い方の入会を望むという話をしましたが、実際20代、30代、40代という年齢の方は、仕事もあり、結婚、子育てがいろいろ忙しい年齢のときであります。それに加えて近年の余暇の過ごし方というんですかね、自分の趣味のやり方というのが団体行動よりも個人、数人での活動というのがふえてきているように思うんです。そういう団体に加盟するというのが少し遠のいてきているような感じもあります。

そんなことを考えると、一番入会しやすい年齢というのは、やはり仕事を定年になられたというか、仕事の時間にも余裕ができて、子供の手も離れて少し時間ができた。じゃ自分の趣味をやろう。そんな年齢の方が一番入ってきやすいんだろうなと、そう思います。

どんなふうになんな方々にアピールして入っていただく、こっちを向いていただくかというのは、もちろん文化協会のほうで一番考えるべきなんですけれども、町のほうとしてもぜひ、ともに考えるというか、会員増に努めていただきたいなと思うんですが、その辺はもう一度、教育長、ご答弁願えませんか。

○議長（古玉栄治議員） 袋井教育長

○袋井貞司教育長 町民憲章でも「生涯にわたり学び合い、文化の香り高いまちをつくります」ということをうたっているわけですから、極力そういう会員をふやして盛んに文化

活動ができるようにということで、文化協会の方といろいろと相談をしながら策を練っていきたいと思いますので、その辺よろしくお願ひします。

○議長（古玉栄治議員） 林議員

○3番（林 真弥議員） いろいろとご答弁いただきました。文化協会に任せっ切りにせず、町も協力して、町民憲章にもあるとおり文化の香り高いまちづくりというので進めていただきたいなと思います。

町長もぜひよろしくお願ひします。

以上で終わります。

◎散 会

○議長（古玉栄治議員） 以上で本日の日程は終了いたしました。

これをもって一般質問を終結します。

今回は、3月20日午後3時から本会議を再開します。

ご苦労さまでした。

午後3時57分 散会

平成30年 3月20日 (火曜日)

○出席議員 (14名)

1番	尾田良一	議員	8番	諏訪良一	議員
2番	土本稔	議員	9番	宮下為幸	議員
3番	林真弥	議員	10番	甲部昭夫	議員
4番	中川秀平	議員	11番	古玉栄治	議員
5番	山本孝司	議員	12番	若狭明彦	議員
6番	笹川広美	議員	13番	坂井幸雄	議員
7番	南昭榮	議員	14番	作間七郎	議員

○説明のため出席した者

町長	杉本栄蔵	税務課長	古川利宣
副町長	廣瀬康雄	土木建設課長	北野均
教育長	袋井貞司	上下水道課長	田中智
参事兼総務課長	植田一成	会計課長	百海和夫
参事兼農林課長	田中栄一	長寿介護課長	道善まり子
参事兼住民福祉課長	加賀忠夫	保健環境課長	平岡重信
企画課長	高名雅弘	教育文化課長	上坂恵一
情報推進課長	町田穂高	生涯学習課長	正谷智

○職務のため出席した事務局職員

議会事務局長 土屋 哲 雄 書 記 水 田 祥 代
議会事務局長補佐 山 本 博 司

○議事日程（第3号）

平成30年3月20日 午後3時00分開議

- 日程第1 議案第62号 中能登町中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定について
- 議案第63号 中能登町放課後児童クラブ条例の制定について
- 議案第64号 中能登町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第65号 中能登町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の制定について
- 議案第66号 中能登町個人情報保護条例の全部改正について
- 議案第67号 中能登町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第68号 中能登町体育施設条例の一部を改正する条例について
- 議案第69号 中能登町国民健康保険条例及び中能登町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第70号 中能登町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 議案第71号 中能登町介護保険条例の一部を改正する条例について
- 議案第72号 中能登町コーポとりや条例の一部を改正する条例について
- 議案第73号 中能登町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第74号 中能登町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第75号 中能登町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例について

- 議案第76号 中能登町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 議案第77号 中能登町下水道等供用開始区域内し尿等処分手数料徴収条例を廃止する条例について
- 議案第78号 平成29年度中能登町一般会計補正予算
- 議案第79号 平成29年度中能登町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 議案第80号 平成29年度中能登町介護保険特別会計補正予算
- 議案第81号 平成29年度中能登町国民健康保険特別会計補正予算
- 議案第82号 平成29年度中能登町下水道事業特別会計補正予算
- 議案第83号 平成29年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計補正予算
- 議案第84号 平成29年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算
- 議案第85号 平成30年度中能登町一般会計予算
- 議案第86号 平成30年度中能登町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第87号 平成30年度中能登町介護保険特別会計予算
- 議案第88号 平成30年度中能登町国民健康保険特別会計予算
- 議案第89号 平成30年度中能登町下水道事業特別会計予算
- 議案第90号 平成30年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 議案第91号 平成30年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計予算
- 議案第92号 平成30年度中能登町水道事業会計予算
- 議案第93号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- 議案第94号 七尾市及び中能登町の広域行政の推進に関する規約の一部改正に関する協議について
- 請願第3号 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める請願書

(委員長報告・質疑・討論・採決)

(追加日程第1)

発議第5号 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の
予算の確保を求める意見書

(議会提出、質疑、討論、採決)

午後3時10分 開議

◎開 議

○議長（古玉栄治議員） ご苦労さまです。

ただいまの出席議員数は14名です。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎各委員会委員長報告

○議長（古玉栄治議員） 日程第1

これより、3月定例会議から付託しておりました議案第62号から議案第94号及び請願第3号を一括して議題といたします。

以上の案件に関し、各委員会における審査の過程及び結果について各委員長の報告を求めます。

最初に、教育民生常任委員会委員長 笹川広美議員

〔教育民生常任委員会委員長（笹川広美議員）登壇〕

○教育民生常任委員会委員長（笹川広美議員） 教育民生常任委員会における審査の過程並びに結果についてご報告いたします。

今定例会議で付託されました案件は、議案15件であり、執行部からの説明を求め、慎重に審査をいたしました。

審査の過程における質疑、意見など、主なものについて申し上げます。

初めに、議案第68号 中能登町体育施設条例の一部を改正する条例について、町体育施設の使用において、町外の方が使用する場合に使用料の徴収など適切に行われているのか説明を求めました。これについて、利用者に対しては使用名簿に氏名、住所を記載していただき、町外利用者には管理人が使用料を徴収しており、今後も適切に対応するよう指導していきたいとの説明を受けました。

次に、議案第78号 平成29年度中能登町一

般会計補正予算、歳出、第3款民生費、自立支援事業、印刷製本費2万4,000円の増額補正について、ヘルプカードを作成することだがカードの活用と周知はどのように行うのか説明を求めました。カードは免許証サイズの大きさで、氏名、住所、障害の度合いなどを本人が記載し、支援などが必要なときに提示するために所持するものであり、1,000冊を29年度内に作成し配布する予定であり、周知については、4月以降、町広報等でPRしたいとの説明でした。

次に、同じく議案第78号、第3款民生費、学童保育事業1,925万4,000円と大きく減額補正した理由について説明を求めました。これについては、1つ目の理由は、かしま放課後児童クラブの建設工事の入札残が1,500万円となったこと。2つ目の理由は、嘱託職員を募集したが募集人数には満たなかったため、2名分356万円の減額となったとの説明でした。

次に、同じく議案第78号、第10款教育費、学校教育事務局費、国県等返還金、へき地児童生徒援助費216万円の増額補正について説明を求めました。これについては、平成29年2月に受けた会計実地検査で補助金が過大に交付されているとの指摘を受け、返還するもので、過大と指摘された内容は、学校統合に伴い、遠距離通学費を統合から5年の間、国から補助金が交付されるが、補助金要綱の読み込みが足りず、国の補助金対象の距離ではなく中能登町が条例で定めた距離で申請をしたため過大申請の指摘を受け、返還するための返還金の増額補正を行ったとの説明を受けました。

質疑終了後、討論、採決の結果、当委員会に付託されました議案15件については全会一致で可決いたしました。

なお、今回報告いたしました結果につきましては、お手元に配付済みの委員会審査報告書のとおりであります。

以上で教育民生常任委員会からの審査結果の報告を終わります。

○議長（古玉栄治議員） 次に、総務建設常任委員会委員長 宮下為幸議員

〔総務建設常任委員会委員長（宮下為幸議員）登壇〕

○総務建設常任委員会委員長（宮下為幸議員） 総務建設常任委員会における審査の過程並びに結果についてご報告いたします。

今定例会議で付託されました案件は、議案11件、請願1件であり、執行部からの説明を求め、慎重に審査をいたしました。

審査の過程における質疑の概要について申し上げます。

まず最初に、議案第62号 中能登町中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定について、商工会への未加入者も対象となるのか説明を求めました。これに対し執行部からは、商工会への加入、未加入にかかわらず全ての中小企業を対象にするとの説明を受けました。なお、商工会が調べたところでは、中能登町内で小規模事業者は677社、中規模事業者は75社で、合計752社との報告を受けました。

続いて、議案第78号 平成29年度中能登町一般会計補正予算について、歳入、第14款県支出金、農業費補助金の強い農業づくり交付金と、歳出の第6款農林水産業費、農業振興費、補助金、産地パワーアップ事業との整合性について説明を求めました。これに対し、歳入の強い農業づくり交付金は国の補助事業名であり、歳出の産地パワーアップ事業は県の補助事業名であるとの説明を受けました。なお、産地パワーアップ事業の内容は、農事組合法人能登花見月への田植え機1台購入分とJA能登わかば農協のライスセンター機械購入分の補助事業であるとの説明を受けました。

次に、同じく歳出の第2款総務費、自治振興事業、区長会への補助金の減額補正が大き

い理由について説明を求めました。これに対し、区長会の視察研修先が台湾であることから例年より参加者が少なかったためとの説明を受けました。

次に、同じく歳出の第2款企画総務費、報奨金の空き家等登録促進奨励事業の今年度の実績件数について説明を求めました。これに対し、促進奨励金の合計件数が7件で、内訳として、家財道具処分が4件、地区における登録あっせんが2件、地区のあっせん物件成約が1件であるとの説明を受けました。

次に、同じく歳出の第2款地域おこし協力隊事業の現況について説明を求めました。これに対し、本年度は地域おこし協力隊員数3名を目指して募集を行ったが応募がなく、現在、道の駅で活動している隊員1名のみであり、本年の7月末をもって交付対象の3年間の任期満了となります。引き続き町内に住居を置き野菜づくりを行う予定である。また、来年度、新たに女性1名が協力隊として5月の連休明けに着任予定であるとの説明を受けました。

次に、同じく歳出の第6款農林水産業費、農業施設管理費、使用料及び賃借料の土地借り上げとはどこなのか説明を求めました。これに対し、現在建設中の瀬戸地内のバイテック工場用地内に、面積744平米、地権者1名の所有権移転ができず、7月から3月までの9カ月分の賃借料が必要となったとの説明を受けました。

次に、議案第82号 平成29年度中能登町下水道事業特別会計補正予算の歳出、第1款総務費、公共下水道施設管理費、バイオマスマタン発酵施設維持管理の委託料1,340万円の減額補正について内容説明を求めました。これに対し、当初4月からの施設維持管理費用を計上していたが、実際には本格稼働が10月となったことから減額となったとの説明を受けました。

次に、同じく歳出の第2款下水道事業費、

社会資本整備総合交付金事業費、バイオメタン発酵性能評価研究の委託料1,801万円の減額補正について内容説明を求めました。これに対し、バイオメタン発酵性能評価研究とは、発酵槽内の汚泥濃度やガス発生量などの検証や分析を行う業務であり、これも先ほどの施設維持管理の委託料と同様で、当初4月からを予定していたが、実際には本格稼働後の11月からと委託期間が短くなったことから減額となったとの説明を受けました。

以上、質疑の主な概要でございます。

質疑終了後、討論、採決の結果、当委員会に付託されました議案11件については全会一致で可決いたしました。

続いて、請願1件につきましても全会一致で採択いたしました。

なお、今回報告いたしました結果につきましては、お手元に配付済みの委員会審査報告書のとおりであります。

以上で総務建設常任委員会からの審査結果の報告を終わります。

○議長（古玉栄治議員） 次に、予算審査特別委員会委員長 諏訪良一議員

〔予算審査特別委員会委員長（諏訪良一議員）登壇〕

○予算審査特別委員会委員長（諏訪良一議員） 予算審査特別委員会における審査の過程並びに結果についてご報告をいたします。

当委員会は、去る3月9日、12日並びに13日の3日間にわたり開催し、町執行部の出席を求め、本定例会議から付託を受けました平成30年度各会計予算の議案8件について慎重に審査を行いました。

まず、付託議案における委員会採決の結果についてご報告いたします。

議案第85号 平成30年度中能登町一般会計予算

議案第86号 平成30年度中能登町後期高齢者医療特別会計予算

議案第87号 平成30年度中能登町介護保険

特別会計予算

議案第88号 平成30年度中能登町国民健康保険特別会計予算

議案第89号 平成30年度中能登町下水道事業特別会計予算

議案第90号 平成30年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計予算

議案第91号 平成30年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計予算

議案第92号 平成30年度中能登町水道事業会計予算

以上8件について審査を行いました。

議案第85号から議案第92号までの一般会計及び各特別会計並びに水道事業会計予算の議案8件については、全会一致で可決と決定しました。

次に、委員会の審査の過程で委員各位より出された質疑、指摘、要望等について、主なものを取りまとめましたので申し上げます。

質疑では、初めに、平成30年度中能登町一般会計予算の歳出で、第2款総務費、公衆無線LAN環境整備事業費において、不動滝のWi-Fi電波の届く範囲について質疑があり、おおむね200メートル程度であるとのことでした。

次に、鹿島庁舎管理事業において、冷暖房の施設修繕は行うとのことだが、現在雨漏りしている状況については今後修繕を行う予定はないのかとの質疑に対し、大規模な修繕は考えていないとの説明を受けました。

次に、企画総務費、コミュニティバスの運行委託料及び生活バス路線維持対策補助金で29年度から大幅に増額計上となった理由について質疑があり、委託料については燃料費の高騰が主な要因であること。補助金は、昨年度まで路線バスの赤字に対する補助は事業者3分の1、県3分の1、町3分の1だったものが県3分の1、町3分の2の負担割合で計上したため大幅な増額となったとの説明を受けました。

次に、地方創生推進交付金事業、バリアフリーなまちづくり委託料及び補助金について詳細説明を求めたところ、町の繊維産業を生かし、障害者のための着物や車椅子のタイヤカバーなどの商品開発、また人材確保を行い事業を進めたいとの説明を受けました。

次に、第3款民生費、保育園運営費、保育園再編検討会議、委員の非常勤職員報酬で、今後の保育園等の再編方針について説明を求めました。これについては、平成32年度からの地方公務員法及び地方自治法の一部改正に当たり、町では嘱託及び臨時職員の雇用を民間へ委託する方向で進めており、保育園でも同様に検討していることから、今後、民間委託の職員で構成する保育園として業務委託することなど、民営化も含め保育園再編検討会議で検討していきたいとの説明を受けました。

次に、第4款衛生費、健康づくり推進費、健康づくり推進事業、自殺対策計画策定委員報酬で、計画及び委員について質疑があり、自殺対策基本法の改正で新たに県や町にも計画の作成が義務づけられたもので、保健、福祉、警察など関係機関が連携を図り進めていきたいとの説明を受けました。

次に、第8款土木費、社会資本整備総合交付金事業におけるT-1号線外消雪配管更新工事について、どのような計画で行うのかとの質疑があり、本消雪配管は布設後25年ほど経過しており、良川地区と西馬場地区の境界から順に北上しながら更新工事を行う計画で、30年度は830メートルを予定しているとの説明を受けました。

次に、第10款教育費、学校教育事務局費、奨学生選考審査委員会委員、非常勤職員報酬で、委員の選考及び給付対象者の基準について質疑がありました。委員の選考については町の条例で議会議員1名、教育委員会の委員1名、副町長その他職員1名、学識経験を有する者2名とあり、現在は教育委員会委員、

副町長、学識経験者2名の計4名に委嘱しているとのこと。給付対象は町内で成績優秀で生活に困窮している方としており、1人月1万円の給付であるとのことでした。今後の課題として、生活困窮者の具体的な所得金額の明示を条例等で検討しているとの説明を受けました。

次に、中学校管理費、GTEC検定試験委託料で対象者について質疑があり、中学2、3年生が対象であるとの説明を受けました。

次に、生涯学習センター管理運営事業、原子力防護施設維持管理委託料について、どのような管理をするのか質疑があり、自家発電設備、陽圧化装置、地下タンクの点検を行うものであり、維持管理のため毎年この経費がかかるとの説明を受けました。

次に、議案第87号 平成30年度中能登町介護保険特別会計予算の歳出、第3款地域支援事業、介護予防・生活支援サービス事業費、短期集中予防事業委託料について詳細説明を求めました。これについては、1つ目はあしこし元気アップ教室で、1クール13回を年2回行うもので、29年度はアスロンの健康運動指導士の指導を受けながら介護状態にならないように筋力を鍛えるものであるとのこと。2つ目のスーパー元気アップ塾は、病院からの退院後にリハビリを行うもので、29年度は董仙会に委託して行い、受講も多かったことから3人から10人にふやして予算を計上したとの説明を受けました。

次に、議案第89号 平成30年度中能登町下水道事業特別会計予算の歳出、第1款総務費、公共下水道施設管理費、地方公営企業法適用化委託料について質疑があり、28年度から企業会計方式の移行のため工事情報の整理、資産の整理を進めているが、30年度が最終年度となり、システムの構築及び条例や規則等の改正業務を委託するとの説明を受けました。

また、指摘及び要望事項としては、1点

目、デマンドタクシーやコミュニティバスについては、ルート検討や試算などを行い、より便利な交通体系となるよう地域公共交通会議において協議すること。2点目、結婚推進事業では、事業の推進及び評価を行いながら事業を展開すること。3点目、個人番号カードの利用方法等について、引き続き周知を行い普及啓発に努めること。4点目、福祉タクシー券の利用について周知すること。5点目、下水道の加入促進に一層の努力をすること。

最後に、旧丹後邸の整備についてであります。

現在、伝統的建造物群保存地区の指定に向けて取り組んでいるとのことであり、当初予算では、国指定有形文化財の適用外である離れの部分の改修費用として工事請負費1,000万円が計上され、移住、定住の促進、創業支援を目的とした改修であるとの説明を受けました。

しかしながら委員からは当議会に対して、旧丹後邸そのものを何に利用していくのか、国指定有形文化財の指定箇所である母屋の改修があるのか、今後の旧丹後邸における利用案として、母屋、離れを合わせた施設全体の計画案が説明されていないのではないかとの議論がありました。

これを踏まえて、執行部においては、29年度予算に計上済みである離れ部分の基本設計を示し、取り壊しを含めた協議をした上で今後の予算を執行することを要請しておきます。

平成30年度当初予算は、一般会計で約100億円であり、各特別会計並びに水道事業会計を合わせ総額約172億円であります。地方交付税の縮減が大きく影響する厳しい状況でありますので、適切な予算の執行を求めます。

なお、今回ご報告いたしました結果につきましては、お手元に配付済みの委員会審査報告書のとおりであります。

以上で予算審査特別委員会の報告を終わります。

○議長（古玉栄治議員） 以上で各委員会の委員長報告が終わりました。

◎質 疑

○議長（古玉栄治議員） これより、各委員長報告に対する質疑を一括して行います。

質疑の方はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

質疑を終結します。

◎討論、採決

○議長（古玉栄治議員） 次に、議案第62号から議案第94号について一括して討論を行います。

まず、反対討論の発言を許します。ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

以上で討論を終結いたします。

これより採決を行います。

まず、

議案第62号 中能登町中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定について

議案第63号 中能登町放課後児童クラブ条例の制定について

議案第64号 中能登町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第65号 中能登町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の制定について

以上、議案4件を一括して採決します。

お諮りいたします。

本件に対する各委員長の報告は、全会一致で原案のとおり可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（古玉栄治議員） 起立全員であります。

よって、議案第62号から議案第65号は、原案のとおり可決されました。

○議長（古玉栄治議員） 次に、

議案第66号 中能登町個人情報保護条例の全部改正について

議案第67号 中能登町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第68号 中能登町体育施設条例の一部を改正する条例について

議案第69号 中能登町国民健康保険条例及び中能登町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第70号 中能登町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

議案第71号 中能登町介護保険条例の一部を改正する条例について

議案第72号 中能登町コーポとりや条例の一部を改正する条例について

議案第73号 中能登町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

議案第74号 中能登町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について

議案第75号 中能登町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例について

議案第76号 中能登町地域包括支援センタ

一の包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第77号 中能登町下水道等供用開始区域内し尿等処分手数料徴収条例を廃止する条例について

以上の議案12件を一括して採決します。

お諮りいたします。

本件に対する各委員長の報告は、全会一致で原案のとおり可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（古玉栄治議員） 起立全員であります。

よって、議案第66号から議案第77号は、原案のとおり可決されました。

○議長（古玉栄治議員） 次に、

議案第78号 平成29年度中能登町一般会計補正予算

議案第79号 平成29年度中能登町後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第80号 平成29年度中能登町介護保険特別会計補正予算

議案第81号 平成29年度中能登町国民健康保険特別会計補正予算

議案第82号 平成29年度中能登町下水道事業特別会計補正予算

議案第83号 平成29年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計補正予算

議案第84号 平成29年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算

以上の議案7件を一括して採決します。

お諮りいたします。

本件に対する各委員長の報告は、全会一致で原案のとおり可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（古玉栄治議員） 起立全員であります。

す。

よって、議案第78号から議案第84号は、原案のとおり可決されました。

○議長（古玉栄治議員） 次に、

議案第85号 平成30年度中能登町一般会計予算

議案第86号 平成30年度中能登町後期高齢者医療特別会計予算

議案第87号 平成30年度中能登町介護保険特別会計予算

議案第88号 平成30年度中能登町国民健康保険特別会計予算

議案第89号 平成30年度中能登町下水道事業特別会計予算

議案第90号 平成30年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計予算

議案第91号 平成30年度中能登町ケーブルテレビ事業特別会計予算

議案第92号 平成30年度中能登町水道事業会計予算

以上の議案8件を一括して採決します。

お諮りいたします。

本件に対する委員長の報告は、全会一致で原案のとおり可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（古玉栄治議員） 起立全員であります。

よって、議案第85号から議案第92号は、原案のとおり可決されました。

○議長（古玉栄治議員） 次に、議案第93号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

以上、1件を採決します。

お諮りいたします。

本件に対する委員長の報告は、全会一致で原案のとおり可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（古玉栄治議員） 起立全員であります。

よって、議案第93号は、原案のとおり可決されました。

○議長（古玉栄治議員） 次に、議案第94号 七尾市及び中能登町の広域行政の推進に関する規約の一部改正に関する協議について
以上、1件を採決します。

お諮りいたします。

本件に対する委員長の報告は、全会一致で原案のとおり可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（古玉栄治議員） 起立全員であります。

よって、議案第94号は、原案のとおり可決されました。

○議長（古玉栄治議員） 次に、請願第3号 について一括して討論を行います。

まず、反対討論の発言を許します。ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

以上で討論を終結いたします。

続いて、請願第3号 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める請願書を採決します。

お諮りいたします。

本件に対する委員長の報告は、全会一致で

採択であります。

この請願を採択することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（古玉栄治議員） 起立全員であります。

よって、請願第3号は、採択することに決しました。

◎追加日程

○議長（古玉栄治議員） お諮りいたします。

ただいま、提出者 笹川広美議員外賛成者6名から、発議第5号 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書

以上の発議1件が提出されました。

これを日程に追加し、直ちに議題としたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） 異議なしと認めます。

よって、発議第5号を日程に追加し、直ちに議題とすることに決定しました。

議事日程配付のため、暫時休憩します。

午後3時51分 休憩

午後3時52分 再開

○議長（古玉栄治議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎発議第5号

○議長（古玉栄治議員） 追加日程第1

発議第5号 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書

以上の意見書1件を一括して議題とします。

まず、発議第5号について提出者より趣旨説明を求めます。

6番 笹川広美議員

〔6番（笹川広美議員）登壇〕

○6番（笹川広美議員） ただいま上程されました意見書について趣旨説明をいたします。

国土交通省は、中小河川の豪雨対策を強化するため、全国の中小河川の緊急点検の結果を踏まえた「中小河川緊急治水対策プロジェクト」を取りまとめ、中小河川の河道掘削についても再度の氾濫防止対策の一つとして緊急対策プロジェクトに盛り込んだ。

しかし、この緊急治水対策プロジェクトは、概ね3か年の時限的措置であり、河道掘削の対策箇所についても「重要水防区間のうち、近年、洪水により被災した履歴がある区間」と限られている。

よって政府においては、今回の緊急治水対策プロジェクトが、中小河川を管理する地方自治体にとって真に活用しやすい施策となるよう、次の事項について取り組むことを強く求める。

- 1 河道掘削を含む「中小河川緊急治水対策プロジェクト」については、平成29年度補正予算で約1,300億円が盛り込まれているが、次年度以降についても、地方自治体の要望を踏まえ、十分な予算を確保すること。
- 2 「中小河川緊急治水対策プロジェクト」では、河道掘削の対策箇所を「重要水防区間のうち、近年、洪水により被災した履歴があり、再度の氾濫により多数の家屋や重要な施設の浸水被害が想定される区間」と限定しているが、今後は、中小河川を管理する地方自治体により柔軟な対応ができるよう、対策箇所の拡大も含め検討すること。また、国直轄河川の河道掘削についても、周辺自治体の要望を踏まえ、必要な対策を行うこと。
- 3 今回の「中小河川緊急治水対策プロジェクト」は、概ね3か年の時限的措置である

が、「防災・安全交付金」を活用した中小河川の河道掘削については、恒久的な制度となるよう検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成30年3月20日

石川県中能登町議会

よろしく願いいたします。

○議長（古玉栄治議員） 提出者の趣旨説明が終わりました。

これより、発議第5号について質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

これで質疑を終結します。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております発議第5号は、会議規則第35条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思っております。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） 異議なしと認めます。

よって、委員会付託を省略します。

次に、発議第5号について一括して討論を行います。

まず、反対の討論の方、ありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

次に、賛成討論の方、ありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（古玉栄治議員） ないようであります。

討論を終結します。

これより採決を行います。

発議第5号 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確

保を求める意見書を採決します。

お諮りいたします。

発議第5号は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（古玉栄治議員） 起立全員であります。

よって、発議第5号は、原案のとおり可決されました。

◎散 会

○議長（古玉栄治議員） 以上で、本定例会議に付議されました議案の審議は終了しました。

これをもって、平成29年度中能登町議会3月定例会議を散会します。

ご苦労さまでした。

午後3時59分 散会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

議 長 古 玉 栄 治

署名議員 甲 部 昭 夫

署名議員 若 狭 明 彦